大学向け
クラウドソリューションカタログ
２０１８
大学ICT推進協議会
クラウド部会

本カタログの収録対象

本カタログに収録するソリューションの範囲は以下の通り規定しています。

（1）パブリッククラウドサービス系

・IaaS、PaaS、SaaS

・パブリッククラウド運用支援製品・サービス

（2）プライベートクラウドサービス系

・プライベートクラウド構築関連製品、サービス

・プライベートクラウド運用関連製品、サービス

・データセンタサービス

「大学向けクラウドソリューションカタログ２０１８」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会　クラウド部会

主査　西村　浩二（広島大学）

大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている賛助会員様のご協力により、本カタログに掲載されるクラウドサービスやソリューション、事例は年々増加しております。今年度から冊子体による提供は目次および一覧のみとし、サービス情報は電子データでの提供とさせていただくことといたしました。日頃から本部会の運営へのご助言やご協力、情報提供をいただいております賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本カタログでは、クラウドサービスやソリューションを選択する際の比較検討材料としていただくことを目的として、それらを同一の尺度に基づいて掲載しております。これらは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）クラウドセキュリティの認証審査においても、根拠資料のひとつとして活用できることが確認されております。国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービス（https://cloud.gakunin.jp）で公開されている「スタートアップガイド」や「チェックリスト」と合わせてご活用いただければ幸いです。

クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムをはじめとするクラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されている、あるいはクラウドの導入を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、大学等で開催されるクラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されている、あるいはクラウドの導入を検討されている大学会員様、大学向けにクラウドサービス、ソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

大学向けクラウドソリューションカタログ２０１８　目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ２０１８」の発行に寄せて／
大学 ICT 推進協議会 クラウド部会　主査　西村 浩二　・・・・・・・・・　01

１．　教育支援系

（１）Microsoft 365 Education／日本マイクロソフト株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・・　06
（２）クラウド コンテンツ マネジメント「Box」／株式会社 Box Japan　・・・・・・・・・・・・　08
（３）クラウド型パソコン教室サービス／ユニアデックス株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・　10
（４）デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』／富士通株式会社　・・・・・・・・・・・・　12
（５）Cisco WebEx，Cisco TelePresence／シスコシステムズ合同会社　・・・・・・・・・・・・・　14
（６）Cisco Webex Teams，Cisco Webex Board／シスコシステムズ合同会社　・・・・・・・・・・　16
（７）Amazon WorkSpaces／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
（８）Amazon Chime／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
（９）echo360／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
（10）Prime Learning　大学向けの LMS の e ポートフォリオ／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・　24

２．研究支援系

（１）VW4C／エイチ・シー・ネットワークス株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28
（２）XTREME DNA HPC Cloud／エイチ・シー・ネットワークス株式会社　・・・・・・・・・・・・　30
（３）Amazon Machine Learning／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・　32
（４）Amazon SageMaker／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34
（５）AWS IoT Core／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36
（６）さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス／さくらインターネット株式会社　・・・・・・　38
（７）FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス／富士通株式会社　・・・・・・・　40

３．事務支援系

（１）音声データ利活用ソリューション／株式会社日立製作所　・・・・・・・・・・・・・・・・　44
（２）TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所　・・・・・・・・・・・・・・・・・　46
（３）RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん／株式会社リコー　・・・・・・・・・　48
（４）RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business／株式会社リコー　50
（５）図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス／株式会社リコー　・・・・・・・・・・・　52
（６）DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・・　54

４．情報基盤系

（１）USiZE（ユーサイズ）／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58
（２）NEC クラウドサービス(SINET 接続)／日本電気株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・　60
（３）Microsoft Azure／日本マイクロソフト株式会社　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　62

（4）エンタープライズクラウドサービス／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
（5）フェデレーテッドクラウド／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
（6）出前クラウドサービス／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
（7）Cisco AMP for Endpoints／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
（8）Cisco CloudCenter／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
（9）Cisco Cloudlock／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
（10）Cisco Container Platform／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
（11）Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・ 78
（12）Cisco Umbrella／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
（13）アマゾン ウェブ サービス(AWS)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・ 82
（14）Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・ 84
（15）Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・ 86
（16）Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)／Amazon Web Services Inc. ・・・ 88
（17）Amazon Redshift／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
（18）Amazon EMR／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
（19）Amazon Elasticsearch Service／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・ 94
（20）AWS Lambda／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
（21）Amazon DynamoDB／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
（22）Amazon Kinesis／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
（23）Amazon Route 53／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
（24）さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
（25）さくらの専用サーバ／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
（26）さくらの VPS／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
（27）Symantec CloudSOC／株式会社シマンテック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
（28）Symantec Web Security Service (WSS)／株式会社シマンテック ・・・・・・・・・・・・ 112
（29）Symantec Email Security.cloud (ESS)／株式会社シマンテック ・・・・・・・・・・・・ 114
（30）FortiCloud／Fortinet Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
（31）Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ／Fortinet Inc. ・・・・・・・ 118
（32）MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ／Fortinet Inc. ・・・・・・・・・・・・ 120
（33）WisePoint Shibboleth on CLOUD／ファルコンシステムコンサルティング株式会社 ・・・・ 122

5．その他

（1）IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・・・ 126
（2）ソフトウェア配布提供システム Download Station／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・ 128
（3）Microsoft Office 学割特別プラン U365／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・・・・・・ 130
（4）Cisco Unified Computing System(UCS) ／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・ 132

６．大学向けクラウドソリューション比較表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135

特集「大学におけるクラウド導入事例」

（１）アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例／アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 ・・ 150

（２）学校法人関西学院 関西学院大学／富士通株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152

（３）学校法人新静岡学園／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154

（４）東洋大学／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156

（５）慶應義塾／株式会社 Box Japan ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 158

（６）東京理科大学／株式会社 Box Japan ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160

（７）国立遺伝学研究所／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162

企業別索引 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164

大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166

大学 ICT 推進協議会クラウド部会　ご入会のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168

１．教育支援系

製品・サービス名称	Microsoft 365 Education
提供企業名	日本マイクロソフト株式会社
紹介サイト URL	http://download.microsoft.com/download/7/D/2/7D239418-DAA3-4FBF-BD10-4F099A5E1BC5/licenseguide.pdf (PDF ダウンロードリンク) https://www.microsoft.com/ja-jp/education/products/office/default.aspx

■製品・サービスの特長

Microsoft は 2017 年 10 月 1 日より、新たに教育機関向け製品として Microsoft 365 Education をご提供いたします。Microsoft 365 Education は、Office 365, Windows 10, Enterprise Mobility + Security, Minecraft: Education Edition から構成されており、より充実した教育を提供するために役立つ製品やサービスがすべて揃います。また、学生向けに追加費用なく Microsoft 製品をご利用いただける特典も充実しています（Student Use Benefit)。

Microsoft 365 Education A3 / A5 に含まれるサービス内容は以下の通りです。

Microsoft 365 A3 / A5		導入メリット
セキュリティ対策、データ分析および音声通話	Office 365 A5 - Advanced Threat Protection	標的型攻撃の防止 (電子メール内のURL, 添付ファイルなど)
	Office 365 A5 - Advanced Compliance, Threat Intelligence	コンプライアンス対応 (関連性のあるデータの特定、データへの操作を監視、調査), サイバー攻撃の可視化、対策案の提示
	Office 365 A5 - Power BI Pro	データの見える化、経営ダッシュボード
	Office 365 A5 - My Analytics	働き方改革 (メール、会議の見える化)
	Office 365 A5 - 音声会議、電話システム	働き方改革 (外出先などから会議に参加), 電話コスト削減
	Office 365 A3 - Skype Broadcast Meeting	最大 10,000 人にブロードキャスト放送が可能
	Office 365 A3 - Advanced Security Management	Office 365 への攻撃の可視化、許可していないクラウド サービスの利用を検出可能
デバイス管理およびセキュリティ対策	EMS A5 - Cloud App Security	許可していないクラウド サービスの利用や異常行動を検出、ランサムウェア検知も可能
	EMS A5 - Azure Information Protection Premium P2	情報資産の分類 (キーワードに基づく自動でのファイル、メールの暗号化など)
	EMS A5 - Azure Active Directory Premium P2	ID の保護を自動化 (短期間での複数アクセスなどを検知), 管理作業をするときのみ管理権限を付与
	EMS A3 - Advanced Threat Analytics	学内 Active Directory の保護
	EMS A3 - Azure Information Protection Premium P1	情報漏えい防止 (ファイル、メールの暗号化、印刷制御など)
	EMS A3 - Azure Active Directory Premium P1	二要素認証、外部からのアクセス制御
	EMS A3 - Microsoft Intune	Windows PC / iOS / Android デバイス管理
セキュリティ対策	Windows 10 Education A5	短期間での標的型攻撃の検知および対策 (ネットワークからの切り離しなど)
	Windows 10 Education A3	ハードディスク / USB メモリ暗号化
共同作業支援	Minecraft: Education Edition	プログラミング学習教育の習得
	メール、予定表、リアルタイム コミュニケーション (IM, 常設チャット)	
	ファイルおよびコンテンツ管理: ファイル ストレージ、共有、情報探索、グループ、Planner	
	Office client apps (Word, Excel, PPT, Sway, OneNote, Outlook, Publisher, Access)	
クラス用ツール	Office Online: Web ベースのドキュメント編集	教育活動における ICT の効率的な活用
	Microsoft Teams / SDS / Class Notebook / PLC グループ	
	学習ツール: 読み上げ、文字間隔調整、音節分解など	
学生向け特典 Student Use Benefit	Office 365 Advanced Threat Protection	標的型攻撃の防止 (電子メール内のURL, 添付ファイルなど)
	Azure Active Directory Plan 2	ID の保護を自動化 (短期間での複数アクセスなどを検知)
	Office 365 A3 - Advanced Security Management	Office 365 への攻撃の可視化、許可していないクラウド サービスの利用を検出可能
	Intune for Education, AADP Plan 1, and Advanced Threat Analytics	BYOD 含む学生 / 生徒の端末管理、二要素認証、外部からのアクセス制御、学内 Active Directory の保護など
	Minecraft: Education Edition	プログラミング学習教育の習得
	Office 365 ProPlus	教育活動における ICT の効率的な活用
	Windows 10 Education	

製品・サービス名称	Microsoft 365 Education

■分類

製品サービス区分	クラウド分類	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS(一部オンプレ製品)	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

利用実績	Microsoft 365 に含まれる Office 365 の利用実績となります。 民間実績（日本の主要企業の約 80%が利用） 大学実績（教育関連機関利用ユーザー数 467 万人） 公開事例：http://www.microsoft.com/ja-jp/office/365/showcase.aspx　にて「業種」を選択してください
費用	Microsoft 365 Education A3：7,800 円 / 年・ユーザー（参考価格） Microsoft 365 Education A5：14,160 円 / 年・ユーザー（参考価格）
利用条件	教職員数（ナレッジワーカー）分の購入が必要となります。最低利用期間は 1 年になります。
支払方法	請求サイクル（年次），支払方法（前払），支払通貨は日本円
販売代理店	無、有（マイクロソフトライセンシングソリューションパートナー　国内 17 社）

■契約

申込み方法	代理店経由でのお申込み	利用開始までの期間	契約完了後
約款の有無	有・無（　　）	約款修正可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（東・西日本）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
適用法規	日本国法・海外法規（　　）	所轄裁判所	国内・海外（東京地方裁判所）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：稼働率 99.9%保証、有料プランについては返金保証制度あり）		
実績稼動率	有・無・その他（99.98%）	目標稼動率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有（データセンター間二重化）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	通信暗号化	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定(有償となります)
学認対応	一部対応（※Shibboleth 対応済、学認 SP には未登録、Office 365 ProPlus は対応済）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（※LDAP マネージャー等他社製品経由）
管理ツール	有・無・その他（Web 管理ツール）	API 公開	有・無・その他（一部公開）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 x 365 日電話サポート	QA 対応時間帯	24 時間 x 365 日
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
定期メンテの有無	有	定期メンテ通知時期	事前通告
ログの開示	有・無（メールログは 90 日間などログの種類により違いがあります）	第三者認証取得	CS ゴールド マーク、 ISO 27001，27018 など多数

問合先	企業名：日本マイクロソフト株式会社 部署名：パブリックセクター事業本部 担当者：文教ソリューションチーム	Mail： msedusolution@microsoft.com

製品・サービス名称	クラウド コンテンツ マネジメント「Box」
提供企業名	株式会社 Box Japan
紹介サイト URL	https://www.box.com/ja-jp/industries/Education

■製品サービスの特長

【Box の概要】

Box は、GE、IBM、P&G などの大企業から Airbnb、Uber などの新興企業までグローバルで 8 万 7,000 社が採用している法人向けのクラウド コンテンツ マネジメントのサービスです。

個人向けの単なるストレージサービスとは大きく異なり、ビジネスや教育研究に必要なコンテンツを安全に保管するための管理者向け機能と、実際にビジネスや教育研究に活用するためのユーザー機能を 1 つのプラットフォームに実装しているということが特長の一つです。

これらの特長を評価いただき、国内では早稲田、慶應義塾、東京理科、東京電機、海外からはエール、カーネギーメロン、インディアナなどの各大学が研究室単位などではなく「全学」で導入しています。

【利活用シーン】

Box は、学び方改革、教育研究改革、大学経営改革の 3 つの改革に結びつく場面での利用が可能です。

学び方改革

- 仮想ワークスペースを利用したグループワーク
- オンラインホワイトボードによるディスカッション
- 高度な文書管理機能による学習効率の向上

教育研究改革

- 機密性の高い学術論文、研究業績、知的財産等のセキュアな保管
- 産学連携における共同研究先とのコンテンツ共有
- 他大学との単位交流授業を支える講義インフラ

大学経営改革

- 教育職員と事務系職員間のネットワークを超えたコラボレーション
- 会議資料のペーパーレス化、電子承認
- 文書公開によるOB/OG、世間とのエンゲージメント強化

【国内大学導入実績】

	慶應義塾	TDU 東京電機大学 TOKYO DENKI UNIVERSITY	東京理科大学 TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE	WASEDA University
利用開始	2016年5月	2017年11月	2015年4月	2015年5月
登録ユーザー数	50, 000名	13, 347名	21, 294名	55, 000名
利用対象者	全教職員・全学生			
Box採用理由	外部共有の活発化	F/Sの置き換え	研究者支援環境の国際化、効率の向上	教育研究活動活性化 情報漏洩対策
気に入っているBoxの特徴	・共有リンク作成の容易さ ・動画のストリーミング配信	・容量無制限 ・強固なセキュリティ ・詳細なログ情報	・容量無制限 ・アクセス確認の容易さ ・アクセス権限の多様さ	・権限管理など多様な共有設定 ・ファイル閲覧履歴管理 ・ドキュメント共同編集

製品・サービス名称	クラウド コンテンツ マネジメント「Box」

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（契約数非公開）社：利用企業名（富士通様、NTT データ様、任天堂様、資生堂様、第一三共様） 大学数（契約数非公開）校：利用大学名（早稲田大学様、慶應義塾大学様、東京理科大学様、東京電機大学様）
費用	無料トライアル可能。課金体系などに関しましては下記問合先までご連絡ください
利用条件	下記問合先までご連絡ください
支払方法	代理店に準ずる
販売代理店	無、有（代理店名：下記問合先までご連絡ください　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（　代理店に準ずる　　）	利用開始までの期間	代理店に準ずる
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（別途プレミアムサポートを契約した場合、稼働率 99.9%を SLA として設定）		
実績稼働率	有・無・その他（　非公開　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（AD 連携は有）
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	代理店提供サービスに準ずる	QA 対応時間帯	代理店提供サービスに準ずる
コンタクト方法	代理店提供サービスに準ずる	対応インシデント数	代理店提供サービスに準ずる
計画停止の頻度	原則なし	サービス停止の通知	原則停止しないが、状況に応じて十分な時間をおいた通知を検討する
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO 27001, ISO 27018,

問合先	企業名：株式会社 Box Japan 部署名：エンタープライズ営業 3 部 担当者：大屋 俊一郎 ※最新の状況は Box Japan へご確認ください。	電話番号： FAX 番号： Mail：soya@box.com

製品・サービス名称	クラウド型パソコン教室サービス
提供企業名	ユニアデックス株式会社
紹介サイト URL	http://www.uniadex.co.jp/service/30sec/cloud/UNI_cloud-pc-classroom.html

■製品サービスの特長

製品・サービス名称	クラウド型パソコン教室サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　**・プライベート** ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS　**・DaaS**	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　**・情報インフラ** ・その他

■一般事項

契約実績	国立大学法人　東京農工大学様
費用	仮想的に同時利用するパソコン台数（仮想デスクトップ台数）により、利用者数に限らず月額定額でサービスを利用できます。例えば、500 台の仮想パソコン教室の場合、1 台あたりの料金は月額 8,500 円（税別）から利用できます。回線料金や搭載するソフトウエア費用などは別途必要です。
利用条件	個別対応となります。 営業までお問合せください。
支払方法	月次／年次請求
販売代理店	無、有（代理店名：営業までお問合せください。）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書）	利用開始までの期間	個別対応となります。
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：サービス仕様書にて定義。）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	個別対応（方式等要協議）
学認対応	対応・非対応・対応予定（対応を検討中）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	個別
計画停止の頻度	個別	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：ユニアデックス株式会社 部署名：営業第二本部 EP 第三営業統括部 営業一部 担当者：笹川	電話番号：050-3134-2132 FAX 番号：03-6866-4316 Mail：yumiko.sasakawa@uniadex.co.jp

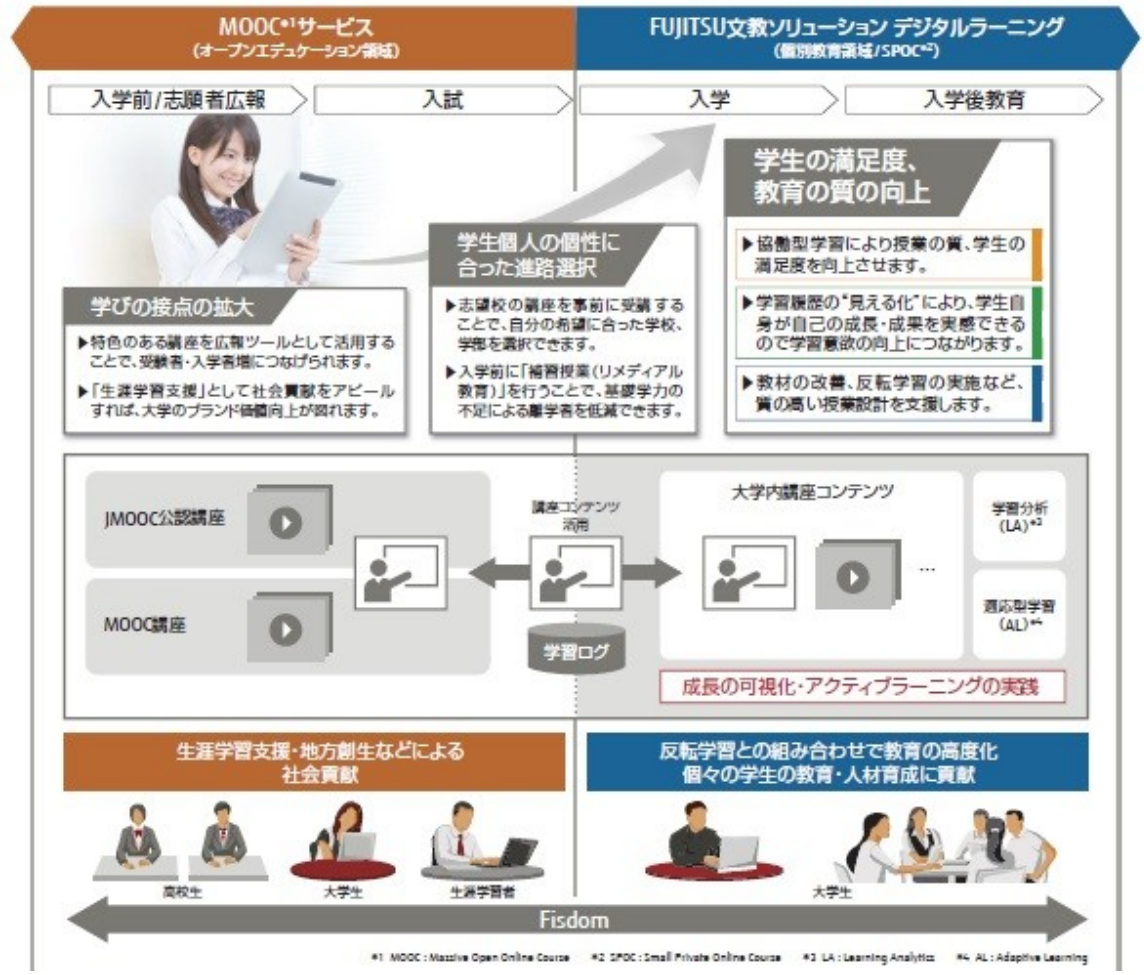
製品・サービス名称	**デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』**
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	https://www.fisdom.org/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

JMOOC 公認プラットフォーム「Fisdom」は、大学や他の教育機関などクローズドな環境で利用できる「SPOC サービス」と、誰もが受講できる「MOOC サービス」を提供します。

リメディアル教育や反転学習などへ学習履歴の可視化により大学教育の高度化を支援します。加えて、志願者広報・入試改革、地方創生に関連した人材育成への活用、高校生や生涯学習者への講座提供、また、他大学と連携した講座コンテンツの共同利用など、組織の枠を超えて生涯にわたる学びを支援します。



【製品の特長】

1．オープンエデュケーションと限定教育のハイブリッドプラットフォーム

2．SaaS で小規模(10ID～)から利用可能

3．協働型学習・能動的学びの支援

4．受講者の学びの履歴や受講者理解度の可視化

5．講座修了による称号付与などにより学習意欲の向上が可能

6．タグ付けによる個人の強み・弱みなどが把握可能

7．日英対応（５か国語対応予定）

8．スマートフォン専用アプリケーション

9．ビデオの視聴コントロール（視聴時間の担保）

製品・サービス名称	デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（1）社：利用企業名（富士通 JAIMS　　） 大学数（3）校：利用大学名（A 大学、K 医科大学、T 大学　　）
費用	ID(アカウント)数によるライセンス体系
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間、利用対象の制限等　　最低 10 ユーザより 【製品の場合】ライセンス形態(買取、利用契約)、保守(初年度から・２年目から)等
支払方法	※月次／年次請求、前払／後払、支払方法（振込／クレジットカード／その他）、支払通貨等 月次／前払
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（富士通営業との直接契約）	利用開始までの期間	2 週間～1 ヶ月
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（未定　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（未測定）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（対応予定　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業日の 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日の 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	件数制限は特になし
計画停止の頻度	月 1 回	サービス停止の通知	ホームページで通知
ログの開示	有・無（※条件　　） 検討中	第三者認証取得状況	ISO9001、P マーク認可

問合先	企業名：富士通株式会社 部署名：富士通コンタクトライン（総合窓口） 担当者：文教ビジネス推進統括部　ソリューション推進部	電話番号：0120-933-200 FAX 番号： Mail：fisdom-contact@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービス名称	**Cisco WebEx,** **Cisco TelePresence**
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/conferencing/index.html https://www.webex.co.jp/

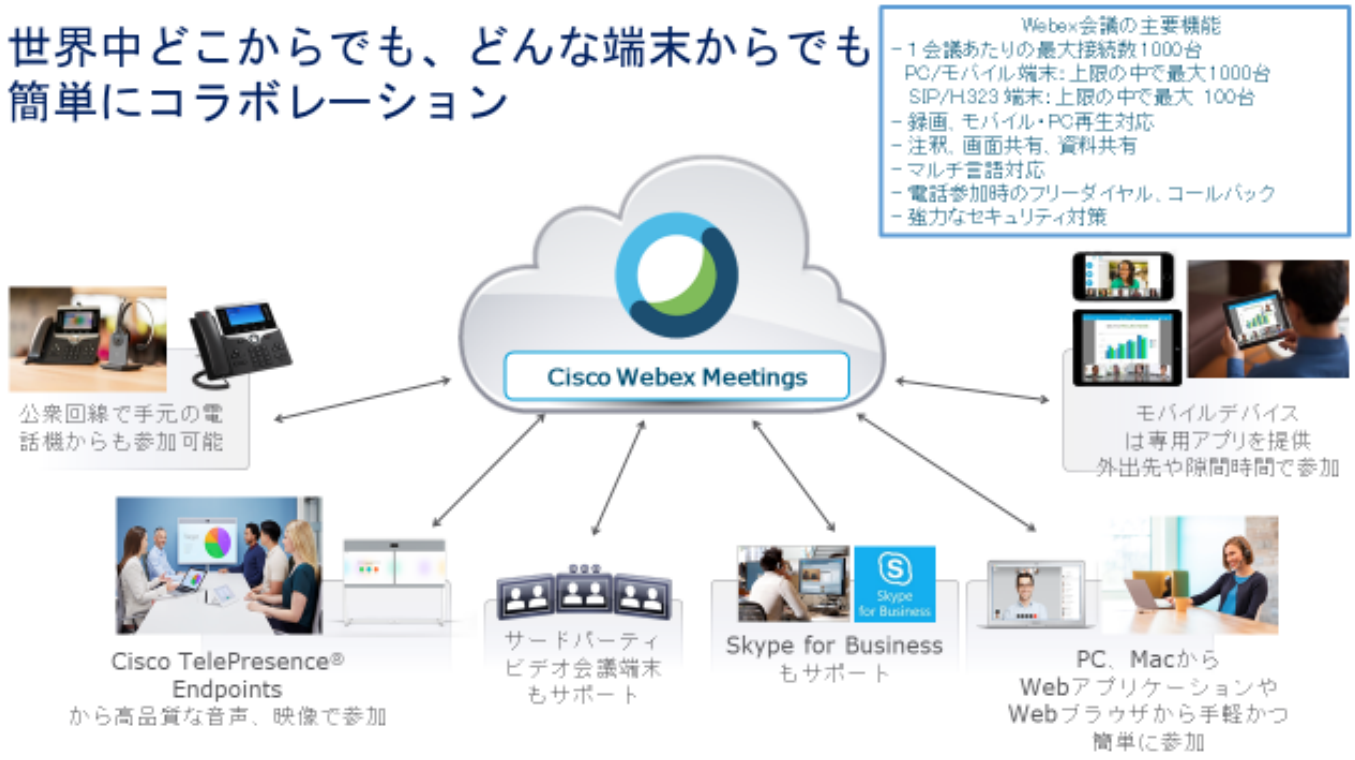
■製品サービスの特長

■Cisco Webex & TelePresence

Cisco Webex は簡単な操作で、いつでも、どこでも、誰とでも、遠隔会議を開催できるクラウドサービスです。PC やスマートフォンはもちろんテレビ会議端末、電話など自分が使いたいツールから世界のどこにいても会議に参加をすることができます。

また、Cisco TelePresence（世界・国内シェア No1）を使って会議に参加をすることで感情、表情、声色を遠く離れた相手に伝えることができます。遠隔地との会議はもちろん、授業や入試などの面接にも多くご利用を頂いております。

さらにこの度、大学限定の格安プログラム「教育機関向け特別プロモーション 」をご用意させて頂きました。本プログラムをご契約頂けますと教職員、事務員の皆様はいつでも遠隔会議を開催することができ、さらに全学生の皆様には Cisco Webex Teams の有償アカウントを無料で提供致します。



■利用シーン

- *遠隔地との会議や講義*
- *海外の学生との入試面接やオンラインでの大学紹介*
- *海外や国内の企業、研究所など遠く離れた外部*

■特徴

- *毎月世界で 1,000 万人以上が利用をしている、グローバルスタンダードのクラウド会議サービス*
- *アプリケーション、Skype for Business、テレビ会議、電話などあらゆる手段で会議に参加をすることができる*
- *世界中に展開しているデータセンターを専用線で結び遅延の少ない快適な会議環境を提供*
- *物理セキュリティから暗号化、認証、アクセス管理にわたる強固なセキュリティを実現*
- *全ての会議に関わる機能をオプションではなく標準機能として提供*

製品・サービス名称	Cisco WebEx, Cisco TelePresence

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ

■一般事項

契約実績	法人数（　4,000　）社：利用企業名（　トヨタ自動車、野村証券、楽天、三菱商事など　） 大学数（　多数　）校：利用大学名（　国立大学法人 東京農工大学、学校法人 慶應義塾大学など　）
費用	トライアル有り、１ユーザあたりの年間契約、音声オプションあり、会議開催数、会議参加者による料金の変動はありません。詳細は代理店へお問い合わせください。
利用条件	【WebEx】１ライセンス１２ヶ月から使用可能 【TelePresence】通常の購入モデルに加え、月額請求プランあり 保守（販売代理店へお問い合わせください）
支払方法	年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、支払通貨は日本円
販売代理店	有（代理店名：国内代理店 約 100 社）

■契約

申込み方法	注文書・その他（　代理店に依る　）	利用開始までの期間	ご発注後約２週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（日本とシンガポール）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　99.99%　）	目標稼働率	有・無・その他（ 100% ）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（ AES128/256 ）	暗号化通信	有・無・その他（ TLS ）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他（ 管理サイト有り ）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜有り	サービス停止の通知	有（メンテナンス時もサービス利用可能）
ログの開示	有・無（問い合わせにより対応）	第三者認証取得状況	ISO 27001, ISO 27002 SafeHarbor, SSAE-16

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当　見松利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

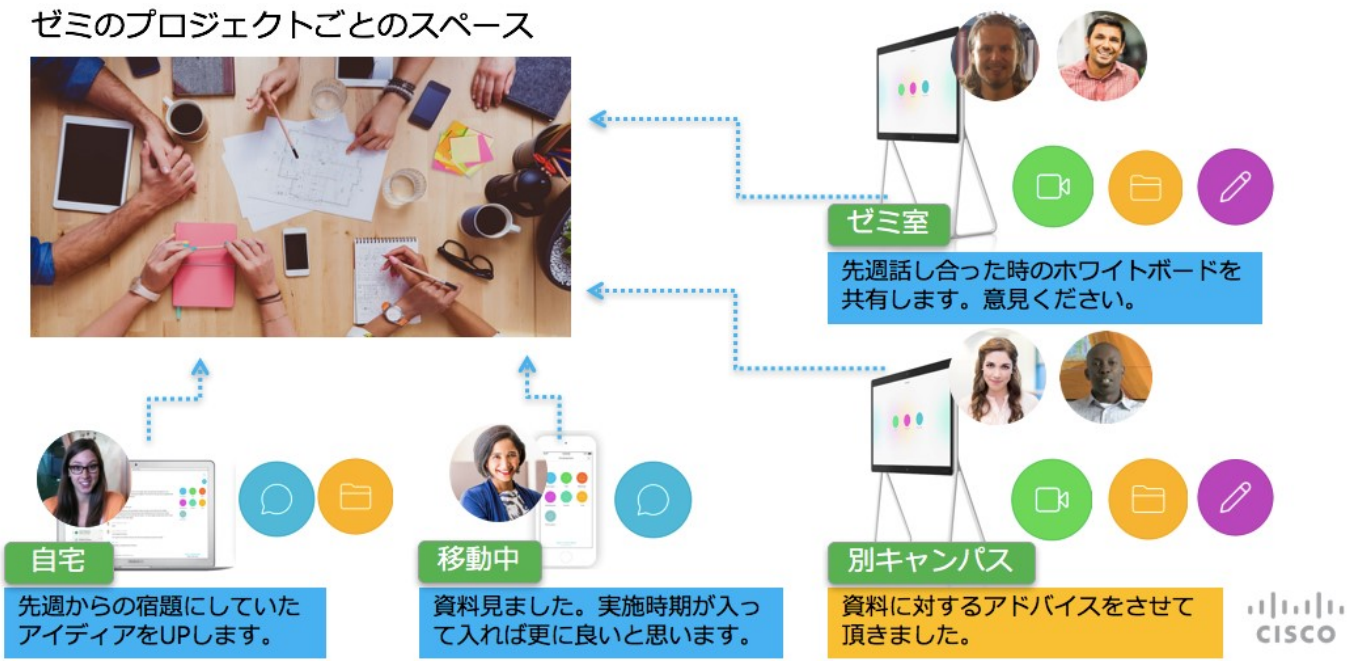
製品・サービス名称	**Cisco Webex Teams,** **Cisco Webex Board**
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/spark-edu-promo.html

■製品サービスの特長

■Cisco Webex Teams & Cisco Webex Board

Cisco Webex Teams は通話・チャット・資料共有・電子ホワイトボード機能などコミュニケーションに必要な手段全てを一つにまとめたクラウドサービスです。ウェブブラウザや PC、モバイルデバイスを通してメンバーやトピック、プロジェクトごとなどに仮想の部屋を作り、同じ部屋に入ったメンバーとのメッセージの送受信やファイルの共有、ビデオ通話等を通して、離れていても繋がることが出来ます。

Cisco Webex Board はワイヤレスプレゼンテーション機能、デジタルホワイトボード機能およびビデオ会議が可能なチームコラボレーションデバイスです。また Cisco Webex Teams サービスやアプリと組み合わせる事で、チームで行う共同作業を更にアシストします。また、全職員様にご契約頂くことで学生の皆様の Cisco Webex Teams 有償アカウントも提供させて頂く「教育機関向け特別プロモーション」をご提供しております。



■利用シーン

- ゼミごとやプロジェクトごとに仮想ルームを作り、メッセージや資料の共有を行う
- 学生同士、学生と教員との連絡を仮想ルームで行う
- 仮想ルームに参加しているメンバーとのビデオコミュニケーション、画面共有会議開催が可能
- 仮想ルームに学外のユーザーを含めることも出来るため、外部講師や特別講師を含めたコミュニケーションも可能

■特徴

- End to End で暗号化がされているため、セキュリティも安心
- ユーザー管理が出来、学内ユーザーの検索が可能となり、必要なユーザーを必要なルームに参加させることが可能
- ルーム内で 25 人までビデオコミュニケーションが可能となり、相手の顔を見ながら画面共有をすることが可能
- 21 カ国の言語に対応

製品・サービス名称	Cisco Webex Teams, Cisco Webex Board

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（数 100）社：利用企業名（　鹿島建設様、サツドラホールディングス様　他） 大学数（数 10）校：利用大学名（　玉川聖学院様、東洋大学様　他　）
費用	Cisco Webex Teams　１ユーザあたり/年額払い、無償版あり Cisco Webex Board 端末代＋月額使用料プランを基本に他プランあり 詳細は代理店までお問い合わせ下さい。
利用条件	１ライセンス１２ヶ月から契約可能
支払方法	※年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、支払通貨は日本円
販売代理店	無、有（代理店名：国内代理店約 40 社　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（代理店に依る）	利用開始までの期間	ご発注後約２週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（ 北米 ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（ 東京地方裁判所）

■信頼性

SLA	有・無（　）		
実績稼働率	有・無・その他（ 99.99% ）	目標稼働率	有・無・その他（ 100% ）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　）
データ暗号化	有・無・その他（ AES256 ）	暗号化通信	有・無・その他（ TLS ）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他（ 管理サイト有り ）	API 公開	有・無・その他（　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・その他	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（ 問い合わせにより対応 ）	第三者認証取得状況	なし

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当　見松　利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	**Amazon WorkSpaces**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/workspaces/

■製品サービスの特長

Amazon WorkSpaces

Amazon WorkSpaces はクラウドで動作する、マネージド型仮想デスクトップコンピューティングサービスです。Amazon WorkSpaces を使用することで、クラウドベースのデスクトップを簡単にプロビジョニングでき、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Kindle Fire タブレット、および Android タブレットといったサポート対象デバイスから、必要なドキュメント、アプリケーション、およびリソースにアクセスできるようになります。月単位または時間単位のいずれかで支払うことができるため、従来のデスクトップやオンプレミスの VDI ソリューションに比べて、費用を削減できます。Amazon WorkSpaces では、ハードウェアのインベントリ、OS バージョンとパッチ、仮想デスクトップインフラストラクチャ（VDI）の複雑な管理作業をなくして、デスクトップ提供戦略を簡素化します。Amazon WorkSpaces では、高速で応答性の高いデスクトップをユーザーが選択し、サポートされているデバイスを使用していつでも、どこからでもアクセスできます。

使用しやすい

Amazon WorkSpaces を導入すると、デスクトップコンピューティングインフラストラクチャの管理を省力化できます。先行投資が不要になり、大きくかさばる物理デスクトップ環境や複雑な仮想デスクトップインフラストラクチャ（VDI）ソリューションの保守、更新、管理といった煩わしい作業から解放されるからです。

データを安全に保つ

Amazon WorkSpaces では、各ユーザーが AWS クラウドの永続的ストレージを利用できます。ユーザーが Amazon WorkSpaces を使用してデスクトップにアクセスすると、リモードディスプレイプロトコルによってデータの圧縮、暗号化、およびエンコードが行われ、画像のみが伝送されます。また、Amazon WorkSpaces では、AWS Key Management Service (KMS) との統合によって WorkSpaces ストレージボリュームの暗号化機能が実現しています。

アプリケーションのデプロイと管理

Amazon WorkSpaces Application Manager (Amazon WAM) を使うと、組織で使用する Amazon WorkSpaces 向けデスクトップアプリケーションを迅速、柔軟、かつ安全にパッケージ化、デプロイ、アップデートできます。

選べるハードウェア・ソフトウェア構成

Amazon WorkSpaces では、CPU 性能、メモリ容量、ストレージ容量のさまざまな組み合わせをご用意しており、お客様のご要望に合わせてお選びいただけます。Amazon WorkSpaces は Windows 7 にすでにインストールされているか、あるいは Windows 7 か Windows 10 のデスクトップオペレーティングシステムで起動できます。加えて Amazon WorkSpaces では、一連の基本的なアプリケーションが無料で提供され、Microsoft Office を月額で追加することも選択できます。

多様なデバイスに対応

Amazon WorkSpaces はクラウドに存在するため、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Fire タブレット、および Android タブレットなど、どのサポート対象デバイスからでもデスクトップにアクセスできます。

社内ディレクトリとの統合

Amazon WorkSpaces は、お客様企業の Active Directory とセキュアに統合し、ユーザーが既存の認証情報を使って社内リソースへシームレスにアクセスできるようにします。これにより、お客様が WorkSpaces を現在お使いのシステム管理ツールで管理することも可能になります。

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分の料金のみの支払いで、バンドルタイプと Amazon WorkSpaces の起動数に基づいて課金されます。お支払い方法には、月額料金または時間料金があります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Chime
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/chime/

■製品サービスの特長

Amazon Chime でコミュニケーション

Amazon Chime は、セキュアで使いやすい、信頼できるアプリケーションを使ってオンライン会議を変革するコミュニケーションサービスです。Amazon Chime は Android、iOS、Mac、Windows などのさまざまなデバイスでシームレスに使用できるため、いつでも相手と連絡を取り合うことができます。Amazon Chime では組織の内外のユーザーと、オンライン会議、ビデオ会議、電話、チャット、コンテンツの共有を行うことができます。Amazon Chime は Alexa for Business と連携でき、Alexa を使って自分の声で会議を開始できます。Alexa を使って大きな会議室でビデオ会議を開始することも、小さな打ち合わせ室または自分のデスクからオンライン会議に自動的にダイヤルインすることもできます。

信頼のセキュリティ

Amazon Chime は万全のセキュリティを備えているため、安心してコミュニケーションできます。コミュニケーションはすべて AES 256 ビット暗号化を用いて暗号化され、チャット履歴はデバイス上には保存されません。また、会議に参加できるユーザーを制限することもできます。

Microsoft Active Directory を用いて Amazon Chime のユーザーを管理できるため、自社のログインポリシーを適用できます。また、ユーザーは既存の認証情報を使用してログインできます。Amazon Chime はセキュリティを最優先事項とするアマゾン ウェブ サービスの提供するサービスです。

ビデオ会議

Amazon Chime では、タップまたはクリック 1 回だけでビデオ会議の呼び出しを実行できます。デスクトップでは最大 16 名、モバイルデバイスでは最大 8 名でビデオ会議を利用でき、画面にはビデオタイトルが見やすく表示されます。会話に Chime in して、議論に集中できます。高音質の広帯域オーディオと高精細ビデオにより、声を懸命に聴き取る必要はなく、会議に集中できます。電話からも音声参加が可能です。

チャット

Amazon Chime では、組織の内外の人とチャットができます。新着メッセージがあると通知され、自分が送信したメッセージがいつ送信され、配信され、読まれたかを確認できます。チャットは 1 人だけと行うことも、グループで行うこともでき、ファイルの共有は会話に添付するだけで直ちに行えます。チャットは自動的に自分の複数のデバイス間で同期され、チャット履歴を検索することができます。

チャットルーム

Amazon Chime では、チャットルームを作成し、プロジェクトで仕事をする人々を簡単にまとめられます。@Username を指定すれば、会議室の中の適切な人にアラートを送信できます。また、ファイルは単に会話に添付するだけで共有できます。チャットルームはすべてのデバイスで使用可能で、チャット履歴を検索することができます。

開発者は、着信 Webhook を使用して、更新が発生するとすぐに Amazon Chime のチャットルームにメッセージを投稿するようにアプリケーションを設定できます。これにより、Amazon Chime のチャットルームをリアルタイムのチームコラボレーションのセントラルハブにすることができます。こうした場では、参加者は、重要なアプリケーションからのメッセージや互いのメッセージに、より迅速に応答できるようになります。

スマートプレゼンス

Amazon Chime では、スマートプレゼンスを使ってユーザーの状況が示されます。緑は対応可能、赤は多忙を意味します。プレゼンスは手動で設定し、対応不可であることを示すことも、プレゼンスの状況を完全に隠すこともできます。

製品・サービス名称	Amazon Chime		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	Amazon Chime Pro 機能に対しては、お客様のユーザーがその機能にアクセスする日だけに 1 ユーザー当たり 1 日 3USD 、1 か月では 15USD の制限付きで課金がされます。また電話でのダイヤルイン、Call me に関しては通話時間に応じて費用が発生します。チャットや会議へ出席をする Amazon Chime Basic の機能は無料です。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

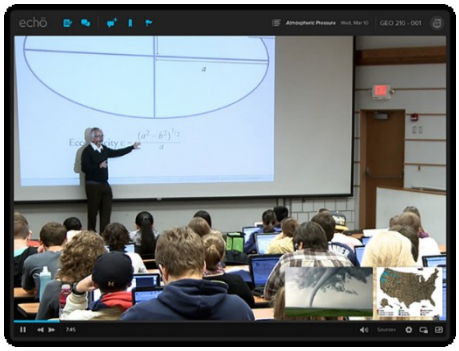
製品・サービス名称	**echo360**
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長

さらに使えるビデオプラットフォームへ

ビデオは教育にとって不可欠なものとなっています。しかし、ビデオを受け身のメディアとして使用しているだけでは、教育への効果は限られてしまいます。echo360 のプラットフォームでビデオ、エンゲージメント、分析を 1 つの統一された体験に組み合わせることによって、あなたの教室は共同学習コミュニティへと変貌します。

ビデオを簡単かつ確実に作成、管理



- 教員にとって使いやすい録画、再生、管理機能
- ソフトウェア、ハードウェアによる収録をあらゆる教室で実施
- 高画質 HD 録画
- 10 倍以上の信頼性
- 学生の利用率を 6 倍まで向上
- 様々な価格体系によりパイロット運用から全学運用まで実現可能

教員に負担をかけずに学生のエンゲージメントを向上

ソーシャルラーニングと学生応答ツールがビデオと統合されると、
学生のエンゲージメントは 6 倍に増大します。
これらの機能を一つにまとめて、授業中、授業前後を通じて学生の学習体験を
向上させることができるのは echo360 だけです。

リアルタイムの行動データで学生への積極的な働きかけを早期に実施可能

echo360 は、ノート作成、ピアツーピア学習、クラス活動への参加などの
エンゲージメントを測定する主要な基準を分かりやすく示すダッシュボードや
レポートで、学生の学習行動に関する新しい状況表示を提供します。
教員は、これらの情報を使用することで、リスクを抱えた学生の早期発見や、
学生のフィードバックに基づく教材の改善を実現することができます。

製品・サービス名称	echo360		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	**・パブリック**　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS **・SaaS**	**・教育支援**　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項	
契約実績	国公立大学、私立大学にてご利用中
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
利用条件	【クラウドの場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品の場合】利用ユーザー数によるライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り
支払方法	現金振り込み
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（契約締結）	利用開始までの期間	3 か月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・(別途ご相談)
データ保存場所	国内・海外（オーストラリア）	データ削除規定の有無	有・無・(別途ご相談)
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	実績稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	データ暗号化	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Shibboleth 対応	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日対応も可能	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	同上
計画停止の頻度	有	サービス停止の通知	同上
ログの開示	有・無（保守条件による）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 製造システム第三部 担当者・中島　徹	電話番号：03-5166-2810 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：campusinnovations-info@ml.scsk.jp

製品・サービス名称	**Prime Learning** **大学向けの e ポートフォリオ　プラットフォーム**
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長

e ポートフォリオは、学生の活動や成果を蓄積して整理を行いながら、振り返りを行う仕組みです。

SCSK の考える e ポートフォリオは、このサイクルに組織・個人目標(到達度基準)、評価分析を追加することで、目標に対する成果を振り返り、目指すべき姿の実現をサポートするシステムです。

弊社の e ポートフォリオは、目標、評価分析を追加することで、目標に対して成果を振り返りながら次の学習を計画し、目指すべき姿の実現を手助けするシステムとなっております。

ポイント

・大学様ご要望に対応するセミスクラッチ開発を短期間で構築

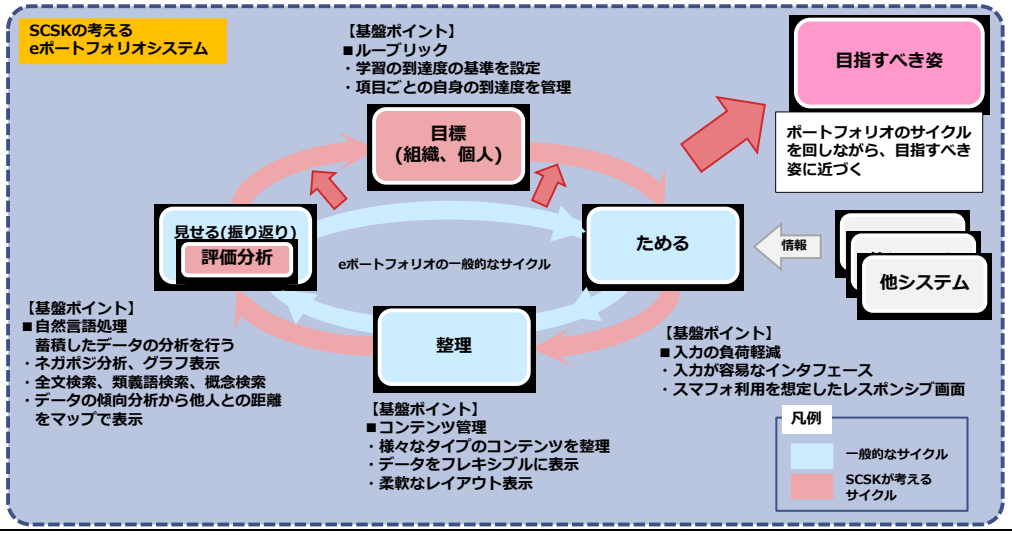
～共通基盤であるプラットフォームの採用により実現～

・様々な角度からの分析を実現

～辞書組み込み機能、自然言語分析機能といった特色ある機能実装～

・ご利用開始後、段階的な機能拡張が容易

～e ポートフォリオ共通基盤による機能拡張が可能な API～



製品・サービス名称	Prime Learning　大学向けの LMS(学習管理システム)の e ポートフォリオ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	**・パブリック　・プライベート** ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS **・SaaS**	**・教育支援**　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	国立大学、公立大学、私立大学にてご利用中
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
利用条件	【クラウドの場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り
支払方法	現金振り込み
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約締結）	利用開始までの期間	6 か月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・(別途ご相談)
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・(別途ご相談)
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	実績稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	データ暗号化	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Shibboleth 対応	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日対応も可能	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	同上
計画停止の頻度	有	サービス停止の通知	同上
ログの開示	有・無（保守条件による）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 製造システム第三部 担当者・文教サービス第二課　中島　徹	電話番号：03-5166-2810 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：campusinnovations-info@ml.scsk.jp

2．研究支援系

製品・サービス名称	VW4C
提供企業名	エイチ・シー・ネットワークス㈱
紹介サイト URL	https://www.hcnet.co.jp/products/uc/cloud/vw4c.html

■製品サービスの特長

仮想ワークプレイスクラウドサービス

製品・サービス名称	Virtual Workplace for Collaboration（略称 VW4C）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	非公開
費用	課金体系(月次定額 ＊一定期間の一括契約可)、トライアル要相談 ルームタイプ：49,800/月・ライセンス・契約体系 1 年間 トライアルはホームページより随時受付中（https://www.hcnet.co.jp/products/uc/cloud/vw4c.html）
利用条件	最低利用期間(１年間～)、ライセンス形態(共用ルームタイプ・バーチャル会議室の貸出) ※サービス約款への同意 ※必ず実際の環境にてトライアルを実施の上、品質や操作方法などをご確認ください。
支払方法	原則年払い・ご利用開始月翌月末現金払い(支払い通貨：日本円)
販売代理店	有（代理店名：弊社までお問合せください）

■契約

申込み方法	その他　(弊社営業)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	利用クラウドサービスに準拠	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容　　）		
実績稼働率	対応・未対応・対応予定	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他(サービス選択による)	バックアップ	有・無・その他(クラウドサービスに準拠)
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	※クラウド 24H/365D	QA 対応時間帯	営業日の 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	有（サービスメンテナンス時）	サービス停止の通知	有
ログの開示	無	第三者認証取得状況	ISO9001、ISMS、P マーク

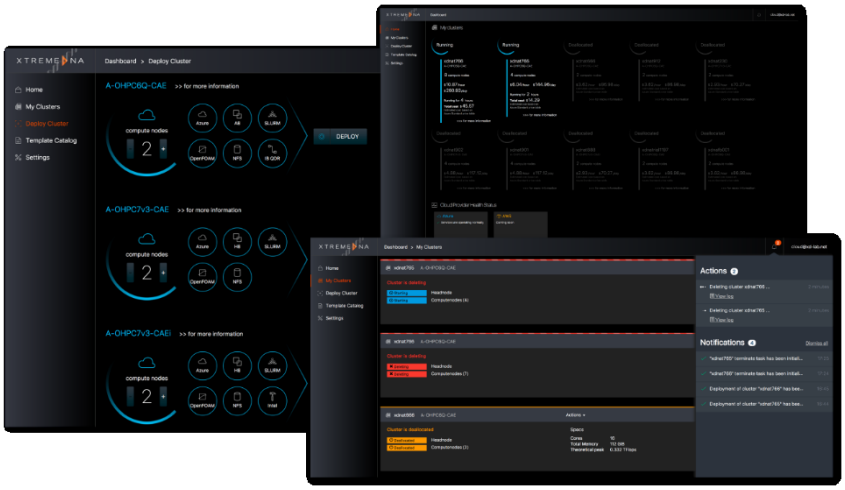
問合先	企業名：エイチ・シー・ネットワークス株式会社 部署名：製品お問合せ窓口 担当者・	電話番号：03-6381-8856 FAX 番号： URL: https://www.hcnet.co.jp

製品・サービス名称	**XTREME-DNA HPC Cloud**
提供企業名	エイチ・シー・ネットワークス㈱
紹介サイト URL	https://xtreme-d.net/ ＊開発元（エクストリーム-D㈱）

■製品サービスの特長

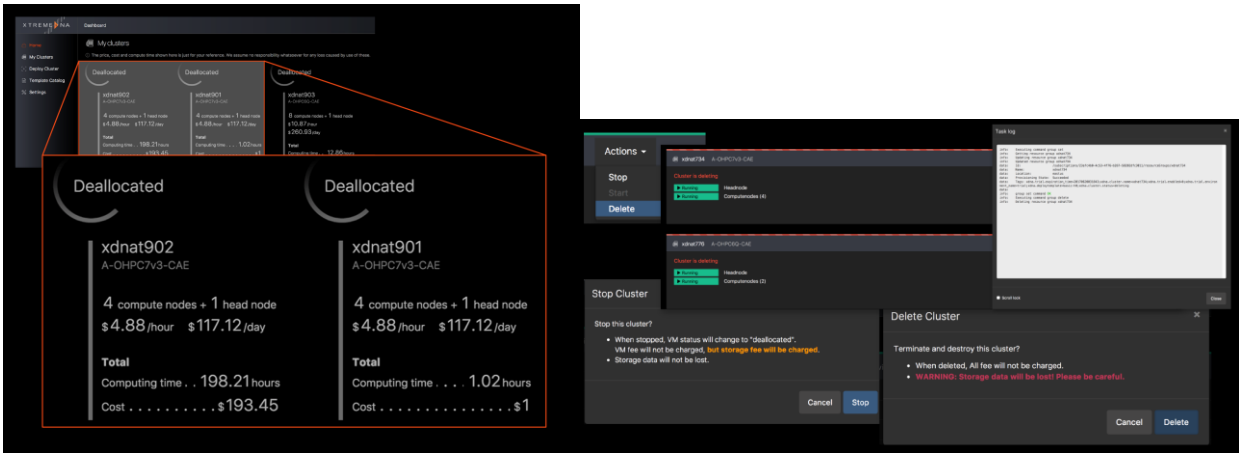
クラウドスパコン(HPC クラスタ)の構築・運用を SaaS で実現！

お客さまの既存 IaaS(Microsoft Azure、Amazon AWS など)にターンキーのクラウドスパコンを構築



さまざまな HPC テンプレートをご用意、月額料金による Intel Parallel Studio のご提供

(Chainer、TensorFlow、Karas、Chainer MN、OSPRay、ParaView、OpenFOAM、Peridigm など)



HPC クラスタ単位で IaaS の料金管理、HPC クラスタの確実な制御(起動、停止、削除)

製品・サービス名称	XTREME-DNA HPC Cloud

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（　）社：利用企業名（　　） 大学数（　）校：利用大学名（　　）
費用	課金体系(月次定額 ＊一定期間の一括契約可)、トライアル要相談
利用条件	最低利用期間(1 か月～)、ライセンス形態(利用契約) HPC クラスタを展開するための IaaS 環境が別途必要
支払方法	ご利用月翌月末現金払い(支払い通貨：日本円)
販売代理店	無（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他　(弊社営業)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	利用クラウドサービスに準拠	データ削除規定の有無	有　無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容　　）		
実績稼働率	対応・未対応・対応予定	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他(サービス選択による)	バックアップ	有・無・その他(サービス選択による)
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	※（例：24H/365D）	QA 対応時間帯	営業日の 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：エイチ・シー・ネットワークス株式会社 部署名：製品お問合せ窓口 担当者・	電話番号：03-6381-8856 FAX 番号： URL: https://www.hcnet.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Machine Learning
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/machine-learning/

■製品サービスの特長

Amazon Machine Learning

Amazon Machine Learning は、どのスキルレベルの開発者でも、機械学習テクノロジーを簡単に使用できるようになるサービスです。Amazon Machine Learning では、複雑な機械学習（ML）アルゴリズムおよびテクノロジーを学習する必要なく、ML モデルの作成プロセスを説明する仮想化ツールおよびウィザードを提供します。モデルの準備が整ったら、Amazon Machine Learning により、カスタムの予測生成コードを実装したり、インフラストラクチャを管理する必要なく、単純な API を使用してアプリケーションの予測を簡単に取得したりできるようになります。

Amazon Machine Learning は、Amazon 社内のデータサイエンティストコミュニティで数年間使用されてきたものと同じ実証済みの高度にスケーラブルな ML テクノロジーに基づいています。このサービスでは、強力なアルゴリズムを使用して、既存のデータのパターンを検索することで ML モデルを作成します。その後、Amazon Machine Learning ではこれらのモデルを使用して新しいデータを処理し、アプリケーションの予測を生成します。

Amazon Machine Learning は高度にスケーラブルで、毎日数十億件の予測を生成し、それらの予測を高いスループットでリアルタイムに処理することができます。Amazon Machine Learning では、ハードウェアまたはソフトウェアへの先行投資はなく、従量制の料金体系であるため、小規模で開始して、アプリケーションの拡大に合わせてスケーリングできます。

機械学習モデルを容易に作成

Amazon Machine Learning API およびウィザードにより、すべての開発者にとって、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Amazon Redshift、または Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) の MySQL データベースに保存されているデータから ML モデルを作成して細かく調整し、予測のためにこれらのモデルのクエリを行うことが容易になります。サービスの組み込みのデータプロセッサ、スケーラブルな ML アルゴリズム、インタラクティブデータおよびモデル可視化ツール、および品質に関するアラートにより、モデルを迅速に構築および調整することができます。

数秒でモデルから予測を実行

Amazon Machine Learning は、エンドツーエンドのモデル作成、デプロイメント、およびモニタリングを提供するマネージドサービスです。モデルの準備が整ったら、アプリケーションに対する予測を迅速かつ確実に生成できるため、機械学習インフラストラクチャを構築、スケール、管理するために必要な時間と投資が必要なくなります。

スケーラブルで高パフォーマンスな予測生成サービス

Amazon Machine Learning 予測 API を使用すると、アプリケーションに対する数十億件の予測を生成することができます。バッチ予測 API を使用すると、多数のデータレコードに対する予測をすべて 1 度にリクエストできます。または、リアルタイム API を使用すると、個別のデータレコードの予測を取得して、インタラクティブウェブ、モバイル、またはデスクトップアプリケーションでその予測を使用できます。

低コストで効率的

Amazon Machine Learning では、初期費用がかからず、従量制の料金体系であるため、小規模で開始して、アプリケーションの拡大に合わせてスケールすることができます。

実証済みのテクノロジーを活用

Amazon Machine Learning は、Amazon がサプライチェーン管理、不正取引の特定、カタログの編成などの重要な機能の実行に使用してきたものと同じ、実証済みの高度にスケーラブルな ML テクノロジーに基づいています。

製品・サービス名称	Amazon Machine Learning

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	予測モデルの構築に使用したコンピューティング時間の時間料金で課金され、その後、アプリケーションで生成した予測の件数に対する料金の支払となります。また、リアルタイム予測では、モデルに必要なメモリ量に基づくリザーブドキャパシティー料金の時間料金の支払いとなります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon SageMaker
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/sagemaker/

■製品サービスの特長

Amazon SageMaker

Amazon SageMaker は、開発者やデータサイエンティストが機械学習モデルを構築、トレーニング、デプロイできるようにする完全マネージド型サービスです。

Amazon SageMaker には、Build、Train、および Deploy という 3 つのモジュールがあります。Build モジュールは、データを操作し、アルゴリズムを試し、出力を視覚化するためのホストされた環境を提供します。Train モジュールでは、ワンクリックでのモデルのトレーニングやチューニングを大規模かつ低コストで行うことができます。Deploy モジュールは、推論のためのモデルを簡単にホストし、安全かつ低レイテンシーでテストするためのマネージド環境を提供します。

オーサリングモデル用のマネージドノートブック

Amazon SageMaker は、データの吟味と前処理のトレーニング用に、Jupyter ノートブックを実行する完全にマネージされたインスタンスを提供します。これらのノートブックには、よく使われる深層学習プラットフォームに対応した CUDA および cuDNN ドライバー、Anaconda パッケージ、および TensorFlow、Apache MXNet、Chainer、PyTorch 用のライブラリがあらかじめロードされています。

幅広いフレームワークをサポート

Amazon SageMaker は TensorFlow、Apache MXNet、Chainer 、PyTorch を自動的に構成して最適化するため、これらのフレームワークの使用開始時には何もセットアップをする必要がありません。

ワンクリックでトレーニング

Amazon SageMaker でトレーニングの準備が整ったら、コンソールで Amazon S3 のデータの場所、ならびに必要な Amazon SageMaker ML インスタンスのタイプと数量を指定します。その後、1 回クリックするだけで、トレーニングを開始できます。Amazon SageMaker は分散型コンピュータークラスターをセットアップし、トレーニングを行い、結果を Amazon S3 に出力し、完了後クラスターを解体します。

自動モデルチューニング

Amazon SageMaker は何千ものアルゴリズムパラメーターを調節してモデルを自動的にチューニングし、モデルが出し得る最も正確な予測に到達します。

1-Click デプロイ

Amazon ML インスタンスは複数のアベイラビリティーゾーン間で自動スケーリングされます。お客様は、1 回クリックするだけで、この冗長性に優れたインスタンスにモデルをデプロイできます。お客様がインスタンスのタイプ、必要なインスタンスの最大数と最小数を指定すると、残りの手順は自動的に実行されます。インスタンスの作成、モデルのデプロイ、アプリケーションと安全に通信するための HTTPS エンドポイントのセットアップも自動的に行われます。アプリケーションではこのエンドポイントへの API コールを行うだけで、低レイテンシーで高スループットの推論が利用できます。

自動 A/B テスト

Amazon SageMaker はまたモデルの A/B テストも行えます。エンドポイントの設定で最大 5 つのモデルに渡ってトラフィックを分散し、各々が処理するインファレンスコールのパーセンテージを設定できます。これらはすべて操作しながら変更できますので、柔軟に実験ができ、どのモデルが実際の世界で最も正確な結果を生み出すかを決定できます。

バッチ変換

バッチ変換により、大小のバッチデータに対して予測を実行することができます。シンプルな API を使って、多数のデータレコードの予測をリクエストし、そのデータを迅速かつ簡単に変換することができます。

製品・サービス名称	Amazon SageMaker

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	使用した分のみ料金が発生します。構築、トレーニング、ホスティングは秒単位で課金され、最低料金や前払いの義務はありません。Amazon SageMaker の料金はオンデマンド ML インスタンス、ML ストレージ、ノートブックとホスティングインスタンスでのデータ処理料金に分かれています。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**AWS IoT Core**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/iot-core/

■製品サービスの特長

AWS IoT Core

AWS IoT Core は、インターネットに接続されたデバイスから、クラウドアプリケーションやその他のデバイスに簡単かつ安全に通信するためのマネージドクラウドプラットフォームです。IoT プラットフォームを使用すると、さまざまな場所の接続されたさまざまなデバイスに、安全な通信、データの処理とルーティング、デバイス管理を提供することができ、産業用ソリューションやコネクテッドホームソリューションなどの IoT アプリケーションを簡単に構築できます。AWS IoT Core のような IoT プラットフォームでは、AWS IoT Analytics などのサービスに接続することで、分析モデルや機械学習モデルを構築することもできます。

AWS IoT Core では数十億個のデバイスと数兆件のメッセージをサポートしており、それらのメッセージを AWS エンドポイントや他のデバイスに確実かつセキュアに処理してルーティングします。AWS IoT Core を使用すれば、アプリケーションがインターネットに接続されていない場合でも、すべてのデバイスを常に追跡して通信できます。

エッジやクラウドベースの各種サービスとの統合

AWS IoT Core は、AWS IoT エッジベースのソフトウェアおよびクラウドベースの各種サービスと統合できます。Amazon FreeRTOS や AWS Greengrass など、エッジベースのソフトウェアによって、デバイスに安全に接続し、エッジにあるデータに基づいてアクションを起こすことができます。AWS IoT Device Management や AWS IoT Device Defender のようなクラウドベースのサービスによって、デバイスを追加し、デバイスフリートのセキュリティを管理することができます。AWS IoT Analytics を使えば、IoT データに対する分析を実行し、IoT アプリケーションと機械学習ユースケースについてよりよい決定を下すためのインサイトを得ることが可能です。

デバイスの接続と管理

AWS IoT Core ではデバイスをクラウドや他のデバイスに簡単に接続できます。AWS IoT Core では、断続的な接続を許容し、デバイスのコードフットプリントを削減し、必要なネットワーク帯域幅を削減するよう特別に設計された HTTP、WebSocket、MQTT といった軽量の通信プロトコルをサポートしています。また、AWS IoT Core では他の業界標準およびカスタムプロトコルをサポートしており、別のプロトコルを使用しているデバイス間でも相互に通信できます。

デバイスの状態をいつでも読み取って設定

AWS IoT Core では、いつでも読み取りや設定を行えるよう、接続されたデバイスの最新の状態が保存され、アプリケーションにはデバイスが常にオンラインであるかのように表示されます。つまり、接続が切断された場合でもアプリケーションでデバイスの状態を読み取ることができ、デバイスが再接続された時にデバイスの状態を設定して実装することができます。

データ収集・処理・分析・アクション

AWS IoT Core を使用すると、AWS Lambda、Amazon Kinesis、Amazon S3、Amazon SageMaker、Amazon DynamoDB、Amazon CloudWatch、AWS CloudTrail、Amazon QuickSight といった AWS の各種サービスを簡単に使用できます。これにより、インフラストラクチャの管理をせずに、接続されたデバイスで生成されたデータを収集、処理、分析し、そのデータに基づいてアクションを起こす IoT アプリケーションを構築できます。

製品・サービス名称	AWS IoT Core		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	使用した分に対してのみ支払いが発生し、接続の使用量、メッセージング、デバイスシャドウの使用量（デバイス状態ストレージ）、レジストリの使用量（デバイスメタデータストレージ）、ルールエンジンの使用量（メッセージの変換とルーティング）について、個別に料金が請求されます。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ　リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ne.jp/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ http://www.sakura.ne.jp/

豊富な Web サーバ機能	人気の CMS を簡単に利用可能（WordPress 等） マルチドメイン対応 アクセスログの保管・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP などセキュアな環境で利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供（オプション） OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼動	99.95%以上の高い稼動実績 DISK の二重化による信頼性 日次バックアップの取得による信頼感

数多 **さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス** 減す
るこ

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便にできる機能をご提供。 ■アカウント管理機能 ： アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能 ： サーバリソース（ CPU / メモリ）のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ ： メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ ： ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能 ： コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	大学システムとしてご提供をいただくために、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供（校章表示、定型メッセージ表示等）。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ(ビジネス)の機能をベースにご提供をいたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理を円滑に進めるために、大学管理者様向けのサポート体制をご提供します。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ　リセール向けサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ご利用件数 40 万件突破） 大学数（非公開）校：利用大学名（　　）
費用	サーバ単位でのご契約となります。 280 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 14 万円となります。
利用条件	ご利用拘束期間は 12 ヶ月間となります。
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	５営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（99.99%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（SSL　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9:45～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

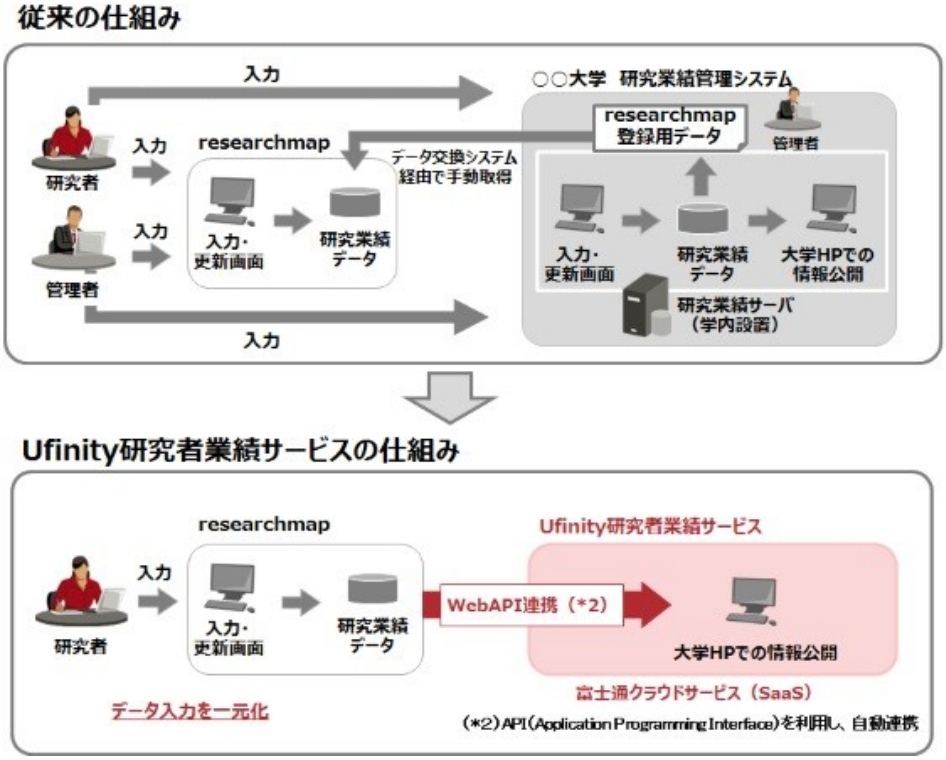
製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/research/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

「Ufinity 研究者業績サービス」は、「researchmap」（注）に登録されている研究者の業績情報を活用した、大学ごとに研究者の研究業績が公開可能な SaaS 型サービスです。

本サービスにより、大学は、独自の研究者業績データベースの構築や運用が不要になります。



（注）国立情報学研究所が開発し、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、26 万件におよぶ研究者の研究業績情報が登録された国内最大のデータベース。

【製品の特長】

■ **富士通データセンターでサーバ管理する安全・安心な SaaS サービスです**

- データベースは researchmap を活用。**独自にデータベースを用意する必要なく、**すぐにサービスを開始することができます。
- サーバ等のシステムは当社データセンターにて一元管理し、防犯・防災などのセキュリティ対策や日々のデータバックアップも万全です。大学様毎にサーバを購入する必要がありません。

■ **日本最大の研究者情報データベース「researchmap」を活用**

- データは既に researchmap に用意されていますので、すぐにサービスを利用できます。 独自のデータベースのように情報更新のつど、同期を取る必要はありません。

■ **大学専用の閲覧サイトをご用意します**

- 大学様に合わせた学部、学科、研究分野別など多様な検索ページ・一覧表示設定が可能です。デザイン、レイアウトも大学様に合わせブラウザ上で自由に変更できるように複数パターンご用意しております。

NetCommons®2 系（国立情報学研究所 情報・システム研究機構が研究開発しているオープンソースソフトウエア）をベースとした CMS(コンテンツマネジメントシステム）機能で、容易に編集・公開が可能です。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（　）社：利用企業名（　　） 大学数（ 9）校：利用大学名（　　）
費用	トライアル：無、課金体系：定額制、割引プラン：なし
利用条件	利用対象：ｒｅｓｅａｒｃｈｍａｐに登録している大学及び研究機関
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円
販売代理店	無、有（代理店名：富士通パートナー各社　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書）	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（対象外）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（対象外）
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	Web サイト	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月２回　夜間	サービス停止の通知	３ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク

問合先	企業名：富士通株式会社 部署名：富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者：	電話番号：0120-933-200 FAX 番号： Mail：

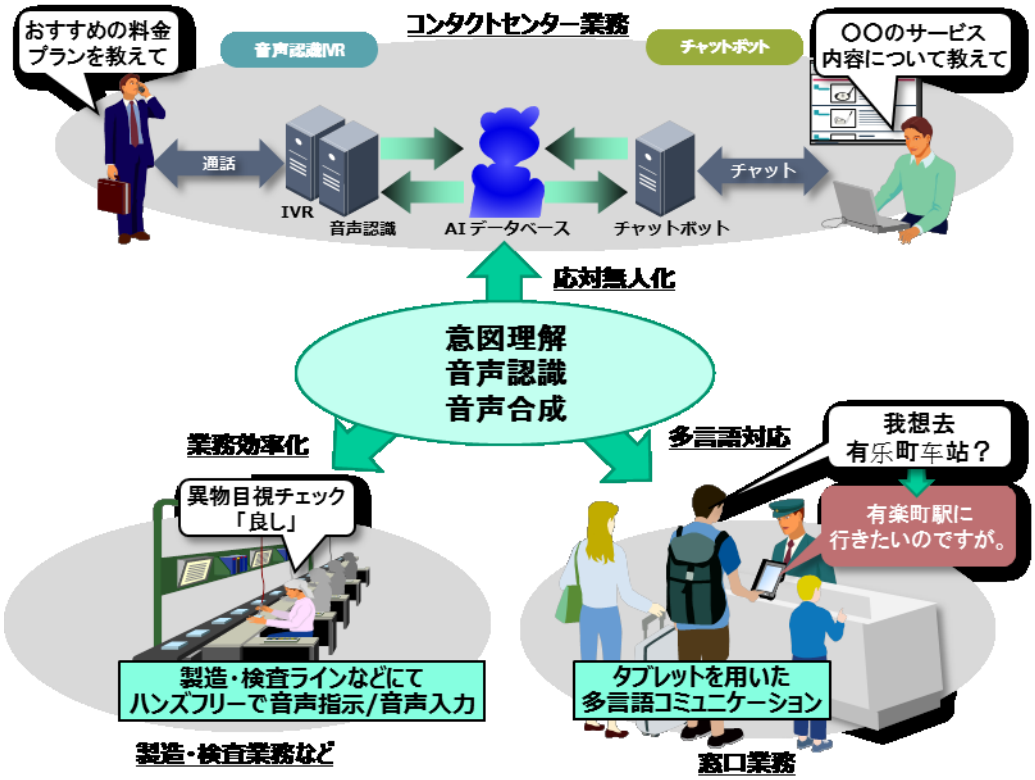
3．事務支援系

製品・サービス名称	音声データ利活用ソリューション
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/IoTM2M/speech_recognition/

■製品サービスの特長

音声やテキストの意図を理解し、業務効率化・応対無人化・多言語対応を実現

IoT の台頭で、新たな価値創出やサービス品質向上を目指す取り組みが活発化しています。日立は音声録音技術やデータ分析技術の実績を生かし、業務効率化・応対無人化・多言語対応などを実現します。



適用分野（業種・業務）

・コンタクトセンターの問い合わせ対応業務
・現場の検査・点検業務
・外国人向け窓口業務

お客さまの課題

・営業時間外の問い合わせにも対応したい。
・手入力を削減し、業務効率を向上したい。
・日本語を母語としない人向けに多言語で対応したい。

解決策・お客さまメリット（導入効果など）

・音声認識 IVR やチャットボットでオペレーターの負荷を軽減
・音声指示/入力により、現場の検査・点検結果の
　入力時間を削減
・多言語対応により、日本語を母語としない人にも
　作業指示や確認業務が可能

※IVR：自動音声応答 Interactive Voice Response

製品・サービス名称	音声データ利活用ソリューション

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）
費用	別途ご相談させて頂きます。
利用条件	別途ご相談させて頂きます。
支払方法	別途ご相談させて頂きます。
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	別途ご相談させて頂きます。
約款の有無	別途ご相談させて頂きます。	約款修正の可能性の有無	別途ご相談させて頂きます。
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	別途ご相談させて頂きます。
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	別途ご相談させて頂きます。		
実績稼働率	別途ご相談させて頂きます。	目標稼働率	別途ご相談させて頂きます。
ストレージ	別途ご相談させて頂きます。	バックアップ	別途ご相談させて頂きます。
データ暗号化	別途ご相談させて頂きます。	暗号化通信	別途ご相談させて頂きます。

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	別途ご相談させて頂きます。

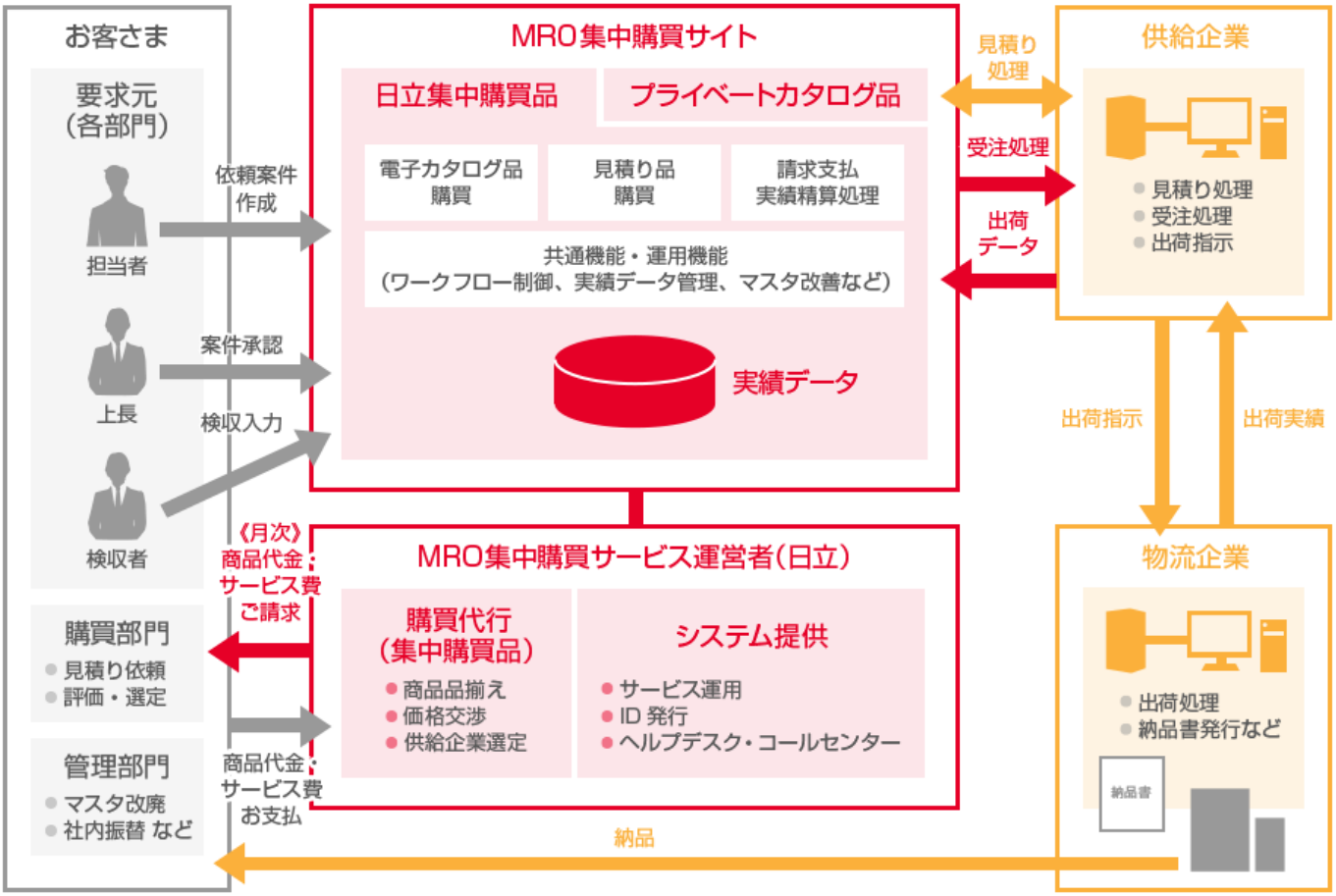
■保守・運用

障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	別途ご相談させて頂きます。
計画停止の頻度	別途ご相談させて頂きます。	サービス停止の通知	別途ご相談させて頂きます。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	別途ご相談させて頂きます。

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	**TWX-21 MRO 集中購買サービス**
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/mro/

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。 以下の２タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ１：集中購買参加タイプ（購買代行型）

・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。

・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ２：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。

・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート・ その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（700）社：利用企業名（三菱重工業株式会社様、富士フイルムビジネスエキスパート株式会社様） 大学数（非公開）：利用大学名（北海道大学様）
費用	初期費用：作業内容に応じて設定。ランニング費用：データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	2 ヶ月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（99.5%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公表）
ストレージ	多重化有・無・その他（RAID5）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（GUI 対応など）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1 回/月（第 2 日曜日）定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外（平日 19:00～翌日 9:00、休日）に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有（コンテンツ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_meishi/

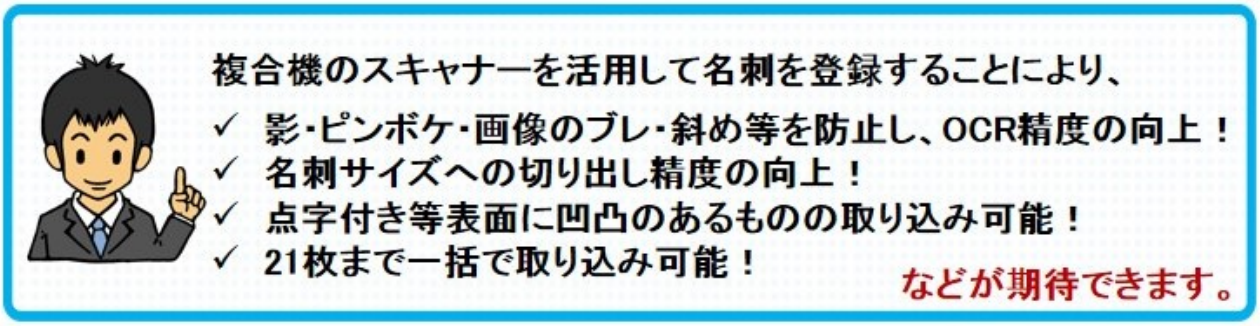
■製品サービスの特長

クラウド電話帳との連携で社内のアドレス帳管理とスマートフォンによる名刺管理をさらに便利に。

現代のコミュニケーションはグループウェアやスマートフォン、様々なツールやアドレス帳を活用します。

PhoneAppli 社の提供する「連絡とれるくん」はそのアドレス帳の一元管理を行います。

本製品は社外の連絡先に登録する窓口となる、「名刺」をリコー製複合機でカンタンに取り込むことができます。



名刺管理に関するお困りごとを「RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん」が解決します。

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数：非公開　利用企業名（非公開　　） 大学数：非公開　利用大学名（非公開　　）
費用	トライアル有（無償　1ヶ月） 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 12,000 円/台
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台、最低利用期間 1 年 別途連携先 PhoneAppli 社の「連絡とれるくん」の契約が必要
支払方法	年次請求、支払方法（振込／その他）※契約販売店による
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（申込書）	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（米国　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部商品企画本部画像ソリューション企画室 画像アプリケーショングループ 担当者・柏原弘	電話番号：090- 6017- 0509 Mail：hiromu_kashihara@jp.ricoh.com

製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用 for Box / Dropbox / OneDrive for Business / (Google Drive)
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	http://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_storage/

■製品サービスの特長

クラウドストレージの活用でリモートワークはさらに効率的に

キャビネットや個人のパソコンに保存された文書をクラウド上で一元管理。

「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」がリコー製複合機やプリンターとさまざまなクラウドストレージサービスをつなげます。

パソコンを使わずに複合機やプリンターの操作パネルでカンタンに紙文書を電子化してクラウドに保存したり、クラウド上の文書を印刷。また、オフィスの外でも文書を閲覧・ダウンロードできるようになるので、お客様の働き方改革を強力に推進します。

紙文書に関するさまざまなお困りごとを「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」が解決します。

**紙文書の仕分け作業を
もっとカンタンに!**

例えば、直接持ち込まれた紙の注文書。これまでは、担当者ごと得意先ごとに仕分けするだけでも大変でした。「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」で複合機とクラウドストレージを連携させれば、スキャンすると直接クラウドに保存できるので、スピーディーな仕分けが可能です。

**セキュリティの高い管理で
安心運用**

クラウドストレージとの連携機能を活用する際には、複合機に4桁以上の数字を入力するか、IC カードをかざしてログインします。クラウド内の文書を印刷したり、クラウドに文書を保存する際に、セキュアな運用ができます。

**電子化した紙文書をモバイルで
閲覧可能**

これまでは、注文書などの紙文書を確認するには社内に戻る必要がありました。これからは、紙文書を電子化してモバイル閲覧が可能なクラウドに保存することで、情報共有を強力にサポートします。また、クラウドの OCR 機能を活用し、データの利活用を促進します。

製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用シリーズ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数：非公開　利用企業名（非公開　　） 大学数：非公開　利用大学名（非公開　　）
費用	トライアル有（無償　1ヶ月） 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 1,500 円/台　年額 18,000 円/台
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数 1 名、最低利用期間 1 ヶ月
支払方法	月次／年次請求、支払方法（振込／その他）※契約販売店による
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（申込書）	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（米国　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部商品企画本部画像ソリューション企画室 画像アプリケーショングループ 担当者・山本徹	電話番号：080-4411-6034 Mail：tohru.ty.yamamoto@jp.ricoh.com

製品・サービス名称	**図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス**
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/limedio/

■製品サービスの特長

1．トップシェアに裏付けされた完成度の高いパッケージシステム

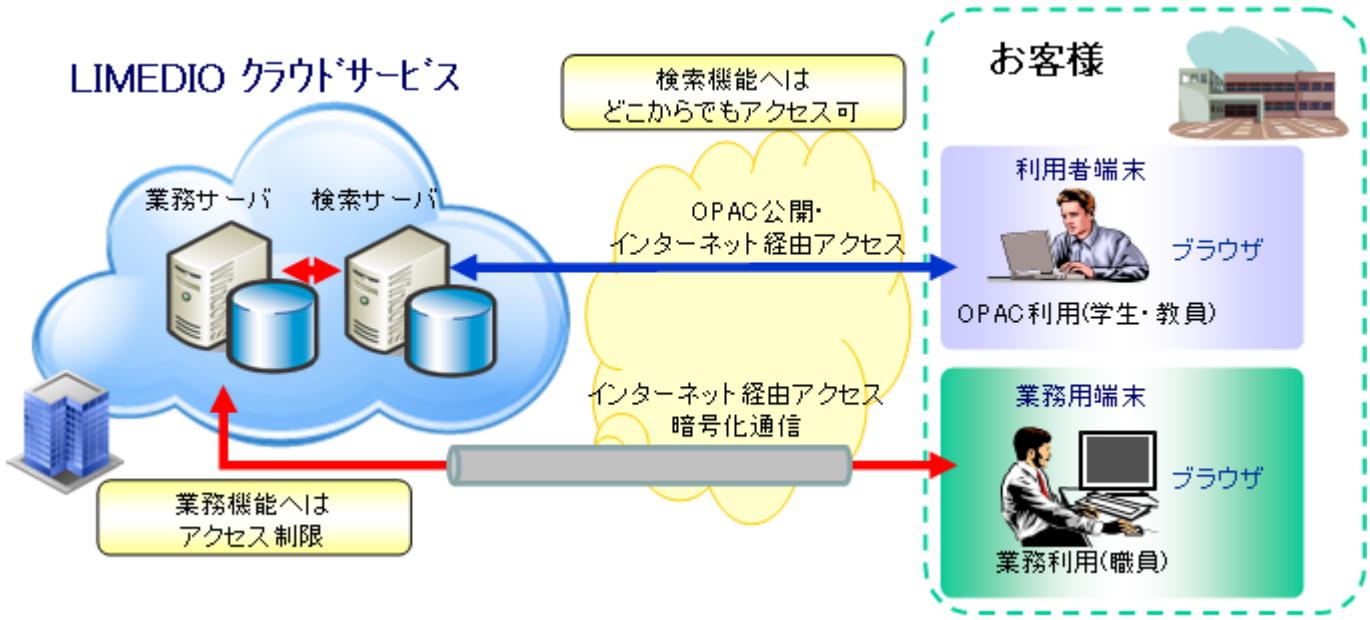
2．目的の資料を簡単に見つけられる新しい利用者サービス機能

3．業務に合わせ画面や帳票のレイアウト変更が可能

4．多くの実績に基づいた確実なデータ移行を実現

5．万全のサポート体制でシステムの安定運用を支援

20 年以上に渡り、多くのお客様にご愛顧頂いております大学向け図書館システムパッケージの LIMEDIO が 2012 年末よりクラウドサービス提供を開始いたしました。
大学における図書館運用を知り尽くした LIMEDIO の特徴そのままにクラウドサービスのメリットを享受頂けます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（専用テナント）	・SaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	全国大学を中心として 200 以上のユーザーにて稼働中
費用	トライアル利用もございます。 費用についてはお問合せ下さい。
利用条件	初期費用、運用費にて構成
支払方法	お問合せ下さい。
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無（ 契約書によります　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
適用法規	日本国法・海外法規（契約書によります）	所轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：運用データセンターとしては、TierⅢレベルにて運用）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）
学認対応	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	１ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（　　）	第三者認証取得状況	ISMS

問合先	企業名：株式会社リコー 部署名：MA 事業部　大学営業部　LIMEDIO 担当室	電話番号：050-3817-1084 Mail：limepromo@sdg.mdd.ricoh.co.jp

製品・サービス名称	「DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）」
提供企業名	ＳＣＳＫ株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長

SCSK が提供している DreamCampus シリーズは、全国約 60 大学への導入実績があり、入学から卒業後までの大学業務と情報サービスを効率的にサポートします。また SCSK は、システム開発から、IT インフラ構築、IT マネジメント、BPO、IT ハード・ソフト販売まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスを、フルラインナップでご提供することが可能です。

■グローバル、クラウドの最新ニーズに対応

学事暦：４クオータ制、Unicode、ポータル(学生/教職員)日英二言語に対応し、今後の高等教育機関の国際化をシステム面から支援します。また、プライベートクラウド、パブリッククラウド上でも動作しますので、ユーザー様のニーズに合わせ、ライセンス型、利用型にてご提供します。

■入学から卒業までのトータルソリューション

入学から卒業後までカバーした SCSK のトータルソリューション。大学ごと、独自に実現するエンロールマネージメントを強力にご支援します。また、大学様で蓄積したデータは、統合・分析サービスを活用し、学生情報の集積と可視化が可能です。

■データの一元管理により効率的な事務処理が可能

システム内のデータは一元管理されています。業務処理間で必要データを自動連携しますので、二重入力や手作業での情報連携を行うことなく業務運用が可能です。また、基幹業務システムと情報系サービス（Ex.履修・成績）の間で、リアルタイムで情報連携をおこないますので、繁忙期における日々の状況遷移の把握も可能です。カリキュラムなど定期的に行うメンテナンス作業は、外部取込、前年度複写機能を活用することで作業効率の向上を実現しました。

【製品ラインナップ】

- DreamCampus 入試システム
- DreamCampus 教務システム
- DreamCampus web 履修登録システム
- DreamCampus web 成績登録システム
- DreamCampus 教務ポータル
- DreamCampus シラバスシステム
- DreamCampus アンケートシステム
- DreamCampus 出欠管理システム
- DreamCampus 教室管理システム
- DreamCampus 授業料免除システム
- DreamCampus 授業料債権管理システム
- DreamCampus 健康管理システム
- DreamCampus ポートフォリオシステム
- 統合データベース/分析サービス
- 人事給与・会計システム
- 通信教育学部向けシステム
- 卒業生ポータルシステム　他

DreamCampus

製品・サービス名称	「DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）」

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	大学実績（　６３）校：利用大学名（国立大学、公立大学、私立大学にてご利用頂いております）
費用	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
利用条件	【クラウド利用の場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品利用の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り
支払方法	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
販売代理店	無、有（ご指定企業様経由でも販売いたします。）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書締結）	利用開始までの期間	要相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	実績稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）	データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）
管理ツール	有・無・その他（モデル毎に異なる）	API 公開	有・無・その他（モデル毎に異なる）

■保守・運用

障害対応時間帯	別途ご相談	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	別途ご相談
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	別途ご相談
ログの開示	有・無（保守条件による）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 ソリューション部 担当者・文教サービス課　内藤　一敏	電話番号：03-5166-2810 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：campusinnovations-info@ml.scsk.jp

４．情報インフラ系

製品・サービス名称	**USiZE（ユーサイズ）**
提供企業名	プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル
紹介サイト URL	https://www.scsk.jp/product/

■製品サービスの特長

1. サービスの概要

USiZE は SCSK のクラウド基盤サービスの総称です。

プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル（Amazon Web Services、Microsoft Azure）の各々のモデルもしくはモデルの組み合わせでサービス提供が可能です。

豊富な SI 経験とノウハウをベースに、高信頼なクラウドサービス環境を提供致します。

2. 特徴

(1) インフラ基盤の提供、導入から、監視・運用まで、あらゆる要望に対応する広範囲なサービス提供

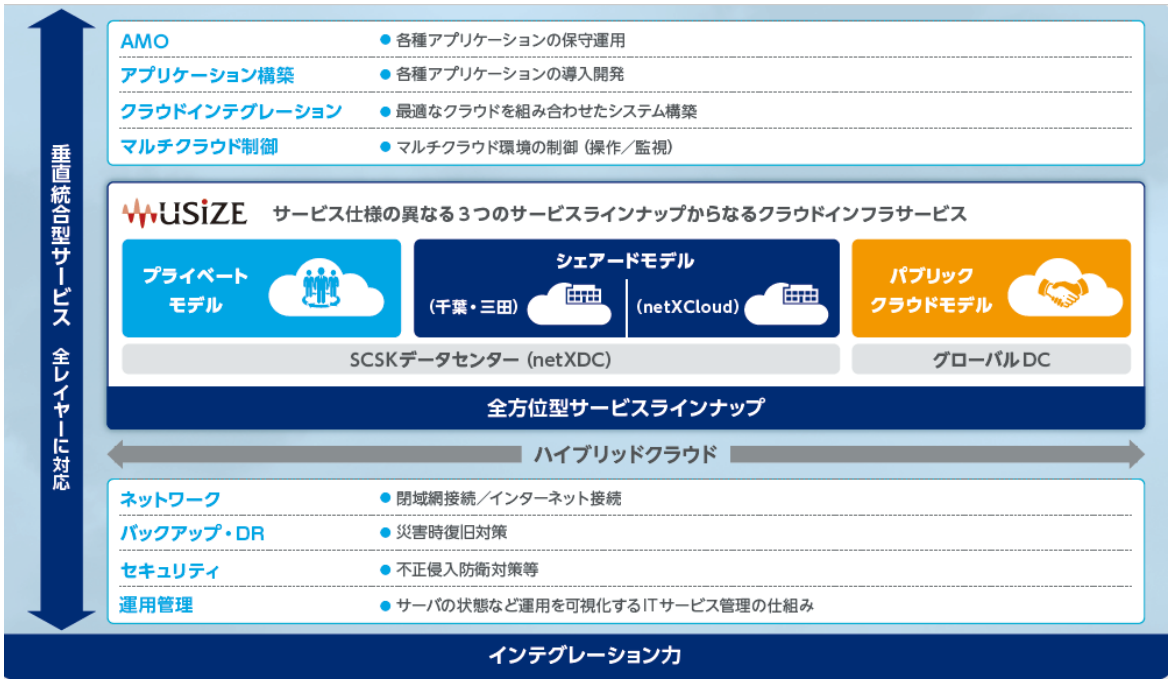
(2) 自社運用から海外の最新クラウドサービスまで、用途に合わせて選べるサービスメニュー

(3) プライベートモデル、シェアードモデル、パブリッククラウドモデルとお客様のニーズに合わせて選択できるラインナップを業務特性に応じて適材適所で配置することで、全体最適化されたインフラ運営を実現します。

3. サービスメニュー

課題やシステム特性に応じて、適切なクラウドを選択いただけます。

また、複数クラウドの相互連携も可能です。



4. 実績

・約 400 社が利用。

・運営基盤である HEARTIL マネジメントセンターが企業情報化協会平成 25 年度(第 31 回) IT 賞受賞

製品・サービス名称	**USiZE（ユーサイズ）プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル**

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	民間実績（約 400）社：利用企業名（大和ハウス工業(株)様、パイオニア㈱様、前田建設工業(株)様、他） 大学実績（ 10 ）校：利用大学名（埼玉大学様、他　　）
費用	・初期費用: ¥0～　　・ランニング費用: ¥6,500.-～（1vCPU/0.5GB メモリ)※モデル毎に異なる ・課金単位: 時間課金、月額課金
利用条件	【クラウドの場合】大学、研究機関全般 ・最低利用期間: 無し(1 ヶ月未満の場合は利用分のみ精算)※モデル毎に異なる
支払方法	ご利用月翌月末現金支払い(支払い通貨:日本円)
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書締結）	利用開始までの期間	契約締結後、即日～10 営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（一部パブリッククラウドモデル）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（一部パブリッククラウドモデル）	管轄裁判所	国内・海外（一部パブリッククラウドモデル）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：稼働率目標値　99.99%：シェアードモデル）		
実績稼働率	有・無・その他（99.993%：シェアードモデル）	実績稼働率	有・無・その他（99.993%：シェアードモデル）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）	データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）
管理ツール	有・無・その他（モデル毎に異なる）	API 公開	有・無・その他（モデル毎に異なる）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日受付(メール)
コンタクト方法	電話・メール：モデル毎に異なる	対応インシデント数	無
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（内容はモデル毎に異なる）	第三者認証取得状況	P マーク、データセンターにて取得：ISMS,BCMS,ITSMS

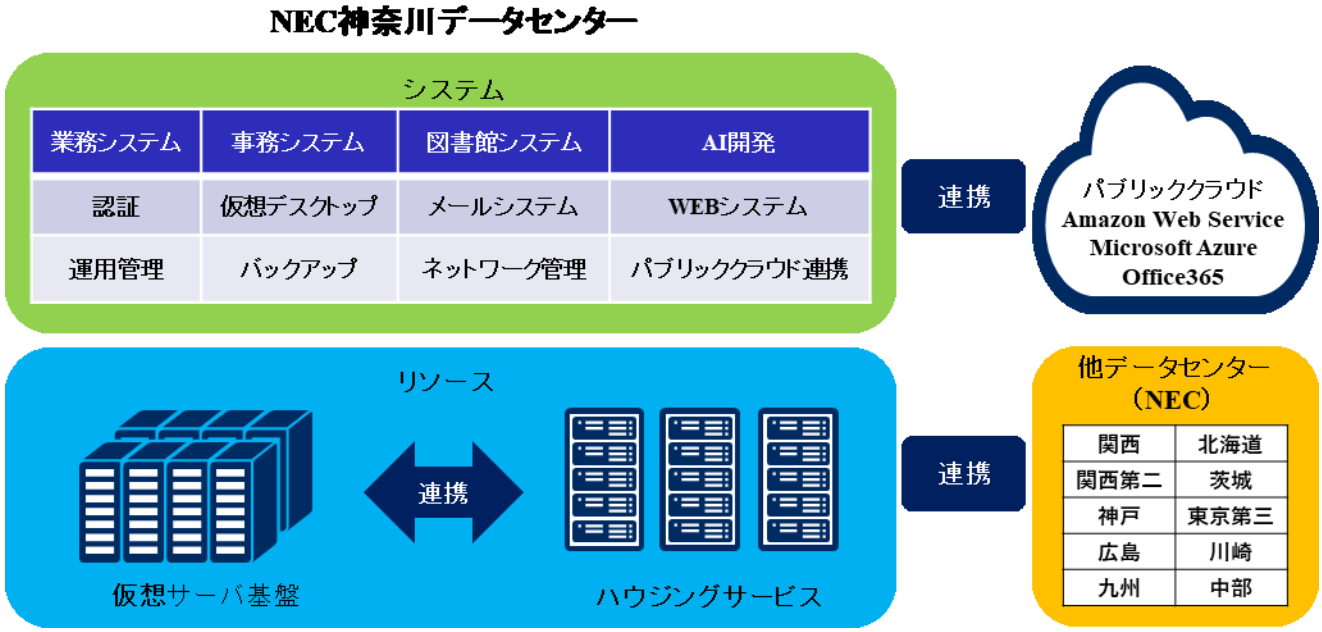
問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：IT マネジメント事業部門 担当者：USiZE 担当宛	電話番号： FAX 番号： Mail：usize-info@ml.scsk.jp

製品・サービス名称	NEC クラウドサービス
提供企業名	日本電気株式会社
紹介サイト URL	https://jpn.nec.com/cloud/

■製品サービスの特長

【概要】

NEC クラウドサービスは、大学キャンパスまたは研究所施設の情報システムを SINET 経由で NEC 神奈川データセンターへ接続します。お客様は、NEC のデータセンターやパブリッククラウドから最適なサービスを組み合わせることで、利用者に使いやすく、便利なシステムを構築できます。



【メリット】

○仮想サーバ基盤とハウジングサービスの連携

NEC 神奈川データセンターは、仮想サーバ基盤に IaaS 等のクラウドサービスがあり、ハウジングサービスでお客様のサーバ等を設置できます。仮想サーバ基盤およびハウジングサービスをネットワークで連携し、最適なシステムの構築を実現します。

例：メールサーバおよび WEB サーバは IaaS を利用、バックアップはハウジングサービスのストレージ装置を利用

○NEC 神奈川データセンターと他データセンター(NEC)の連携

NEC 神奈川および NEC 神戸データセンターは、相互に IaaS の BC/DR（事業継続／災害対策）を実現します。

例：データセンター間の高速バックアップ、データベース同期

NEC 神奈川および他データセンター(神戸以外)は、バックアップサイト、マルチサイト、クラウドサービス連携が可能です。

○NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドの連携

パブリッククラウドは独自の特徴や強みがあり、それらを理解してサービスを選択する必要があります。NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドを連携することで、最適なサービスの選択および利用を実現します。

例：認証は IaaS を利用、メール等は Office365 を利用

・Amazon Web Service は、米国 Amazon.com. Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・Microsoft Azure および Office365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	NEC クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（ハウジング）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項	
契約実績	法人数（非公開） 大学数（ ８ ）校：利用大学名（東海大学様、等）
費用	ランニング費用が発生します。 課金単位は、時間または月です。
利用条件	利用条件は、サービスごとで異なります。 詳細は、ホームページ等でご確認ください。
支払方法	月次請求、後払、支払方法（振込）、支払通貨（円）
販売代理店	無、有（代理店名：NEC 特約店、販売店）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	最短 15 分～(テナント構築後)
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：保証する稼働率未満で月額料金の 10%を減額）		
実績稼働率	有・無・その他（公表不可　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	基本：平日（9：00-17：00） オプション：24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	１ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（条件：FW/LB）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、SOC、SOC2

問合先	企業名：日本電気株式会社 部署名：第一官公ソリューション事業部 担当者：大学・防災・研究ソリューショングループ	電話番号：03-3798-6293 Mail：sinet(at)elsd.jp.nec.com

製品・サービス名称	Microsoft Azure
提供企業名	日本マイクロソフト株式会社
紹介サイト URL	https://azure.microsoft.com/ja-jp/ https://www.microsoft.com/ja-jp/cloud-platform/azure-site-usage

■製品サービスの特長

Microsoft Azure とは

Microsoft Azure は開発者や IT プロフェッショナルがアプリケーションのビルド、デプロイ、管理に使用できる包括的なクラウド サービスのセットであり、Microsoft の世界規模のデータセンター ネットワークを介して利用できます。統合ツール、DevOps、およびマーケットプレースによって、シンプルなモバイル アプリからインターネット規模のソリューションまで、あらゆる機能を効率的に構築できます。

・ハイブリッド クラウド

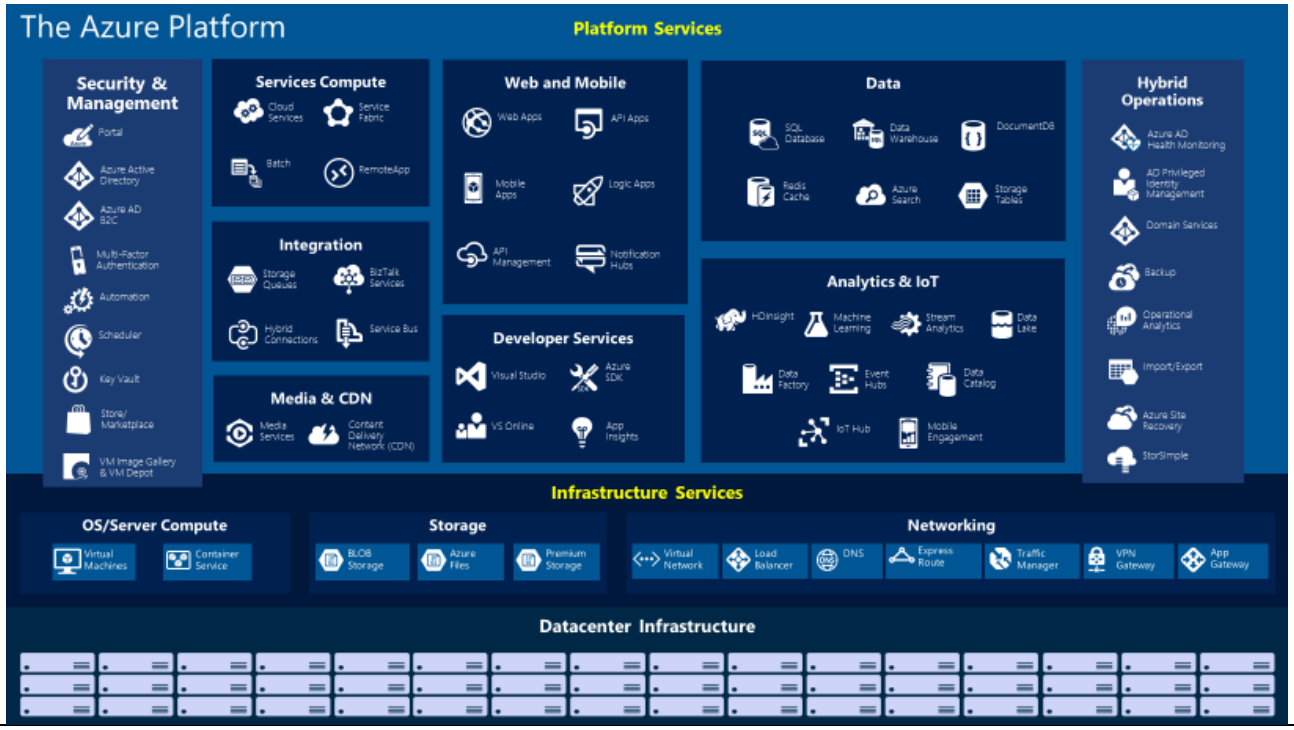
Azure は市場で唯一の一貫性のあるハイブリッド クラウドです。Azure によって、場所を問わず開発とデプロイを行うことができます。クラウドとオンプレミスでデータとアプリを接続することで、既存の投資からの移植性と価値を最大限に高めます。Azure では、アプリケーション開発、管理とセキュリティ、ID 管理、データ プラットフォームなどにおいて、ハイブリッドな一貫性を提供しています。

- Azure Stack を使用して、Azure をオンプレミスに拡張し、革新的なハイブリッド アプリを構築できます。
- オンプレミスのデータとアプリを接続し、複雑性を打破し、既存の資産を最適化します。
- クラウドおよびオンプレミス全体にシームレスにデータを分散し、分析できます。

・人工知能（AI）, 機械学習（ML）

Azure を使用すると、データドリブンでインテリジェントなアプリを作成できます。イメージ認識からボット サービスまでを提供する Azure データ サービスと人工知能を利用すると、新しいエクスペリエンスを生み出し、拡張できます。あらゆる形やサイズのデータに対してディープ ラーニング、HPC シミュレーション、およびリアルタイム分析を行うことができます。

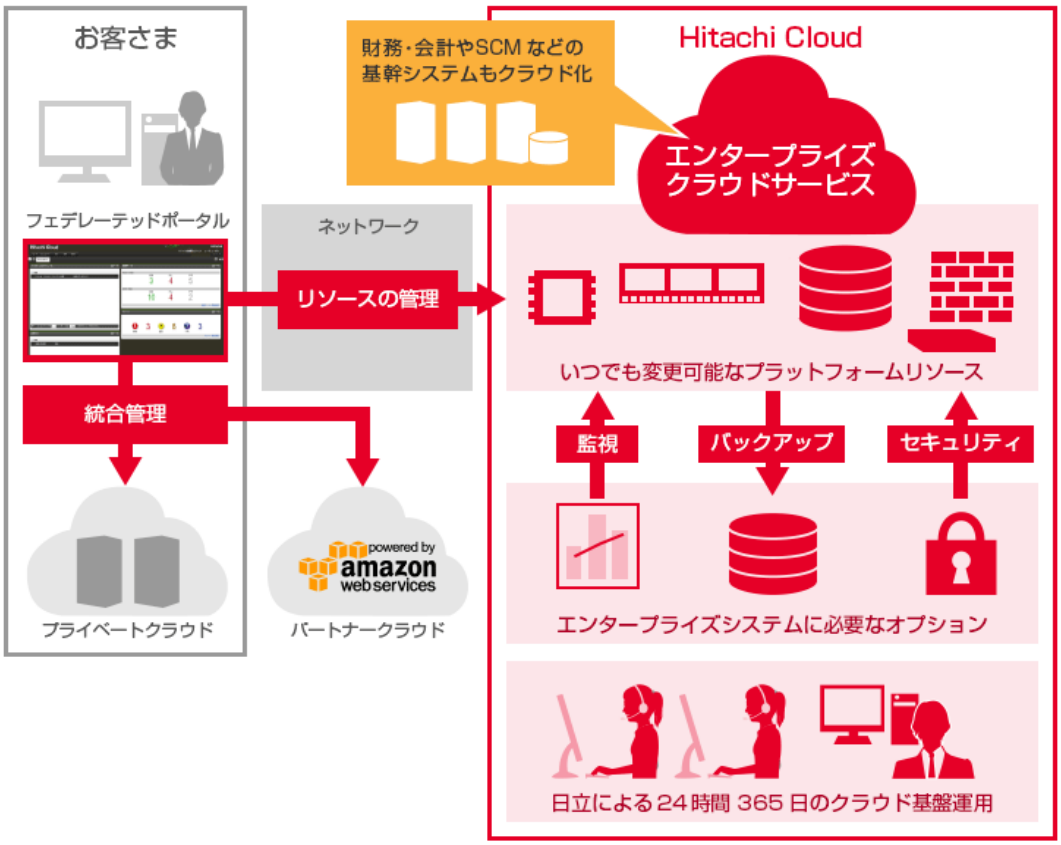
- 組み込みの AI で画期的なアプリを開発できます。
- どのようなデータにもカスタム AI モデルを大規模に構築およびデプロイできます。
- Microsoft およびオープン ソースのデータの優れた部分と AI イノベーションとを組み合わせることができます。



製品・サービス名称	Microsoft Azure		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ
■一般事項			
契約実績	法人数（契約数非公開）：利用企業名（トヨタ自動車、セブン&アイ、フジテレビ、第一生命、コマツなど多数） 大学数（契約数非公開）：利用大学名（東京大学、東京工業大学、岐阜大学、広島大学、岩手県立大学など多数） 公開事例：http://azure.microsoft.com/ja-jp/case-studies/		
費用	1 か月間の無料試用版：¥20,500 円相当の使用権をプレゼント http://aka.ms/startazure Azure for Students https://azure.microsoft.com/ja-jp/free/students/ Azure for Students starter https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/member-offers/student-starter/ 料金計算ツール：https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/calculator/ AXIES 会員向け割引プランをご提供（詳細は担当営業まで）		
利用条件	最低ユーザー数、最低利用期間、利用対象の制限などに条件はありません		
支払方法	請求サイクル（月次・年次とも可），支払方法（前払・後払、振込・クレジット、何れも可），支払通貨は日本円		
販売代理店	無、有（マイクロソフト認定教育リセラー　国内約 2000 社）		
■契約			
申込み方法	代理店経由・オンラインでのお申込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	無有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（東・西日本）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（東京地方裁判所）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：稼働率 99.95%または 99.9%保証、有料プランについては返金保証制度あり）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼動率	有・無・その他（99.95% または 99.9%）
ストレージ	多重化有（同一 DC 内三重化、地理冗長）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	通信暗号化	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	N/A	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	有・無・その他（Web 管理ツール）	API 公開	有・無・その他（一部公開）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 x 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 x 365 日
コンタクト方法	電話・その他（Web 経由）	対応インシデント数	無制限（Web 経由の場合）
計画停止の頻度	有（頻度：不定期、時間帯：夜間）	サービス停止の通知	実施の約 1 週間前
ログの開示	有・無（インスタンスに対してログ取得可能）	第三者認証取得	CS ゴールド マーク、 ISO 27001, 27018 など多数
問合先	企業名：日本マイクロソフト株式会社 部署名：パブリックセクター事業本部 担当者：文教ソリューションチーム		Mail： msedusolution@microsoft.com

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-enterprise/

■製品サービスの特長



安定稼働を支える高信頼クラウド基盤を提供

サーバ・ストレージ・ネットワーク・OS・ミドルウェアなどの IT リソースをインターネットや VPN を通じて月額サービスで提供します。

高可用性クラウドで高信頼なシステムを提供し、基幹システムのパブリッククラウド化を実現します。

安全・安心を強化する充実のオプション

業務を止めないバックアップ、異常にいち早く気づける監視、性能指定型のディスク提供など、エンタープライズシステムに必要なオプションを取り揃えております。

ポータル環境で柔軟な運用を実現

フェデレーテッドポータルからいつでもリソース追加・削除が可能です。また、仮想サーバ初期構築時に、ネットワーク構成を標準のパターンから選択することで、簡単に仮想サーバを生成することが出来ます。

・Amazon Web Services は，米国その他の諸国における，Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。 サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	5営業日～※HW増設､NW式説が必要な場合は別途調整
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。		
実績稼働率	有・無・その他（99.999%）	目標稼働率	有・無・その他（99.99%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日8：00～19：00	QA対応時間帯	平日9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	最大1回／月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無（　　）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS

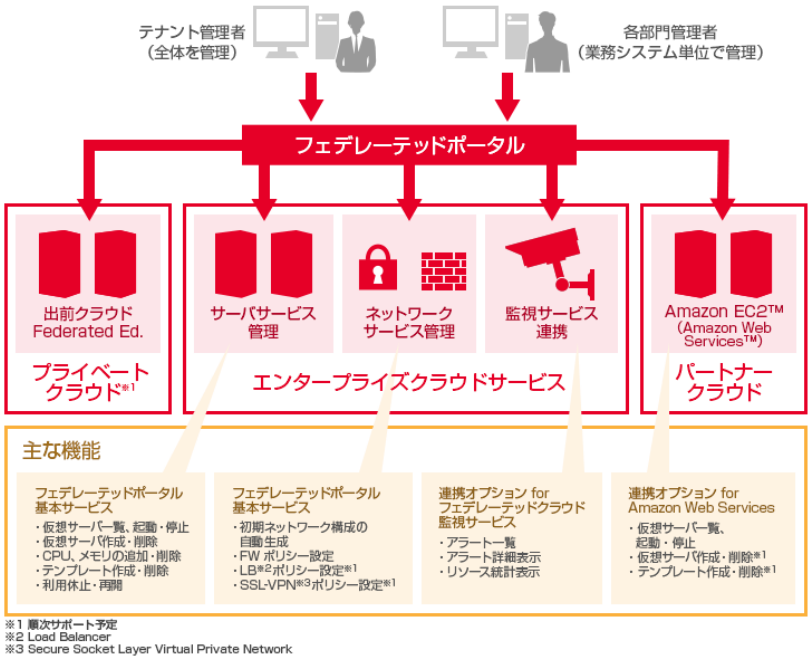
問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/federated/

■製品サービスの特長

フェデレーテッドポータルサービス

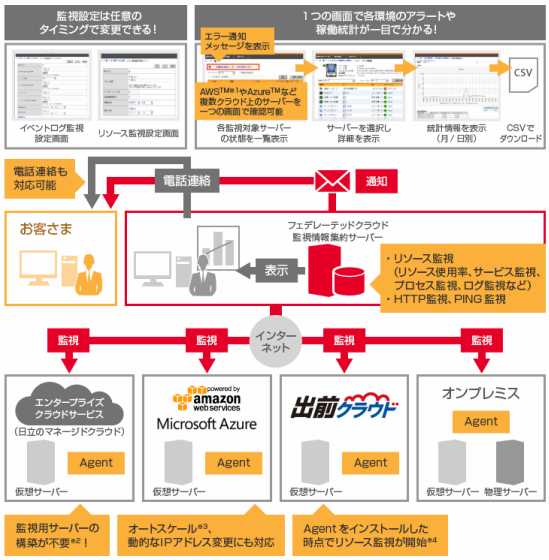
日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）とパートナークラウドのリソースに対する操作・管理を一元的に行える Web ポータルを提供します。



※1 順次サポート予定
※2 Load Balancer
※3 Secure Socket Layer Virtual Private Network

フェデレーテッドクラウド監視サービス

プライベートクラウド、日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）、パートナークラウド、オンプレミス環境を一元管理できるサービスを提供します。



※1 Amazon Web Services
※2 専用線や VPN（Virtual Private Network）経由での接続をご希望される場合は、Agent をインストールした Windows サーバを準備、設定いただく必要があります
※3 オートスケールは Azure™、AWS™のみ対応しています
※4 一部の監視はインストール後の設定が必要です

・Amazon Web Services は，米国その他の諸国における，Amazon.com，Inc.またはその関連会社の商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（パブリックとプライベートを管理）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）、大学数（非公開）：利用大学名（広島大学様）
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。 サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	フェデレーテッドポータル：最短5営業日 フェデレーテッドクラウド監視サービス：最短3営業日
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。	目標稼働率	有・無・その他（99.9%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

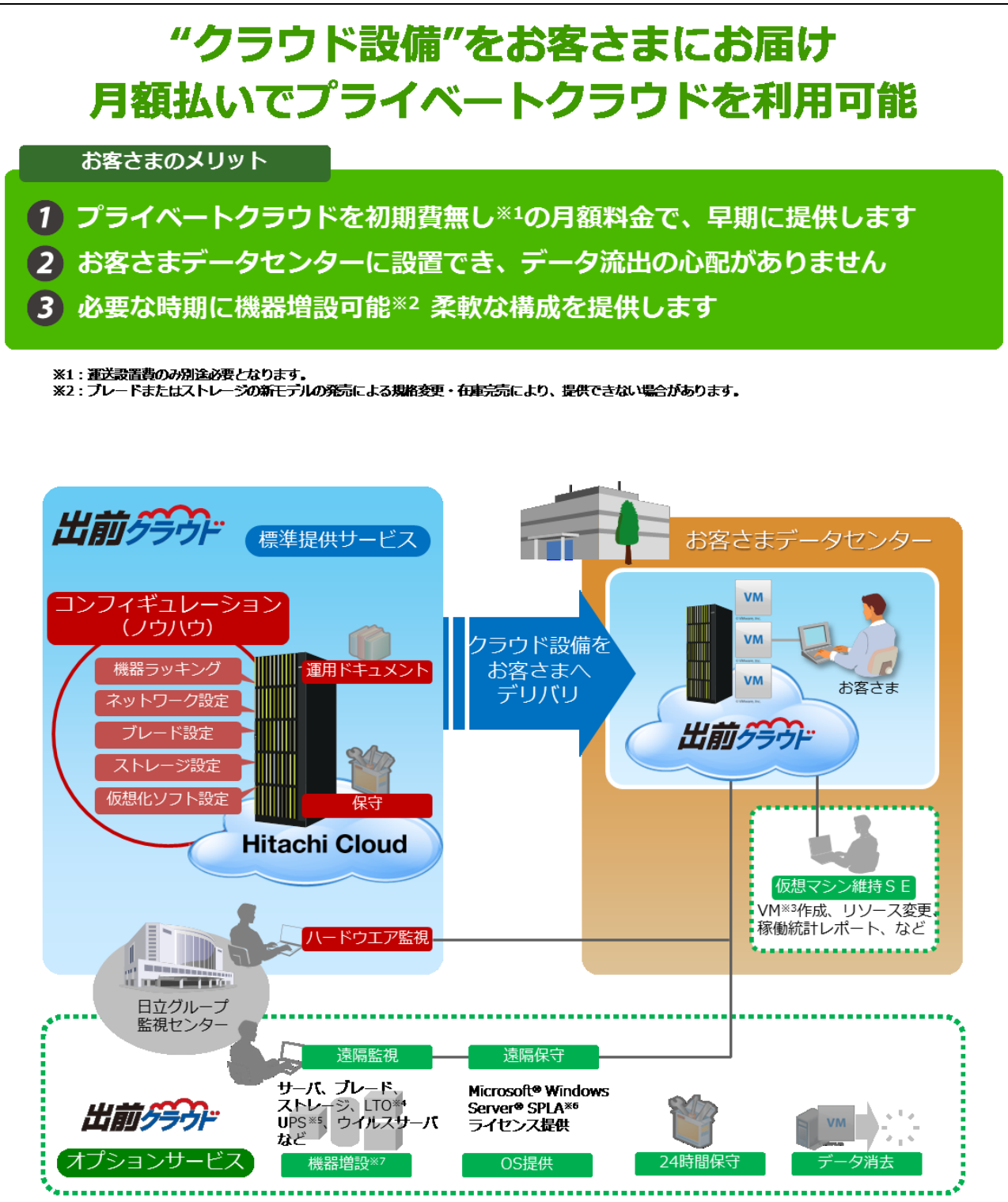
■保守・運用

障害対応時間帯	平日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回／月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

■製品サービスの特長



・Microsoft および Windows Server は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	出前クラウドサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）：利用企業名（金融業などを中心に数十社の実績あり） 大学数（非公開）
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：半年（解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。）
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3ヶ月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	年間 5 件まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS

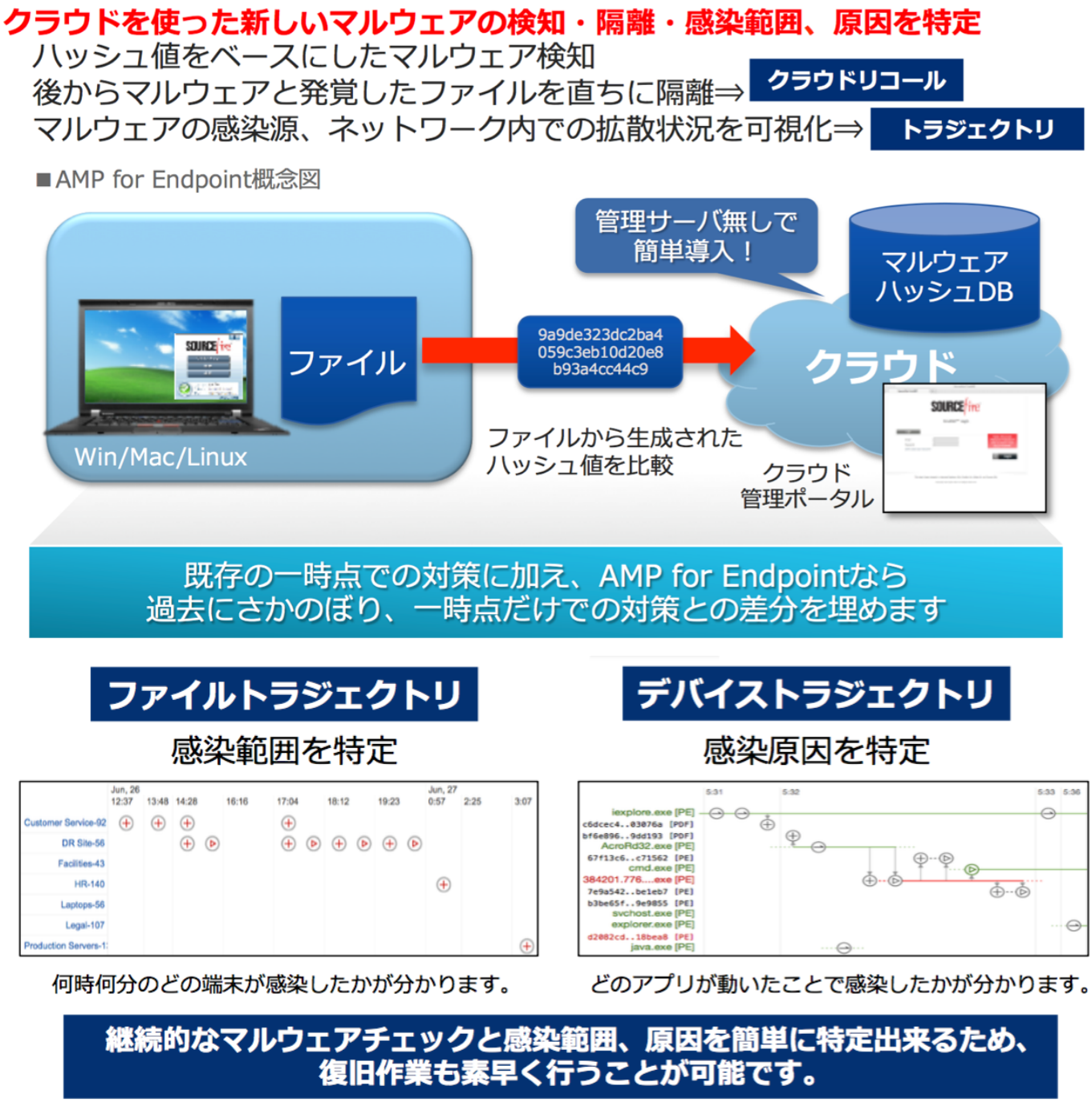
問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品･サービス名称	Cisco AMP for Endpoints
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/security/fireamp-endpoints/index.html

■製品サービスの特長

CiscoAMP for Endpoints は、PC (Win / Mac)・モバイル端末（Android）・サーバ(Win / Linux)向けのエンドポイントセキュリティです。シスコのクラウド上のマルウェア DB とお客さまの端末間をリアルタイムで通信し、脅威を防御します。また、検知時点でマルウェア判定に至らなかったファイルが後でマルウェアと判明された場合、自動的にファイルを隔離、同時に**感染経路及び感染範囲の証跡**を提供します。

更に最近流行のファイルレス攻撃や、ランサムウェア攻撃対応エンジンも装備しています。



製品・サービス名称	Cisco AMP for Endpoints

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（官庁、商社、製造業、運送業等　）
	大学数（未公開）校：利用大学名（　未公開　）
費用	トライアル可、ユーザ数に応じた価格設定　年数（1 年、3 年、5 年）
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、25 ユーザー　最低利用期間、1 年 。対象 PC・サーバにエージェントをインストールする必要があります。
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do）

■契約

申込み方法	注文書・その他（パートナーへの発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　）
データ保存場所	国内・海外（　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　）
準拠法	日本国法・海外法規（　）	管轄裁判所	国内・海外（　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　）		
実績稼働率	有・無・その他（　）	目標稼働率	有・無・その他（　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　）	バックアップ	有・無・その他（　）
データ暗号化	有・無・その他（　）	暗号化通信	有・無・その他（　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（AMP Console）	API 公開	有（　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業時間	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急時は数日前
ログの開示	有・無（※条件　）	第三者認証取得状況	SOC3, ISO27001

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当 担当者・見松　利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	**Cisco CloudCenter**
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/cloud-systems-management/cloudcenter/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco CloudCenter とは

データセンタ、ハイブリッドおよびマルチクラウド向けの ITaaS ソリューションです。Cisco CloudCenter により、マルチテナントで、データセンターとプライベート・パブリッククラウド環境間に仮想マシンを含めたアプリケーションサービスの構築・移行・管理が可能です。利用者はどのような環境にも、迅速かつ簡単にアプリケーションの構築、導入、移行・管理できます。導入作業が単純でも複雑でも、また導入する環境が 1 つでも多数でも、Cisco CloudCenter なら、ユーザは基盤となるメカニズムやクラウド環境の個々の違いを理解せずに利用できます。Cisco CloudCenter には 3 つのキーとなる機能が含まれます。

・オンデマンド インフラストラクチャ：データセンタ・クラウド環境への迅速な仮想マシン(OS を含む)環境の構築・管理

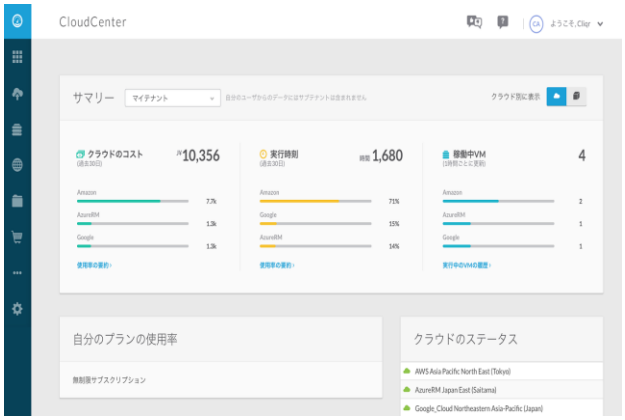
・オンデマンド アプリケーション：データセンタ・クラウド環境へのアプリケーションサービスの構築・移動・管理

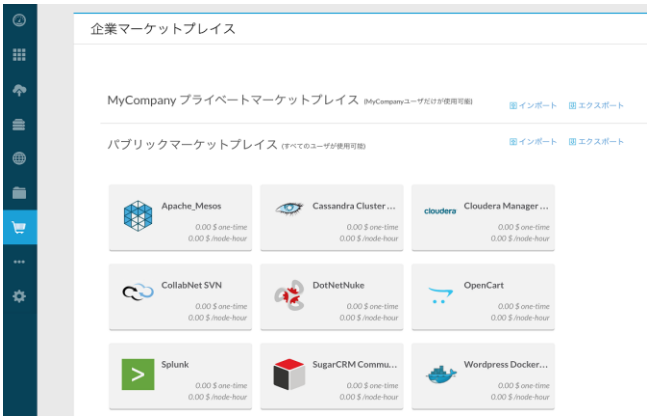
・サービス ブローカー：利用者に対してサービスメニューを提示することでインフラストラクチャやアプリケーションサービスをンデマンドで導入、管理

Cisco CloudCenter のガバナンスとセキュリティは、アプリケーション、データセンタ、クラウドだけでなく、マルチテナントのグループやユーザにも対応します。管理者はクラウドのアカウントを一元管理し、使用を管理および制限し、コストのレポートを作成できます。ガバナンスコントロールとロールベース アクセス コントロールで、高機動なハイブリッドクラウド運用・管理を実現します。運用はよりシンプルに、柔軟に、拡張性はより高く、クラウド時代に適合した新たな環境を実現します。

Cisco CloudCenter の特長

- 単一のプラットフォーム：データセンター、プライベート クラウド、パブリック クラウドのすべての環境を一元管理
- ガバナンス：管理とガバナンスが統合された、セキュアで拡張性の高いマルチテナント ソリューション
- 優れたセキュリティ：正確なアクセス制御、ネットワーク分離、AES-256 暗号化、FIPS 準拠の暗号方式を採用
- アプリケーションサービス：アプリケーションを 1 つのブループリントとし、指定されたクラウドに配置・再配置
- 13 を超えるデータセンタ、プライベート・パブリッククラウド、Kubernetes によるコンテナ環境(YAML ファイルの自動的な生成)をサポート





Cisco CloudCenter によるマルチクラウド管理のメリット

- クラウドに対する利用者・テナントに対するアクセス権の一元管理と制御および課金情報の収集
- アプリケーションの共有とマルチクラウドへの導入とクラウド間でのアプリケーションをオンデマンドで移動
- データセンタ、プライベート・パブリッククラウドを単一のリソースプールとして利用可能

Cisco CloudCenter は、オンプレミス パッケージ アプリケーションとして導入・利用ができます。

製品・サービス名称	Cisco CloudCenter

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（150）社：利用企業名（ネットアップ株式会社、他） 大学数（12）校：利用大学名（デューク大学、ベイラー医科大学、他）
費用	トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。
利用条件	弊社までお問い合わせください。
支払方法	弊社までお問い合わせください。
販売代理店	無、有（代理店名：シスコパートナー）

■契約

申込み方法	注文書・その他（パートナーへの発注）	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無（パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/5D
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	※（例：１ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：ハイブリッドクラウド&データセンタソフトウェア 担当者・小桧山淳一(コビヤマジュンイチ)	電話番号：090-4927-4298 FAX 番号：03-6434-6262 Mail：jkobiyam@cisco.com

製品・サービス名称	Cisco Cloudlock
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/cloudlock/index.html#~stickynav=1

■製品サービスの特長

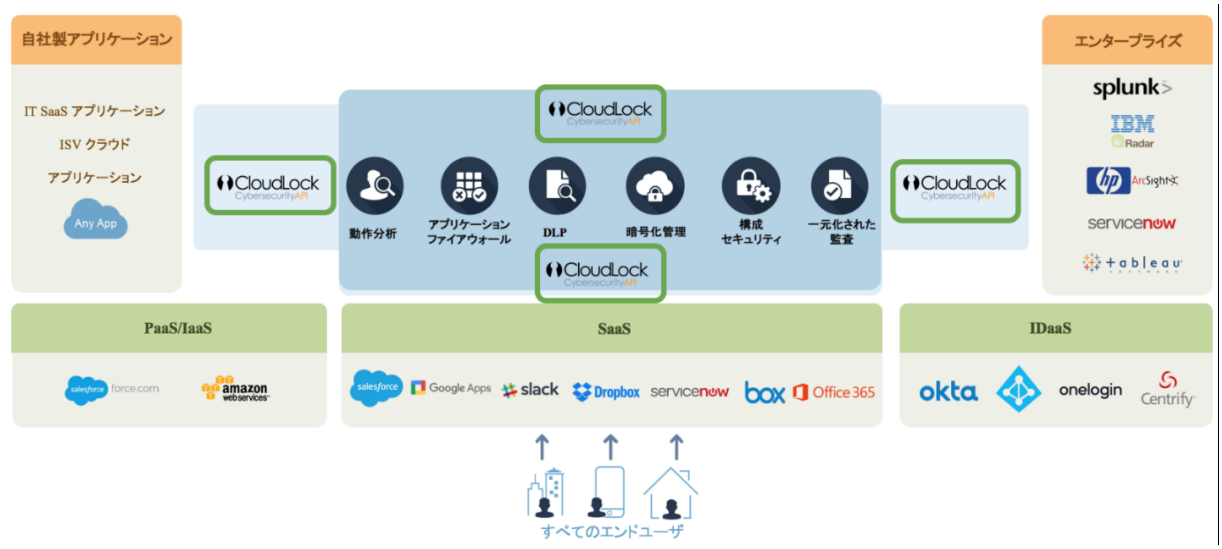
■Cisco Cloudlock とは

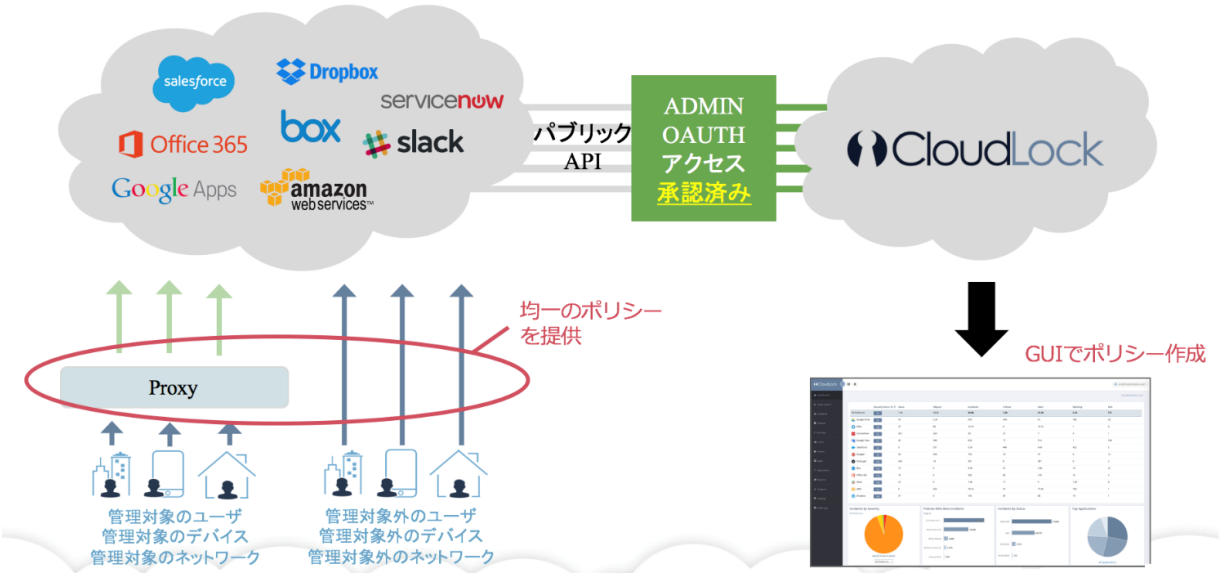
Cisco Cloudlock は、SaaS, PaaS, IaaS 等クラウドサービスをご利用しているお客様向けサービス（CASB）です。利用者（教職員・学生）のクラウド上のコンテンツを可視化。「学外秘」等のキーワードから、外部に共有してはいけないポリシー違反があれば自動的に警告を発し、同時に重要項目のマスキング、またはファイルの隔離等を行うことができます。更に利用者の行動分析機能も搭載。同一アカウントにおける不自然なアクセスを摘発します。シャドーIT を含めた SaaS 利用状況を可視化し、接続先の SaaS そのものを数値で評価。危険な SaaS との接続を無効化することも可能です。

[仕様]

・各クラウドサービスとは Proxy 経由でなく API 接続なので、ユーザは大学関係者・非関係者を問わず均一のポリシーを提供することができます。

・エージェントレスでの提供とな





製品・サービス名称	Cisco CloudLock

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（ 優良企業多数 ）社：利用企業名（https://www.cloudlock.com/customers/） 大学数（未公表）校：利用大学名（未公表）
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザー数及びクラウドサービス数に応じた価格設定（1 年、3 年、5 年契約）
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：100 ユーザー　最低クラウドサービス数：1 最低利用期間、1 年
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do）

■契約

申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（100%）	目標稼働率	有・無・その他（99.999%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	SOC3

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当 担当者・見松　利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	**Cisco Container Platform**
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/cloud-systems-management/container-platform/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco Container Platform とは

Cisco Container Platform は、コンテナ関連のオープンなソフトウェアすべてを、エンタープライズインフラでの利用に向けて、パッケージとして提供します。製品は Kubernetes をベースとしており、コンテナ クラスタをセルフサービスで導入・管理できる UI を備えています。これらのクラスタは、既存の RBAC モデルに基づいてプライベード クラウドのリソースを活用できます。Cisco Container Platform では、オープンソースコンポーネントからなる、オープンなアーキテクチャが採用されています。

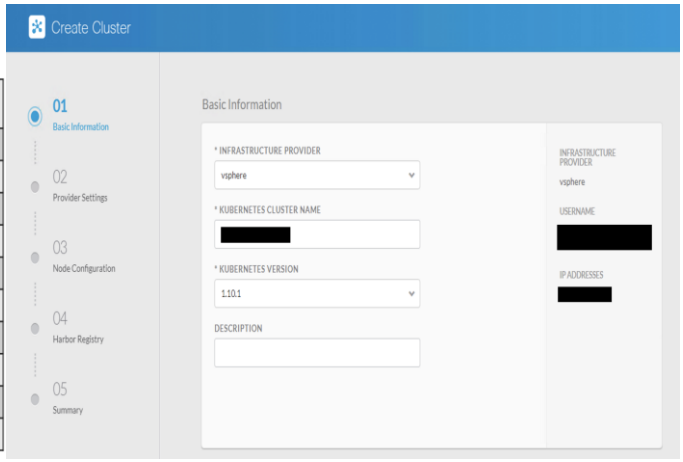
Cisco Container Platform は、容易に導入でき、迅速に運用を開始できるコンテナ管理プラットフォームです。ポリシーベースのセキュリティを備えており、ロード バランシングやロギングなどの重要なサービス一括して提供します。Cisco Container Platform により、ネットワーク管理、アプリケーション パフォーマンス モニタリング、分析、ロギングなどの拡張機能をアプリケーションに提供できます。(Istio/Habor は、テクノロジプレビューとして提供。)

Cisco Container Platform が提供する API には、Google Cloud Platform や Google Kubernetes Engine との互換性があり、今後アプリケーションをプライベード クラウドからパブリック クラウドに移行させる必要が生じた際にも、Cisco CloudCenter スキームとの連携により様々なパブリッククラウドで提供されているコンテナサービスと連携することが可能です。

また、Cisco Container Platform ではコンテナ向けにネットワーク関連の充実を図っており、Cisco Application Centric Infrastructure（ACI）との連携がはかれる「ACI CNI」とパフォーマンスと拡張性のために最適化された User-Space スイッチ「Contiv VPP」がネットワークプラグインとしてふくまれており、論理ポリシーベースのコンテキストでコンテナの安全を確保します。

Cisco Container Platformに含まれるコンポーネント

機能	コンポーネント	パッケージに含む
Container Runtime	Docker CE(Community Edition) v.17.03	O
Operating System	Ubuntu v.16.04	O
Orchestration	Kubernetes v.1.10	O
Container Network Interface (CNI)	Contiv VPP, Calico, ACI-CNI	O
Container Storage	HyperFlex Flex Driver v.1.0	O
Load Balancing	NGINX (Community) Ingress v.1.13, Envoy v.1.8	O
Service Mesh (Tech Preview)	Istio v.1.0, Envoy v.1.8	O
Repository (Tech Preview)	Harbor v.1.6	O
Monitoring	Prometheus, Grafana v.2.0	O
Logging	Elasticsearch, Fluentd, and Kibana	O



Cisco Container Platform のメリット

- Cisco Container Platform には、10 種類のオープンな製品が組み込み済
- 管理者・利用者用のオペレーションタスクに合わせたワークフローの事前に実装済
  - ・管理者：専用インターフェース、インフラ管理、ライセンス管理、利用者管理、Kubernetes の管理、監視
  - ・利用者：アプリケーション構築、自身のコンテナの監視アプリケーションの共有とマルチクラウドへの導入
- Cisco Container Platform および Cisco CloudCenter との連携によるマルチクラウドへのコンテナの展開が実現
- Cisco Container Platform で提供されるすべてのオープンな製品はシスコが一元的にサポート

製品・サービス名称	Cisco Container Platform

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	
費用	トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。
利用条件	弊社までお問い合わせください。
支払方法	弊社までお問い合わせください。
販売代理店	無、有（代理店名：シスコパートナー）

■契約

申込み方法	注文書・その他（パートナーへの発注）	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無（パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

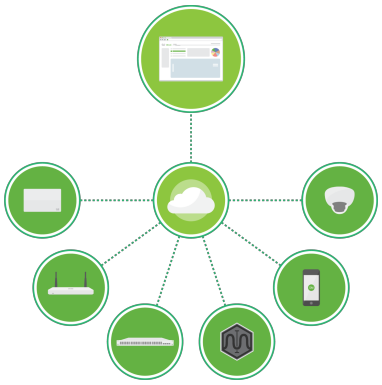
障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/5D
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	※（例：１ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：ハイブリッドクラウド&データセンタソフトウェア 担当者・小桧山淳一(コビヤマジュンイチ)	電話番号：090-4927-4298 FAX 番号：03-6434-6262 Mail：jkobiyam@cisco.com

製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://meraki.cisco.com/ja/content

■製品サービスの特長

クラウド型管理で IT をシンプルに



クラウド 管理型ネットワーキング ソリューション

アクセスポイント、スイッチ、セキュリティ、SD-WAN、ネットワークインサイト、端末管理のEMM、セキュリティカメラ

クラウド管理型ネットワーキングのリーダー

シスコで最も急成長を遂げているポートフォリオの 1 つ

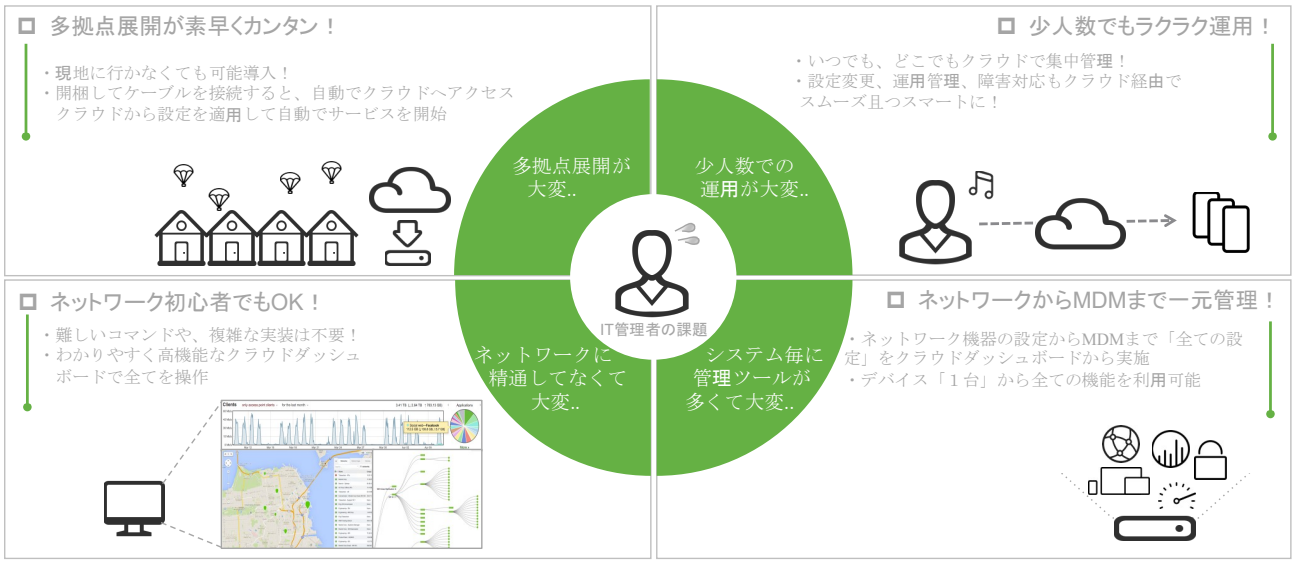
25万社超 ユニークカスタマー

350万台超 Meraki デバイス 導入実績

550万人超 のアクティブな Meraki Dashboardユーザ

cisco Meraki

Cisco Meraki の特徴



cisco Meraki

製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	マサチューセッツ工科大学、スタンフォード大学など多数。海洋大学さま、静岡理工科大学さま、新静岡学園さまなど日本でもご導入実績がございます。クラウド Wi-Fi マーケットではグローバルで約 75%のシェアをいただいております（Barron's News, 2016 年 8 月 2 日)。詳しくは弊社までお問い合わせください。
費用	Cisco Meraki のウェビナーにご出席のエンドユーザさまには無償アクセスポイントを配布しております。 また、無償でのトライアルプログラムも提供しております。基本的には、ハードウェア(スイッチ、アクセスポイントなど)と利用ライセンス(1,3,5,7,10 年)をご購入いただく必要がございます。詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。
利用条件	弊社のクラウドサーバとの接続によりファイアウォールの設定を変更いただく必要がある場合がございます。
支払方法	弊社までお問い合わせください。
販売代理店	有

■契約

申込み方法	弊社までお問い合わせ下さい。	利用開始までの期間	弊社までお問い合わせ下さい。
約款の有無	弊社までお問い合わせ下さい。	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせ下さい。
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有
準拠法	日本国法	管轄裁判所	

■信頼性

SLA	有　（SLA 内容：稼働時間 99.99%を保証）		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	99.99%
ストレージ	多重化有	バックアップ	有
データ暗号化	有	暗号化通信	有

■機能

SINET 接続	弊社までお問い合わせください。	VPN 接続	対応
学認対応	弊社までお問い合わせください。	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	有

■保守・運用

障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・管理ツール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	なし	サービス停止の通知	停止予定なし
ログの開示	弊社までお問い合わせ下さい	第三者認証取得状況	SAS70 type II / SSAE16

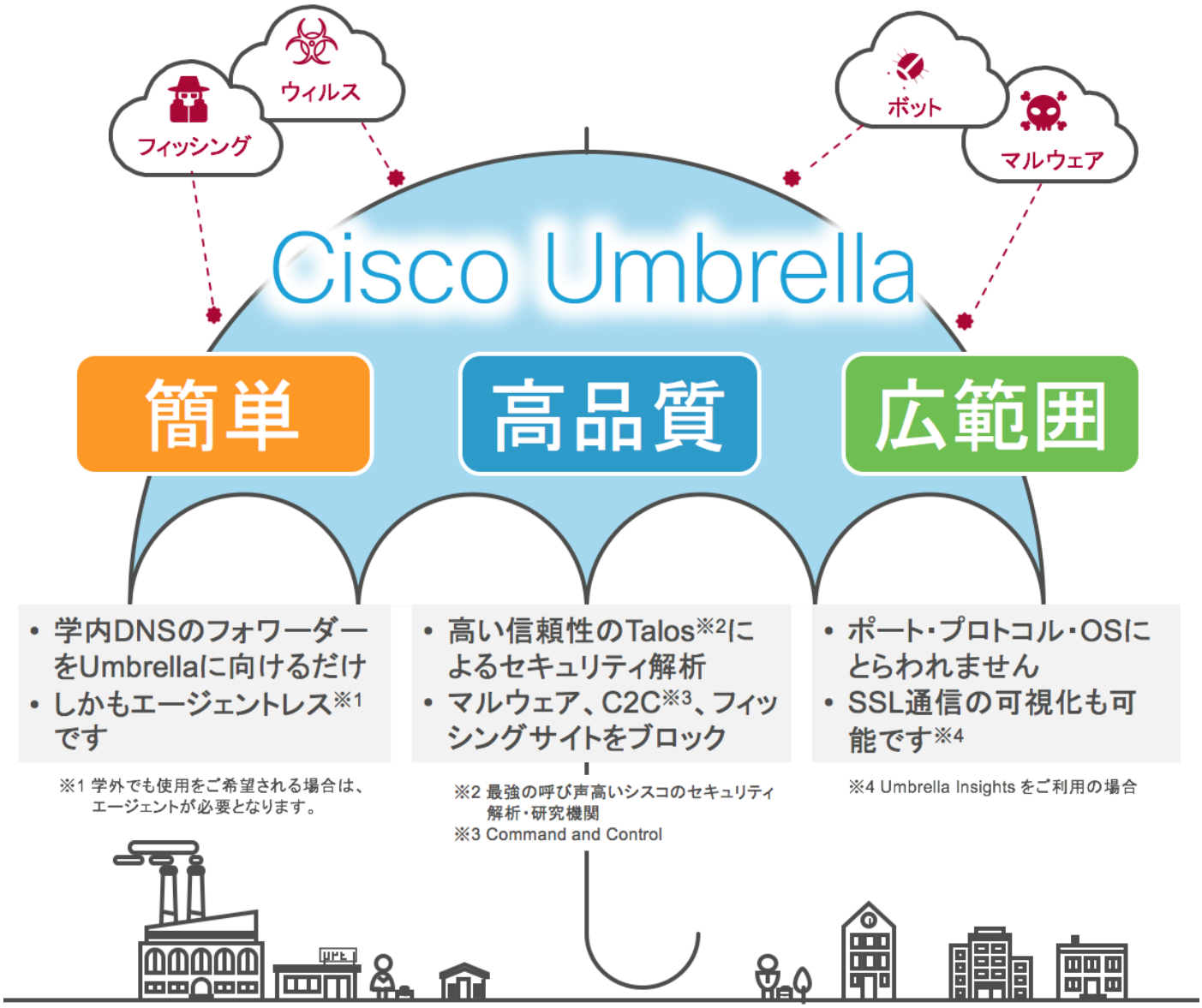
問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当　見松　利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	Cisco Umbrella
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/umbrella/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco Umbrella とは

Cisco Umbrella は、DNS レベルで攻撃を防御する新ソリューションです。ユーザは基本的に学内の DNS サーバのフォワーダーに Cisco Umbrella を
設定するだけでサービスを享受することができます。マルウェアの防御はもとより、フィッシングやボットネット通信、DNS トンネリングのブロックにも威力をエージェントレスにて発揮します。また、グレーな SSL 通信の可視化も可能です（サービスレベル Insights, Platform ご利用の場合）。シャドーIT を含めた SaaS 利用状況の可視化と制御も可能になります。



製品・サービス名称	Cisco Umbrella

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（ 優良企業多数 ）社：利用企業名（https://www.opendns.com/enterprise-security/customers/） 大学数（ 未公表 ）校:利用大学名（ 未公表 ）
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザー数に応じた価格設定（1 年、3 年、5 年契約）
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、10 ユーザー　最低利用期間、1 年
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do）

■契約

申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（100%）	目標稼働率	有・無・その他（99.999%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

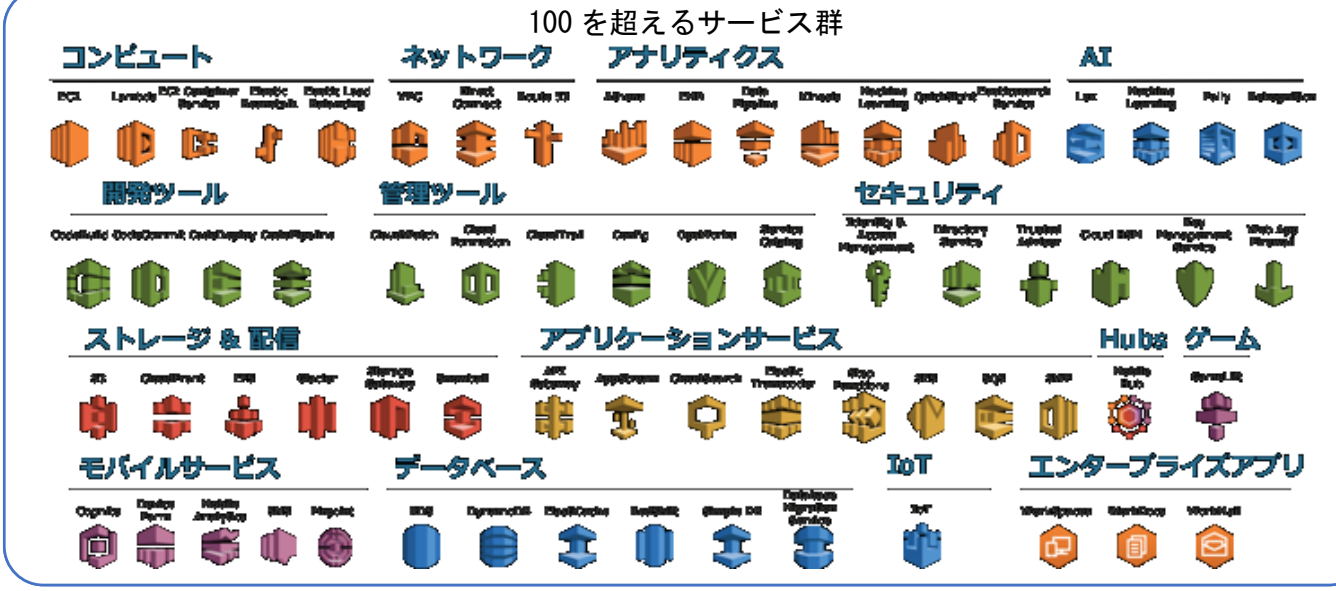
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	SOC1

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当　見松　利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	アマゾン ウェブ サービス（AWS）
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/

■製品サービスの特長

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は、2006 年に拡張性、堅牢性を容易に実現できるストレージサービス「Amazon Simple Storage Service (S3)」および仮想環境でスケーラブルに拡張が可能なコンピューティングサービス「Amazon Elastic Computing Cloud (EC2)」のリリースを機に商用クラウドサービスの提供を開始しました。以後、AWS はグローバルにサービスを展開し、お客様の声をもとに常に新たな機能の追加を行っています。初期費用や最低利用期間といった縛りを気にすることなく、ご利用に応じて必要な分だけにお使いいただけるクラウド環境をご提供しています。現在サービス数は 100 を越え、全世界で数百万のお客様にご利用いただくサービスに成長を続けています。日本国内にある東京リージョンは複数のアベイラビリティゾーン(AZ) で構成され、アベイラビリティゾーンは地理的・電源的・ネットワーク的に分離された 1 つ以上の物理的なデータセンターによって構成され、高い耐障害性があります。
アカデミック向けには、AWS Educate、AWS Cloud Credit for Research、Global Data Egress Waiver 等の各プログラムが提供されています。また、SINET5 と AWS 間は専用線にて接続をしており、2014 年に SINET4 と接続してから、既に 60 を超える機関/プロジェクトで利用されています。大学や研究機関内のネットワークと AWS 内の VPC(Virtual Private Cloud)等を閉じた環境で接続することが可能であり、基幹系システム、セキュアにデータを取扱う必要のある解析実行環境や研究者間の共同利用で活用されています。物理回線は既に接続済みのため、申請いただいてから利用開始までの時間を短くすることが可能です。



製品・サービス名称	アマゾン ウェブ サービス（AWS）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります(最大 75%)。 新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/ec2/

■製品サービスの特長

Amazon EC2 - 仮想サーバーホスティング

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)とは、クラウド内でサイズ変更が可能なコンピューティング処理能力を提供するウェブサービスです。ウェブスケールのクラウドコンピューティングを開発者が簡単に利用できるよう設計されています。Amazon EC2 のシンプルなウェブサービスインターフェイスによって、手間をかけず、必要な機能を取得および設定できます。お客様のコンピュートリソースに対して、高機能なコントロールが提供され、Amazon の実績あるインフラストラクチャ上で実行できます。Amazon EC2 では、わずか数分間で新規サーバーインスタンスを取得して起動できるようになります。これにより、コンピューティング要件の変化に合わせて、すばやく容量をスケールアップおよびスケールダウンできます。実際に使用した分だけ料金を払えばよいので、Amazon EC2 は、コンピューティングの経済性も変革します。Amazon EC2 は、開発者にツールを提供して、障害に耐性のあるアプリケーションの構築と、一般的な障害シナリオからの脱却を可能にします。

弾力性のあるウェブスケールコンピューティング

Amazon EC2 を使用すれば、数分以内にキャパシティーの増減を行うことができます。一から数百、または数千のサーバーインスタンスさえ、同時に作動させることができます。もちろん、これはすべてウェブサービス API でコントロールされるため、お客様のアプリケーションはそのニーズに応じて、自動的に規模の拡大や縮小を行うことができます。

完全な制御が可能

インスタンスのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへの管理者アクセス権限を持ち、他のマシンと同じようにインスタンスを操作することが可能です。インスタンスを停止したり、同一のインスタンスを再起動したりすることができます。インスタンスのコンソール出力にアクセスすることもできます。

柔軟なクラウドホスティングサービス

インスタンスタイプ、オペレーティングシステム、ソフトウェアパッケージの種類を選ぶことができます。Amazon EC2 では、お客様が選択したオペレーティングシステムやアプリケーションに合わせて最適なメモリ、CPU、インスタンスストレージ、ブートパーティションの構成を選ぶこともできます。オペレーティングシステムの選択肢には、数多くの Linux ディストリビューション、および Microsoft Windows Server が含まれています。新しい研究や分析を容易に実施できるよう NVIDIA Tesla V100 GPU を搭載した P3 インスタンス、NVIDIA K80 GPU を搭載した P2 インスタンスを利用することが可能です。また F1 インスタンスではフィールドプログラマブルゲートアレイ（FPGA）によるカスタマイズ可能なハードウェアアクセラレーションが提供されます。

信頼性

Amazon EC2 は、インスタンスの置き換えを速やかに、あらかじめ指定した条件で実行できる、信頼性の高い環境を提供します。このサービスは Amazon の実績あるネットワークインフラストラクチャとデータセンターの中で稼動しています。Amazon EC2 のサービスレベルアグリーメントは、各 Amazon EC2 リージョンにおいて、99.99%の可用性を約束します。

安全性

Amazon EC2 は Amazon VPC と連携して動作し、お客様のコンピュートリソースに対して安全性と堅牢なネットワーキング機能を提供します。コンピュートリソースはお客様が指定した IP アドレス範囲で Virtual Private Cloud (VPC)内に配置されます。インターネットに公開されるインスタンスと、プライベートな状態のままにするインスタンスを決定します。セキュリティグループとネットワーク ACL により、インスタンスを出入りするインバウンドとアウトバウンドのネットワークアクセスを制御できます。業界標準の暗号化 IPsec VPN 接続を使用して、既存の IT インフラストラクチャと VPC のリソースを結びつけることができます。

低料金

Amazon EC2 は、Amazon で実現されているスケールメリットをお客様にもたらします。実際に使用するコンピューティング能力に対してのみ、非常に低額な料金をお支払いいただきます。

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります(最大 75%)。 新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　）
データ暗号化	有・無・その他（　）	暗号化通信	有・無・その他（　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　）	API 公開	有・無・その他（　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/s3/

■製品サービスの特長

Amazon S3 (クラウドストレージサービス)

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) では、安全で耐久性がありスケーラビリティに優れたクラウドストレージを開発者や IT チームに提供しています。Amazon S3 は、シンプルなウェブサービスインターフェイスで使いやすいオブジェクトストレージにより、ウェブのどこからでもお好みの量のデータを簡単に保存および取得できます。Amazon S3 では、実際に使用したストレージ分のみお支払いいただきます。最低料金や初期費用はありません。

Amazon S3 は、各ユースケース向けに、頻繁にアクセスするデータの汎用ストレージのための「Amazon S3 標準」、長期間使用するが頻繁にアクセスしないデータのための「Amazon S3 標準 - 低頻度アクセス（標準 - IA)」、長期アーカイブのための「Amazon Glacier」を含む幅広いストレージクラスを提供しています。また、Amazon S3 は、ライフサイクル全体を通してデータを管理するための、設定可能なライフサイクルポリシーも提供しています。

Amazon S3 は、単独で使用することも、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、AWS Identity and Access Management (IAM) などその他の AWS の各種サービスや、データ移行サービスおよびゲートウェイ（最初からのまたは実行中のデータ取り込み用）と組み合わせて使用することもできます。Amazon S3 では、バックアップとリカバリー、ニアラインのアーカイブ、ビッグデータ分析、災害対策、クラウドアプリケーション、およびコンテンツディストリビューションなど、幅広いユースケースに対応するコスト効率に優れたオブジェクトストレージを提供しています。

耐久性

Amazon S3 は重要なデータを保存するための耐久性のあるインフラストラクチャを提供し、オブジェクトの 99.999999999%の耐久性を実現するように設計されています。データは冗長化されて指定リージョン内の複数の施設に保存され、各施設では複数のデバイスに保存されます。

低コスト

Amazon S3 を使用すると、非常に低いコストで大量のデータを保存できます。さらにコストを削減したい場合、ライフサイクル管理を使用して、データを自動的に、標準 - 低頻度アクセス（標準 - IA）および Amazon Glacier へ移行するポリシーを設定できます。お支払いは必要な分だけ。最低料金や前払い料金はありません。

可用性

Amazon S3 標準は、1 年でオブジェクトの可用性が 99.99%になるように設計されており、必要とされるときに Amazon S3 標準を信頼できることを保証するため、Amazon S3 サービスレベルアグリーメント (SLA) で裏づけされています。

安全性

Amazon S3 は、SSL でのデータ転送と、アップロード後のデータの自動暗号化をサポートします。バケットポリシーを構成してオブジェクトの権限を管理し、AWS Identity and Access Management（IAM）を使用しデータへのアクセスを制御できます。複数の研究機関で相互利用するセキュアなデータ共有プラットフォームとして構築することが可能です。

高性能

Amazon S3 は、ネットワークのスループットと回復性を最大化するのに役立つマルチパートアップロードをサポートし、エンドユーザーに近い AWS リージョンを選択してデータを保存することでネットワークレイテンシーを最小にできます。また、Amazon S3 は、レイテンシーが短く、データ転送速度が速く、最低使用料のないエンドユーザー向けのコンテンツ配信ウェブサービスである Amazon CloudFront と統合されます。

Amazon S3 には、大量のデータ転送を可能にする方法がいくつかあります。最も簡単なのが Amazon S3 Transfer Acceleration です。革新的ソフトウェア、プロトコルの最適化、AWS エッジインフラストラクチャを組み合わせて、既存インフラストラクチャに比べ、データ送信速度を 300%向上しました。

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分のストレージ料金、リクエスト料金、データ転送料金、Amazon S3 Transfer Acceleration 料金です。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/rds/

■製品サービスの特長

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)を使用すると、クラウドで簡単にリレーショナルデータベースを設定、運用、スケールできます。このサービスは、手間のかかるデータベースの管理タスクをお客様の代わりに行いながら、コスト効率がよく、サイズ変更が可能なキャパシティーを提供します。これによってお客様は自身のアプリケーション開発やビジネスに集中できます。Amazon RDS では、Amazon Aurora、Oracle、Microsoft SQL Server、PostgreSQL、MySQL、MariaDB という 6 つのよく知られたデータベースエンジンからお選びいただけます。

管理が簡単

Amazon RDS は、プロジェクトを計画してから配備を行うまでの手順を簡単にします。AWS マネジメントコンソール、AWS RDS コマンドラインインターフェイス、またはシンプルな API 呼び出しを使用して、実稼働に対応したリレーショナルデータベースの機能に数分でアクセスします。インフラストラクチャをプロビジョニングする必要はなく、データベースソフトウェアのインストールやメンテナンスも不要です。

拡張性

数回のマウスクリックまたは 1 回の API 呼び出しだけで、ダウンタイムなくデータベースのコンピューティング容量とストレージ容量をスケールすることができます。Amazon RDS エンジンタイプの多くは、1 つ以上のリードレプリカを起動でき、プライマリデータベースインスタンスの読み取りトラフィックによる負荷を軽減できます。

可用性と耐久性

Amazon RDS が実行されるインフラストラクチャは、アマゾン ウェブ サービスの他のサービスに使用されるものと同じで、高い信頼性が特長です。Multi-AZ DB インスタンスをプロビジョニングすると、Amazon RDS は異なるアベイラビリティーゾーン（AZ）のスタンバイインスタンスにデータを複製します。Amazon RDS は、重要な本稼働用データベースの信頼性を高めるために、自動バックアップ、データベーススナップショット、ホスト自動交換といったその他の特徴を多数備えています。

高速

Amazon RDS では、最大 128vCPU とメモリ 3,904GiB、最大 16TiB のストレージを備えたデータベースサーバのインスタンスサイズを選択できます。ストレージはアプリケーションパフォーマンス要求に応じた広い範囲から選択でき、高性能 OLTP アプリケーション向けに最適化された SSD ストレージや、コスト効果の高い汎用 SSD ストレージが選択可能です。それほど頻繁にアクセスしないデータのワークロード向けには、磁気記録ストレージも選択できます。

安全

Amazon RDS なら、データベースへのネットワークアクセスの制御も簡単です。Amazon RDS では、データベースインスタンスを Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC)で稼働させることもできます。これによってデータベースインスタンスを独立させ、業界標準の暗号化 IPsec VPN を介して既存の IT インフラストラクチャに接続することが可能になります。Amazon RDS エンジンの多くには、保管時の暗号化と転送時の暗号化が準備されています。

低コスト

非常に低額の料金を、実際に利用したリソース分に対してのみお支払いいただきます。加えて、前払いや長期契約がないオンデマンド料金で、さらには当社の予約価格のオプションでより低い時間料金を得ることができます。

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分のオンデマンドまたはリザーブドインスタンスの料金、データベースストレージおよび IO の料金、バックアップストレージの料金、データ転送の料金です。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Redshift
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/redshift/

■製品サービスの特長

Amazon Redshift

Amazon Redshift は高速で完全マネージド型、ペタバイト規模のデータウェアハウスです。お客様は、シンプルかつ費用対効果の高い方法で、すべてのデータを既存のビジネスインテリジェンスツールで分析できます。1 時間あたりわずか 0.25 USD で、コミットメントなしの小規模から始めて、年間 1 テラバイトあたり 1,000USD にスケールできます。費用は従来のソリューションの 10 分の 1 です。通常、3 倍の圧縮によって、非圧縮のテラバイトあたり年間 333 USD までコストを削減できます。Amazon Redshift では、クエリパフォーマンスを高速化するために列指向ストレージ技術が採用されており、複数のノードにまたがるクエリの I/O 効率と並列度が向上しています。Amazon Redshift にはカスタムの JDBC および ODBC ドライバが用意されているため、既存のさまざまな SQL クライアントをそのまま使用できます。標準的な PostgreSQL JDBC および ODBC ドライバを使用することも可能です。データロードの速度はクラスターのサイズに応じて拡大し、Amazon S3、Amazon DynamoDB、Amazon Elastic MapReduce、Amazon Kinesis や、任意の SSH 対応ホストとの統合が可能です。

Amazon Redshift のデータウェアハウスのアーキテクチャーにより、クラウドデータウェアハウスのプロビジョニング、コンフィギュレーション、モニタリングに関わる共通の管理タスクの多くを自動化することが可能です。Amazon S3 へのバックアップは継続的であり、増分だけが自動的にバックアップされます。復元も高速で、数分後にはクエリを開始できるようになり、これと並行してデータを戻す処理がバックグラウンドで実行されます。複数リージョンにまたがる災害復旧を可能にする設定も、数クリックで完了です。

Amazon Redshift にはさまざまな革新的技術が使用されており、データセットのサイズが 100 ギガバイト程度か 1 ペタバイトを超えるかにかかわらず、きわめて高いクエリパフォーマンスを実現しています。列指向ストレージ、データ圧縮、ゾーンのマッピングが使用されているため、クエリ実行に必要な I/O の量が削減されます。Amazon Redshift には超並列処理（MPP）アーキテクチャーが採用されており、SQL 操作の並列化と分散化によって、すべてのリソースがフルに活用されます。ハードウェアはデータ処理のパフォーマンスを高める設計となっており、ローカル接続ストレージを使用して CPU とドライブの間のスループットを最大化するとともに、10 ギガビットイーサメッシュネットワークを使用してノード間のスループットを最大化します。

パフォーマンスや容量のニーズが変化したときも、AWS マネジメントコンソールで数回クリックするか単純な API 呼び出しを 1 回実行するだけで、データウェアハウスのノードの数やタイプを簡単に変更できます。Dense Storage（DS）ノードでは、ハードディスクドライブ（HDD）が使用されており、きわめて大規模なデータウェアハウスを低コストで作成できます。Dense Compute（DC）ノードでは、きわめて高パフォーマンスのデータウェアハウスを作成できるように、高速 CPU、大容量 RAM、および SSD（Solid-State Disk）が使用されます。Amazon Redshift ならば、最初は 160GB の DC1.Large ノード 1 つだけを使用して、ここから圧縮済みユーザーデータが 1 ペタバイトを超える規模まで 16TB DS2.8XLarge ノードを使用して拡張することも可能です。

セキュリティは初めから組み込まれています。保管中や移動中のデータを、ハードウェアアクセラレーション対応の AES-256 および SSL を使用して暗号化できます。Amazon VPC を使用してクラスターを隔離することや、キーの管理に AWS Key Management Service（KMS）およびハードウェアセキュリティモジュール（HSM）を使用することもできます。クラスターに対する API 呼び出し、接続試行、クエリ、変更はすべてログに記録され、監査可能です。AWS CloudTrail を使用して Redshift の API 呼び出しを監査できます。Amazon Redshift はプライベート接続で EC2 等のサービスと連携することが可能です。

製品・サービス名称	Amazon Redshift

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	クラスターのノードのタイプと数に基づいて 1 時間あたりの料金をお支払いいただくだけです。価格は、圧縮データに基づいており、通常は 3 倍の圧縮が可能です。価格には、データの 2 つの追加コピーが含まれています。1 つはクラスターノードへのコピー、もう 1 つは Amazon S3 へのコピーです。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**Amazon EMR**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/emr/

■製品サービスの特長

Amazon EMR

Amazon EMR は、大量のデータを迅速、容易に、かつコスト効果よく処理するためのウェブサービスです。Amazon EMR は、ビッグデータ処理を簡略化し、動的にスケーラブルな Amazon EC2 インスタンス間の莫大な量のデータを処理し、配信するための、簡単、迅速、費用対効果が高い、マネージド型 Hadoop フレームワークを提供します。また、Apache Spark や Presto などの一般的な他のフレームワークを Amazon EMR で実行することや、Amazon S3 や Amazon DynamoDB などの他の AWS データストア内でデータを操作することができます。Amazon EMR は、ログの分析、ウェブインデックス、データウェアハウジング、機械学習、財務分析、科学シミュレーション、生物情報科学研究を含む、お客様のビッグデータを確実かつ安全に処理します。

Amazon EMR のバージョニングリリースにより、EMR cluster で Apache Hadoop および Spark エコシステムのアプリケーションを含む最新のオープンソースプロジェクトを簡単に選択して使用できます。ソフトウェアは Amazon EMR によってインストールおよび設定されるので、管理タスクに費やす時間を短縮してデータの値を増やすことに集中できます。

使いやすい

Amazon EMR クラスターは数分で起動できます。ノードのプロビジョニング、クラスターのセットアップ、Hadoop の設定、クラスターのチューニングなど、わずらわしい作業は不要です。Amazon EMR がこのような作業を行いますので、お客様は分析に専念できます。

低コスト

Amazon EMR の料金体系は予想がしやすくシンプル: 使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位で料金を支払います。10 ノードの Hadoop クラスターの運用をわずか 0.15 USD/時間で開始できます。Amazon EMR は Amazon EC2 のスポットインスタンスとリザーブドインスタンスをネイティブサポートしているため、基盤となるインスタンスのコストを 50～80%節約することもできます。

伸縮自在性

Amazon EMR は、コンピューティングインスタンスを 1 つでも数百、数千でもプロビジョニングできるため、あらゆる規模のデータ処理に対応します。インスタンス数は簡単に増減でき、お支払いは使った分のみの従量料金制です。

信頼性

クラスターの調整やモニタリングにかかる労力も削減できます。Amazon EMR にはクラウド用の調整された Hadoop があり、クラスターをモニタリングして失敗したタスクを再試行し、自動的にパフォーマンスの低いインスタンスを置き換えます。

安全性

Amazon EMR は Amazon EC2 インスタンスへのネットワークアクセスを制御するファイアウォールの各種設定を自動的に構成します。また、お客様が定義する論理的に隔離されたネットワークである Amazon Virtual Private Cloud(VPC)内にクラスターを起動することもできます。EMRFS を使った Amazon S3 のサーバー側暗号化とクライアント側暗号化、クラスターの HDFS とローカルディスクの暗号化、さまざまなアプリケーションで移動中の暗号化を実行するオープンソースの機能といった Amazon EMR のセキュリティ設定を使用すると、保管中および移動中のデータの暗号化を簡単に有効にできます。

柔軟性

お客様がクラスターのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへのルートアクセス権限を持ち、簡単にその他のアプリケーションを追加し、クラスターごとに設定をカスタマイズできます。また Amazon EMR は、複数の Hadoop ディストリビューションとアプリケーションをサポートしています。

製品・サービス名称	Amazon EMR

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位での料金の支払となります。支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/elasticsearch-service/

■製品サービスの特長

Amazon Elasticsearch Service

Amazon Elasticsearch Service は、AWS クラウドで Elasticsearch を簡単にデプロイ、操作、スケーリングできるようにするマネージドサービスです。Elasticsearch はログ分析、リアルタイムのアプリケーションモニタリング、クリックストリーム分析などのユースケース向けの、人気の高いオープンソースの検索および分析エンジンです。Amazon Elasticsearch クラスターは AWS マネジメントコンソールから数分でセットアップし、設定できます。Amazon Elasticsearch Service によってクラスターのすべてのリソースがプロビジョニングされ、起動されます。障害が発生した Elasticsearch ノードが自動的に検出および交換されるため、自己管理型のインフラストラクチャおよび Elasticsearch ソフトウェアに関連するオーバーヘッドを削減できます。Amazon Elasticsearch Service を使用して単一の API 呼び出しで、または AWS マネジメントコンソールで数回クリックして簡単にクラスターをスケールできます。Amazon Elasticsearch Service では、Elasticsearch のオープンソース API に直接アクセスできます。そのため、既存の Elasticsearch 環境で使用しているコードとアプリケーションがシームレスに機能します。

シンプルなデプロイ

Amazon Elasticsearch Service を使用して、AWS クラウドに Elasticsearch を簡単にデプロイできます。AWS マネジメントコンソールまたは簡単な API 呼び出しを使用して、すぐに運用準備が整った Amazon Elasticsearch クラスターにアクセスできます。インフラストラクチャのプロビジョニング、および Elasticsearch ソフトウェアのインストールや管理について心配する必要はありません。

管理が簡単

Amazon Elasticsearch Service によって高い可用性の確保、パッチ管理、障害検出、ノードの交換、バックアップ、モニタリングなどの時間がかかる管理タスクを簡素化でき、より価値の高いアプリケーション開発に集中できます。

スケーラブル

Amazon Elasticsearch Service では、Amazon CloudWatch メトリックスによってクラスターをモニタリングし、単一の API 呼び出しまたは AWS マネジメントコンソールでのクリック数回でクラスターを拡大または縮小できます。

Logstash および Kibana との統合

Logstash はログなどのイベントデータを処理し、Elasticsearch にロードできるようにするオープンソースのデータパイプラインです。Kibana は Elasticsearch のデータをより理解しやすくする、オープンソースの分析および視覚化プラットフォームです。Amazon Elasticsearch Service には Kibana が標準で組み込まれており、Logstash との統合をサポートしています。

高い費用対効果

Amazon Elasticsearch Service によって、Elasticsearch を設定および管理するための費用を削減できます。データと使用パターンの変化に合わせて最適なパフォーマンスが得られるようにクラスターをスケールアップまたはダウンできるため、発生する費用は実際に使用したリソースの分のみです。オンデマンド料金では時間単位でリソースの料金が発生するため、長期契約は必要ありません。また、ハードウェアのプランニング、購入、維持に伴うコストや手間から解放されます。

安全性

AWS Identity and Access Management (IAM) のポリシーを使用して Elasticsearch API へのアクセスを制限できます。IAM のポリシーによって、アプリケーションは Amazon Elasticsearch クラスターに安全にアクセスできます。

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	Amazon Elasticsearch インスタンス時間、Amazon EBS ストレージ（オプションを選択している場合）、通常のデータ転送に対して料金が発生します。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	**AWS Lambda**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/lambda/

■製品サービスの特長

AWS Lambda

AWS Lambda はイベント発生時にお客様のコードを実行し、基盤となるコンピューティングリソースをお客様に代わって管理する、サーバーレスコンピューティングサービスです。AWS Lambda を使用すると、カスタムロジックを使って AWS の他のサービスを拡張することや、AWS の規模、パフォーマンス、セキュリティを活用して運用する自社のバックエンドサービスを作成することができます。AWS Lambda では、複数のイベント（Amazon API Gateway 経由の HTTP リクエスト、Amazon S3 バケット内のオブジェクト変更、Amazon DynamoDB 内のテーブル更新、AWS Step Functions 内の状態遷移など）に応答して、自動的にコードが実行されます。

AWS Lambda は可用性の高いコンピューティングインフラストラクチャで、お客様のコードを実行しコンピューティングリソースの管理をすべて担当します。これにはサーバーおよびオペレーティングシステムの管理、キャパシティーのプロビジョニングおよび自動スケーリング、コードおよびセキュリティパッチのデプロイ、モニタリングおよびロギングなどが含まれます。お客様はコードを書くだけです。

AWS Lambda の利用

AWS Lambda の利用を開始するのは簡単です。まずコードをアップロード（または Lambda コンソールで直接構築）して関数を作成し、メモリ、タイムアウト時間、AWS Identity and Access Management (IAM) の役割を選択します。次に、関数をトリガーする AWS リソースとして特定の Amazon S3 バケット、Amazon DynamoDB テーブル、Amazon Kinesis ストリームのいずれかを指定します。リソースが変更されると、Lambda は関数を実行し、受信リクエストに対応するために必要なコンピューティングリソースを開始および管理します。

AWS Lambda には、学ばなければならない新しい言語、ツール、フレームワークがありません。ネイティブライブラリも含め、サードパーティのライブラリを使用できます。AWS Lambda は Java、Node.js、C#、および Python のコードをサポートしており、その他の言語も今後サポートする予定です。

完全に自動化された管理

AWS Lambda はコードを可用性の高い、耐障害性を備えたインフラストラクチャで実行するためにインフラストラクチャをすべて管理するため、お客様は差別化されたバックエンドサービスの構築に注力できます。Lambda を使用すれば、パッチがリリースされた際に基盤となる OS を更新したり、使用量の増加に合わせてサーバーのサイズ変更や追加を考えたりする必要はありません。AWS Lambda はコードをシームレスにデプロイし、すべての管理、メンテナンス、セキュリティパッチの適用を担当し、Amazon CloudWatch によって組み込みのロギングおよびモニタリング機能を提供します。

自動スケーリング

AWS Lambda は必要なときだけコードを実行し、リクエスト受信の回数に合わせて自動的にスケールします。お客様は何も設定する必要がありません。コードが処理できるリクエスト数に上限はありません。AWS Lambda は基本的にイベントの発生からミリ秒単位でコードを実行します。また Lambda は自動的にスケールするため、イベントの頻度が上昇しても一貫して高いパフォーマンスを維持できます。コードがステートレスなので、Lambda は時間のかかるデプロイや設定によって遅れが出ることなく必要な数だけインスタンスを実行できます。

利用に応じた支払い

AWS Lambda では、送信したリクエストとコードを実行するために要した処理時間の分のみ料金が発生します。料金は 100 ミリ秒の増分で計算されます。コスト効率がよく、1 日に数件のリクエストから 1 秒に数千件のリクエストまで簡単に自動でスケールできます。

製品・サービス名称	AWS Lambda

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	関数全体に対する合計リクエスト数、割り当てたメモリ量に応じて料金が発生します。実行時間はコードの実行が開始された瞬間からコードが返された時間あるいは中止された時間までで計算され、100 ミリ秒単位で切り上げられます。1 ヶ月あたり一定の Lambda の無料利用枠があります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/

■製品サービスの特長

Amazon DynamoDB

Amazon DynamoDB は、どのような規模でも信頼性が高いパフォーマンスを維持できる、非リレーショナルデータベースです。この完全マネージドサービスには、応答性の高いデータアクセスを必要とする最先端のアプリケーション用のグローバルにスケーラブルなデータストアを開発者が作成するのに役立つ、多くの機能が含まれています。

スケールに応じたパフォーマンス

Amazon DynamoDB Accelerator (DAX) はフルマネージドで高可用性の DynamoDB 用インメモリキャッシュで、テーブルからの読み取りパフォーマンスを大幅に向上させます。DAX は、1 秒あたり 100 万単位のリクエストを処理する場合でも、最大で 10 倍の DynamoDB テーブルの読み取りパフォーマンス向上（ミリ秒からマイクロ秒）を実現します。

DynamoDB では、柔軟なスキーマで簡単にスケールできるように設計されたキーと値のデータ構造をサポートしています。各項目（行）はキーと値のペアになっており、テーブル内の項目の属性に必要なのはプライマリキーのみで、プライマリキーが各アイテムを一意に識別します。DynamoDB では、ドキュメントの保存、クエリ、更新もサポートしています。AWS SDK を使用すると、JSON ドキュメントを直接 DynamoDB テーブルに保存するアプリケーションを構築できます。

DynamoDB では、任意の属性（列）に対して効率的にクエリを実行できる柔軟なセカンダリインデックスを利用できます。テーブルからのセカンダリインデックスの作成や削除はいつでも実行できます。

DynamoDB ストリームを使用すると、最新の項目レベルの変更を追跡したり、24 時間以内の項目レベルの更新をすべて取得したりできます。また、取得したデータを使用して独創的なアプリケーションを構築し、レプリケーション、マテリアライズドビュー、バックアップ、および他のサービスとの統合などの機能を実現できます。

DynamoDB は、AWS Lambda と統合され、トリガーを実現しています。トリガーを用いると、項目レベルの変更が DynamoDB テーブルで検出されたときに自動的にカスタム関数を実行できます。

フルマネージド

グローバルテーブルは、高速な読み取りおよび書き込みパフォーマンスを実現する、フルマネージドのマルチリージョン、マルチマスターのデータベースを提供し、選択する AWS リージョン全体にわたって DynamoDB テーブルを自動的にレプリケートします。 ポイントインタイムリカバリ (PITR) は、お客様の DynamoDB テーブルデータを連続的にバックアップします。これを有効にしておくと、DynamoDB はお客様のテーブルの直近 35 日間分の増分バックアップを、お客様が明示的にオフにするまで行います。

オンデマンドバックアップおよび復元

オンデマンドバックアップおよび復元で、DynamoDB テーブルのデータの完全なバックアップを作成してアーカイブできます。これを利用して企業および行政の規制要件を満たすことができます。数メガバイトから数百テラバイトまでのデータを持つテーブルを、本番アプリケーションのパフォーマンスや可用性に影響を与えずにバックアップできます。

保管時の暗号化

保管時の暗号化では、AWS 管理の暗号化キーを使用して DynamoDB のデータを保護します。その暗号化キーは AWS Key Management Service に保存されます。保管時の暗号化は、ユーザーにとって完全に透過的で、すべての DynamoDB クエリは暗号化されたデータ上でシームレスに実行されます。アプリケーションコードを変更する必要はありません。

きめ細かなアクセス制御

DynamoDB は、ユーザー認証と不正アクセスの防止に実績ある暗号化技術を採用しています。また、AWS Identity and Access Management との統合により、組織内のユーザーのアクセスを細かく管理することもできます。

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	テーブルが消費するディスク容量の GB あたりの料金が課金されます。毎月最初の 25 GB までは無料です。プロビジョニングするスループットタイプにより費用が異なります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Kinesis
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/kinesis/

■製品サービスの特長

Amazon Kinesis

Amazon Kinesis でストリーミングデータをリアルタイムで収集、処理、分析することが簡単になります。Amazon Kinesis はストリーミングデータをコスト効率を考慮してあらゆる規模で処理する機能と、アプリケーションの要件に最適なツールを選択できる融通性を備えています。Amazon Kinesis をお使いになると、機械学習、分析、その他のアプリケーションに用いる動画、音声、アプリケーションログ、ウェブサイトのクリックストリーム、IoT テレメトリーデータをリアルタイムで取り込めます。Amazon Kinesis はデータを受信するとすぐに処理および分析を行うため、すべてのデータを収集するのを待たずに処理を開始して直ちに応答することが可能です。

完全マネージド型

Amazon Kinesis は完全マネージド型ですので、インフラストラクチャを管理する必要なく、ストリーミングアプリケーションを実行できます。

スケーラブル

Amazon Kinesis はサイズの上限なくストリーミングデータに対応し、数千ものソースからのデータをとても低いレイテンシーで処理できます

機能

Amazon Kinesis Video Streams を使用すると、分析、機械学習 (ML)、およびその他の処理のために、接続されたデバイスから AWS へ動画を簡単かつ安全にストリーミングできるようになります。Kinesis Video Streams によって、数百万ものデバイスからの動画のストリーミングデータを取り込むために必要なすべてのインフラストラクチャが自動的にプロビジョニングされ、伸縮自在にスケールされます。また、ストリーム内の動画データに対して堅牢な保存、暗号化、インデックス作成が実行され、使いやすい API によってデータにアクセスできるようになります。Kinesis Video Streams を使うと、ビデオをライブ、オンデマンドの視聴のために再生し、また Amazon Recognition Video との統合によってコンピュータービジョンとビデオ分析を活用したアプリケーションを素早く構築でき、Apache MxNet、TensorFlow、OpenCV などの ML フレームワークのためのライブラリを構築できます。

Amazon Kinesis Data Streams では、よく使われるストリーム処理フレームワークを用いてデータストリームを処理する、カスタムの、リアルタイムアプリケーションを構築できます。ウエブサイトクリックストリームやデータベースイベントストリームや金融取引、ソーシャルメディアフィード、IT ログ、ロケーション追跡イベントなど何十万ものソースから毎秒ギガバイトのデータを継続してキャプチャできます。収集データはミリ秒で入手でき、リアルタイム分析をリアルタイムダッシュボードやリアルタイム異常検知などに利用可能です。

Amazon Kinesis Data Firehose は、データストリームを AWS データストアにキャプチャ、変換、ロードし、既存のビジネスインテリジェンスツールを使って準リアルタイムで分析できる最も容易な方法です。ストリーミングデータをキャプチャして変換し、Amazon S3、Amazon Redshift、Amazon Elasticsearch Service、Splunk にロードして、現在お使いの既存のビジネスインテリジェンスツールやダッシュボードで、ほぼリアルタイムに分析することができます。完全マネージド型サービスのため、データスループットに応じて自動的にスケールされ、継続的な管理は不要です。

Amazon Kinesis Data Analytics を使用すると、新しいプログラミング言語や処理フレームワークを習得することなく、SQL を使用してストリーミングデータのクエリやストリーミングアプリケーション全体の構築を行うことができます。

製品・サービス名称	Amazon Kinesis

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	前払い料金や最低料金はなく、使用したリソースに対してのみお支払いいただきます。Amazon Kinesis の料金は、時間単位のシャード速度と、PUT ペイロードユニットの 2 つの基準に基づいています。Amazon Kinesis ストリームからのレコード取得は無料です。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Route 53
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/route53/

■製品サービスの特長

Amazon Route 53

Amazon Route 53 は、可用性が高くスケーラブルなクラウドドメインネームシステム（DNS）ウェブサービスです。Amazon Route 53 は、www.example.com のような名前を、コンピュータが互いに接続するための数字の IP アドレス（192.0.2.1 など）に変換するサービスで、開発者や企業がエンドユーザーをインターネットアプリケーションにルーティングする、きわめて信頼性が高く、コスト効率の良い方法となるよう設計されています。Amazon Route 53 は IPv6 にも完全準拠しています。Amazon Route 53 は、Amazon EC2 インスタンス、Elastic Load Balancing ロードバランサー、Amazon S3 バケットなどの AWS で実行するインフラストラクチャにユーザーリクエストを効率的に接続します。これはユーザーを AWS 外のインフラストラクチャにルーティングするためにも使用できます。Amazon Route 53 を使用して DNS ヘルスチェックを構成し、トラフィックを正常なエンドポイントにルーティングしたり、アプリケーションやそのエンドポイントの正常性を独立してモニタリングしたりすることができます。Amazon Route 53 トラフィックフローでは、さまざまなルーティングタイプ（レイテンシーベースルーティング、Geo DNS、地理的近接性、加重ラウンドロビンなど）を使用してトラフィックをグローバルに簡単に管理できます。このすべてのルーティングタイプを DNS フェイルオーバーと組み合わせることができるため、低レイテンシーのさまざまなフォルトトレラントアーキテクチャを実現できます。Amazon Route 53 トラフィックフローのシンプルなビジュアルエディタを使用して、エンドユーザーをアプリケーションのエンドポイントにルーティングする方法を簡単に管理できます。エンドポイントが 1 つの AWS リージョン内にあるか、世界中に分散しているかは関係ありません。また、Amazon Route 53 ではドメイン名登録も提供します。example.com のようなドメイン名を購入および管理でき、Amazon Route 53 でお客様のドメインの DNS 設定が自動的に構成されます。

Amazon Route 53 の機能

Amazon Route 53 は、数分で開始できる、シンプルなウェブサービスインターフェイスです。DNS レコードは、Route 53 の API で設定する「ホストゾーン」にまとめられます。

Amazon Route 53　API

Route 53 は、貴学ドメインの DNS レコードの作成/管理を容易にする API セットを提供します。これらは直接呼び出すことができます。また、この機能はすべて、AWS Management Console を介してアクセスすることができます。Route 53 API の完全なリストについては、Amazon Route 53 API レファレンスガイドをご参照ください。

Amazon Route 53 グローバルネットワーク

Amazon Route グローバルネットワークの Route 53 は、高可用性を提供し、パフォーマンスを向上させるために、全世界のロケーションで DNS サーバーのグローバルネットワークを使用します。

従量課金制

Route 53 では、前金の支払いは必要なく、貴社のドメインに返答するクエリ数の制限がありません。その他のアマゾン ウェブ サービスと同様、従量制で課金が行われ、使用した分に対してのみ支払いを行います。

製品・サービス名称	Amazon Route 53

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分のみをお支払いいただきます。最低料金はありません。ホストゾーン、クエリ、トラフィックフロー、ヘルスチェックドメイン名料金、Amazon Route 53 と Amazon S3 の間の API コールに対して課金されます。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：100%　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

まるで手元に実際のサーバやスイッチがあるような
直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

高性能

最大 20 コア、224GB メモリまでの充実のスペック

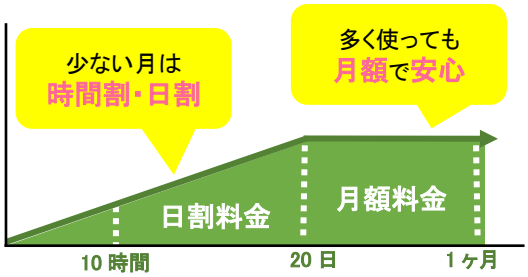
低価格

初期費用無料、月額 1,522 円から始められます

月額 1,522 円～、1 日 75 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

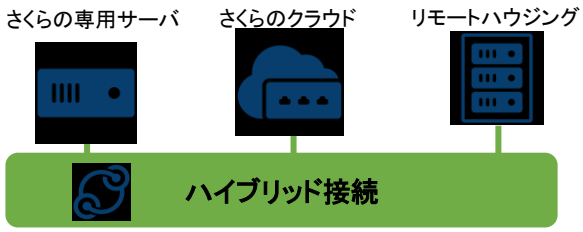
初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額からもっとも安い料金が自動で適用されます。
事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

クラウドと専用サーバを接続できる

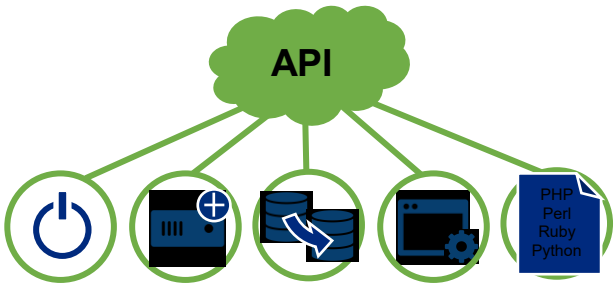
さくらのサービスメリットを最大限に！



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

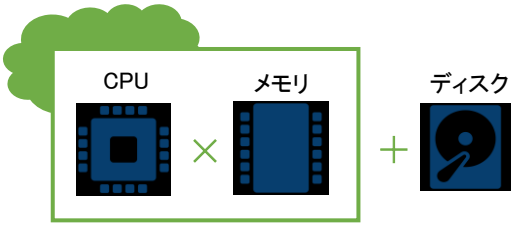
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの起動停止、複数台作成、アーカイブの定期取得など業務を

選べるプラン 94 種類

最大 20 コア×224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供/ 2 段階認証・WAF の提供（一部 OS）

有償オプション

Window Server（石狩リージョンのみの提供）/ アーカイブ / バックアップ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ＋スイッチ（インターネット接続回線の集約・増速）/ 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB（広域負荷分散）/ DNS / Sophos UTM / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、桜美林大学 他）
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い、お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンライインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

物理サーバの性能とクラウドの使い勝手を兼ね備えたまったく新しい専用サーバサービス

従来の専用サーバは、お申し込みから利用開始まで日数を要し、サーバを増やしたくてもすぐには増やせず、OS インストールやサーバ再起動は事業者に依頼する形のサービスが一般的でした。

「さくらの専用サーバ」のコンセプトは、”オンデマンド・セルフサービス・スケールアウト”。
クラウドに迫る使い勝手と、専有ならではの圧倒的パフォーマンスを実現しました。

オンラインのお申込みから、最速10分で提供！

「すぐにサーバを利用したい」「すぐにサーバを増やしたい」というニーズにお応えします。導入しやすい低価格モデルはもちろん、初期費用の分割払い※をお選びいただくことで、ハイスペックモデルも初期コストを抑えた導入が可能です。豊富なサーバラインアップと選べる料金プランで「イニシャルコストを抑えたい」「ランニングコストを抑えたい」双方のご要望に合わせてお選びいただけます。

※通常は一括払いである初期費用を、分割してお支払いいただく方法です。

最新CPUを搭載！ioMemory、SSDも利用可能

全シリーズにXeonを採用、最新のE5系プロセッサもラインアップ。
SATA HDD搭載モデルはもちろん、高性能なSAS HDDやSSD、超高速なFusion-io社のioMemoryを搭載したモデルからお選びいただけます。これらのストレージラインアップから、用途に合わせた自在なスケールアップも可能です。

抜群のセルフサービス機能を標準提供

OSインストールをはじめ、サーバ再起動やコンソール操作等がセルフサービスで行えるツールを標準提供。

▸ コントロールパネル
自社独自開発のコントロールパネルを標準提供。サーバの再起動、OSインストール、各種サーバ情報の取得が可能。

▸ IPMIツール
サーバのハードウェアや、コンソール画面へのアクセスも可能。トラブル時にエラーメッセージを確認したり、インターネットに接続されていない状態でサーバを起動できます。

利用サーバ台数は無制限。複数台構成の設定も簡単です

ローカルネットワーク側での複数台構成が簡単に設定可能。サーバ台数に制限はありません。
サーバシリーズの組み合わせも自由なため、要件に応じた自在なシステム構成が可能です。

■オプションサービス

- ・専用グローバルネットワーク
- ・グローバル回線
- ・L2 ファイアウォールサービス
- ・L3 VPN ファイアウォールサービス
- ・ロードバランサーサービス
- ・ハイブリッド接続/SINET 接続
- ・メモリ、ストレージアップグレードサービス
- ・WAF、改ざん検知サービス

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校
費用	無料トライアルの有 4 core/8 GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 9,720 円～（別途初期費用が必要）
利用条件	最低利用期間は 3 ヶ月間です。
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9:45～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

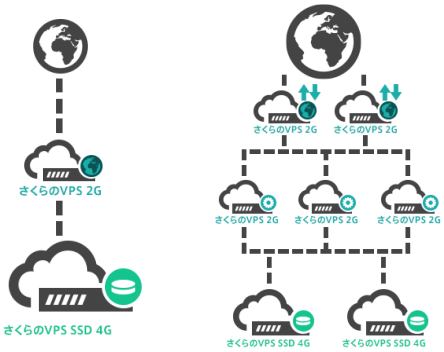
問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらの VPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらの VPS は、1 台の物理サーバ上に複数の仮想サーバを構築、
仮想サーバならではの機能と専用サーバの自由度を合わせ持つ、仮想専用サーバサービスです。
Linux カーネルに標準搭載の仮想化技術である「KVM」を採用し、完全仮想化を実現しました。

ローカルネットワーク　台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！
コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上　IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインタフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

マイグレーション機能　クラウドへの移行も簡単！まずは VPS でスタート

マイグレーション機能とは？
サーバのディスクを「さくらの VPS」から「さくらのクラウド」にコピーする機能です。

●VPS で公開した Web サービスのアクセス
●VPS で開発・検証中のシステム、本番稼動はクラウドを使いたい

お使いの「さくらの VPS」と同じ構成のサーバを、コントロールパネルから簡単に「さくらのクラウド」へと移行できます。バックグラウンドで処理されるため、VPS を起動させたままでマイグレーションが可能です。

SSD | 高速・高性能なプラン

メモリ：512MB ～ 32GB
CPU：仮想 1～10 コア
ストレージ： 20GB～800GB
ローカルネットワーク：無料
WAF…無料

HDD | 大容量・低価格なプラン

メモリ：1GB ～16GB
CPU：仮想 2～8 コア
ストレージ： 100GB～1,600GB
ローカルネットワーク：無料
WAF…無料

製品・サービス名称	さくらの VPS

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校
費用	Linux 版：初期費 1,080 円～、月額費用 685 円～ Windows 版：初期費 2,160 円～、月額費用 1,080 円～
利用条件	２週間の無料試用が可能。ご利用拘束期間は３ヶ月間となります。
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

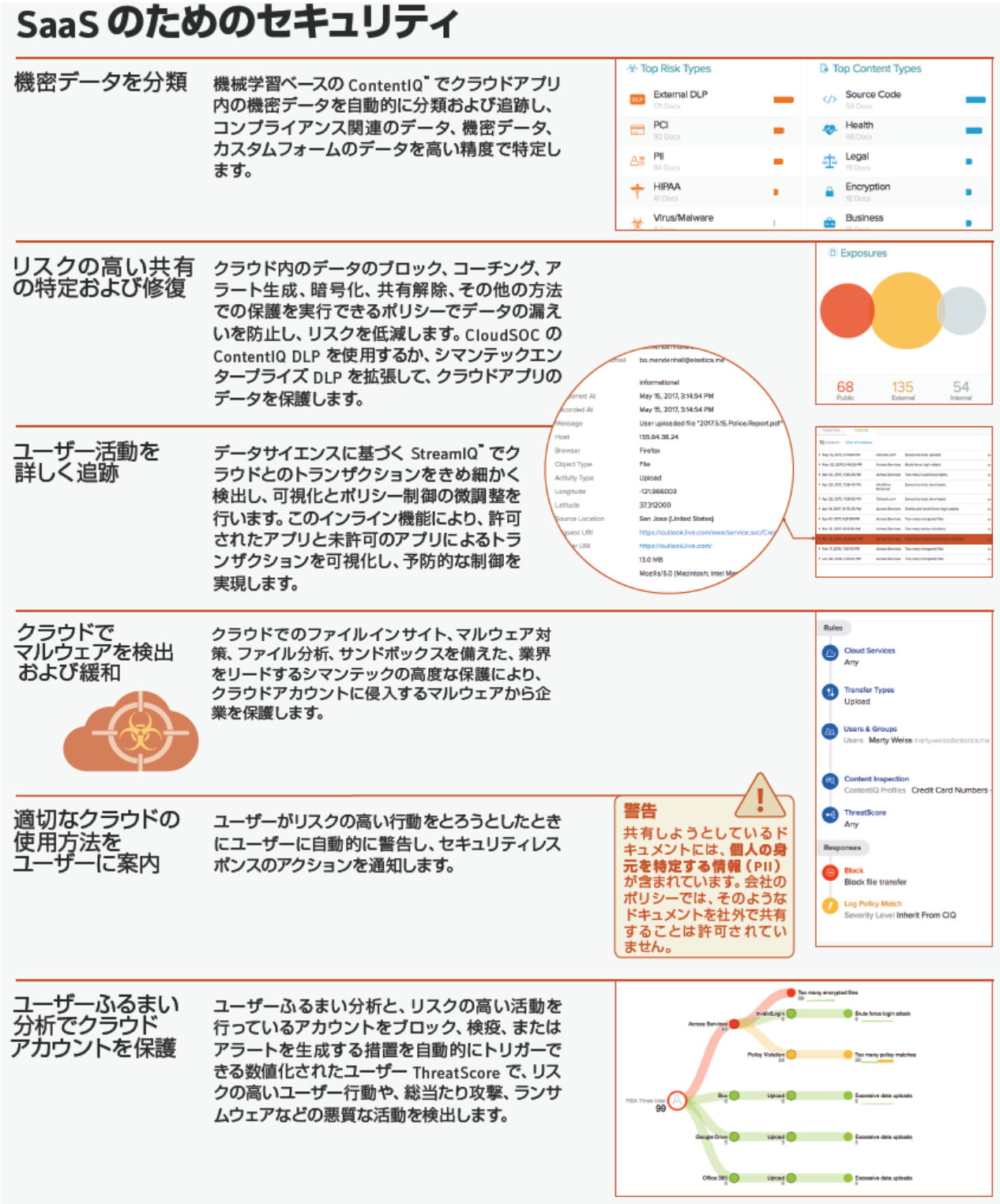
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	**Symantec CloudSOC**
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/cloud-application-security-cloudsoc

■製品サービスの特長

Symantec CloudSOC プラットフォームを利用すれば、お客様の安全性とコンプライアンスを維持しながら、
クラウドアプリケーションやクラウドサービスを安心して活用できます。このプラットフォームはシャドーIT を可視化し、
クラウドアプリケーション内のデータを管理し、クラウドアカウントを標的とした脅威から企業を保護します。



製品・サービス名称	Symantec CloudSOC

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）：利用企業名（非公開） 大学数（非公開）：利用大学名（非公開）
費用	・年間利用料（利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系） ※トライアル用ライセンス有
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能。
支払方法	年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、円（支払通過）　※応相談
販売代理店	無、有（代理店名：マクニカネットワークス、各販売代理店） ※シマンテックパートナー　https://mysymantec.force.com/partnerlocator/s/

■契約

申込み方法	注文書・その他（代理店に依る　　）	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有・無（代理店に依る　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：http://portal.threatpulse.com/docs/rn/PDFBriefs/SYMWSS_SLA_160901.pdf　参照）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

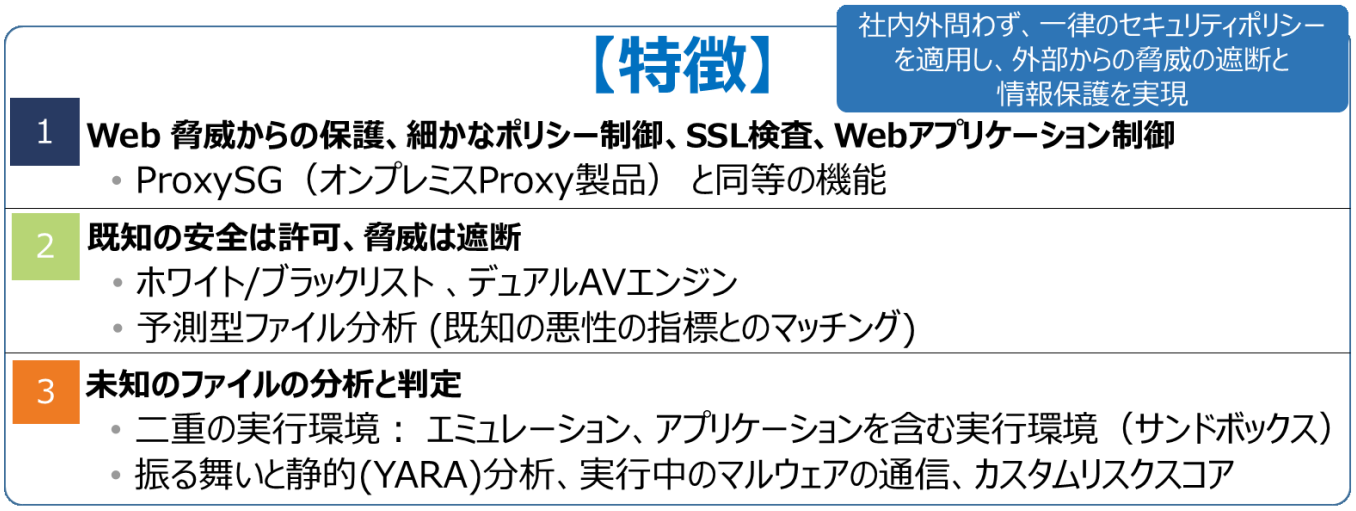
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	なし

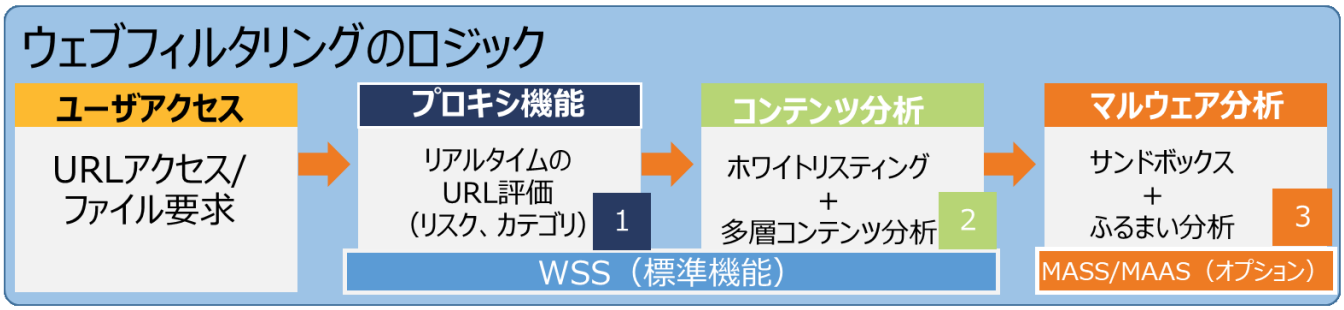
問合先	企業名：株式会社シマンテック 部署名：公共営業本部 担当者：堀部、村上、湯浅	電話番号：03-5114-4360 FAX 番号：03-5114-4030 Web: https://www.symantec.com/ja/jp/contact-us

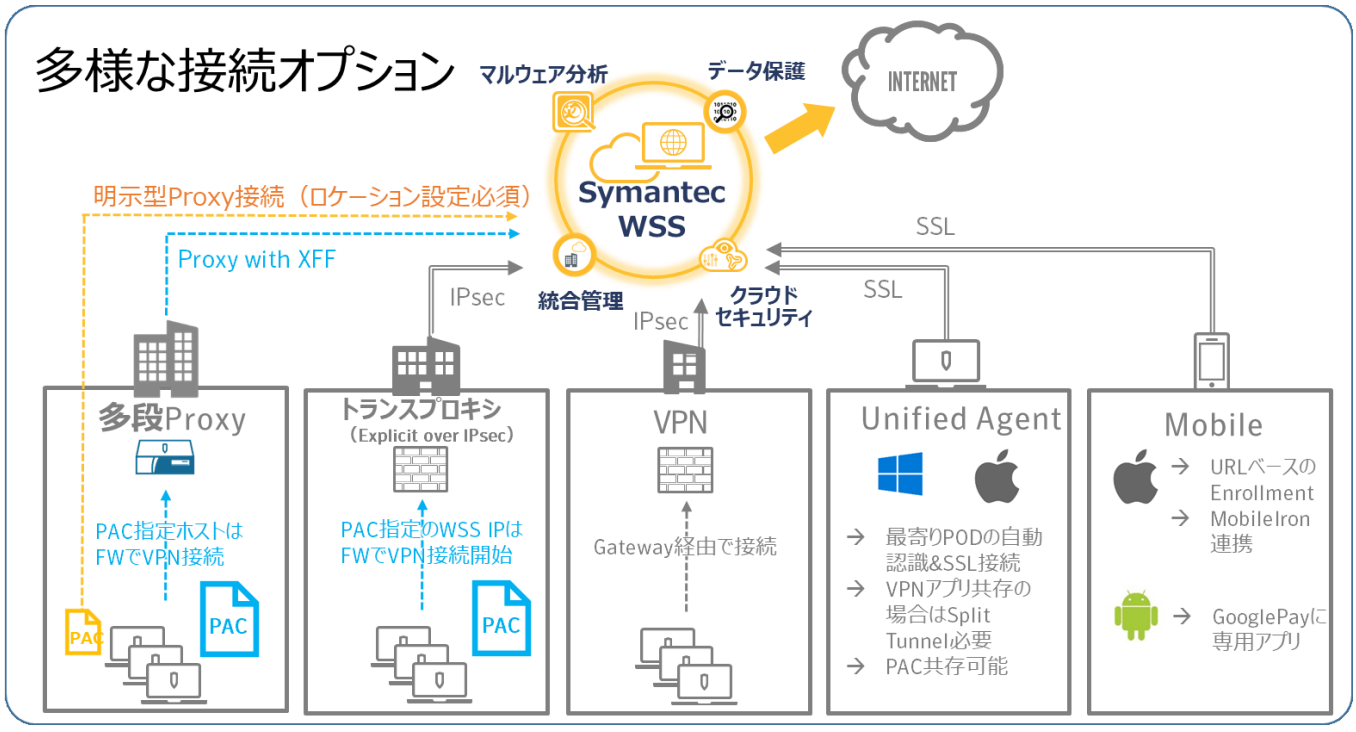
製品・サービス名称	Symantec Web Security Service (WSS)
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/web-security-services

■製品サービスの特長

Symantec Web Security Service は、詳細なアクセスポリシーとセキュリティポリシーを適用することで、Web インターネットの使用をアプリケーション、デバイス、ユーザ、または場所ごとに管理します。







製品・サービス名称	Symantec Web Security Service （WSS）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（非公開） 大学数（非公開）校：利用大学名（非公開）
費用	・年間利用料（利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系） ※トライアル用ライセンス有 ※バンドルライセンス、複数年契約による割引有
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能
支払方法	年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、円（支払通過）　※応相談
販売代理店	無、有（代理店名：マクニカネットワークス、各販売代理店） ※シマンテックパートナー　https://mysymantec.force.com/partnerlocator/s/

■契約

申込み方法	注文書・その他（代理店に依る　　）	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有・無（代理店に依る　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（代理店に依る）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：http://portal.threatpulse.com/docs/rn/PDFBriefs/SYMWSS_SLA_160901.pdf　参照）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	なし

問合先	企業名：株式会社シマンテック 部署名：公共営業本部 担当者：堀部、村上、湯浅	電話番号：03-5114-4360 FAX 番号：03-5114-4030 Web: https://www.symantec.com/ja/jp/contact-us

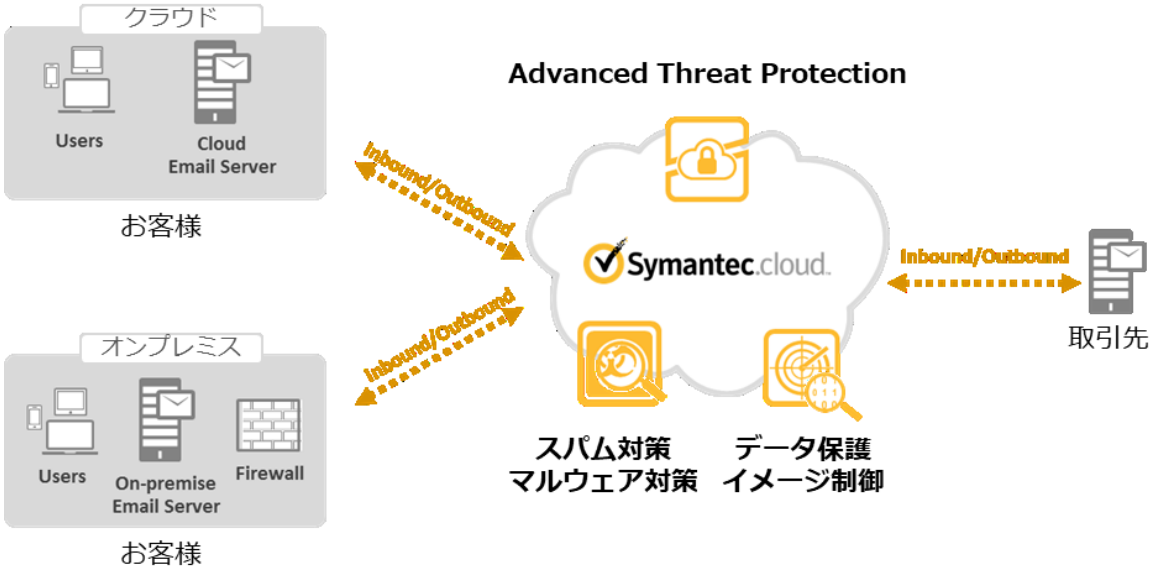
製品・サービス名称	Symantec Email Security.cloud (ESS)
提供企業名	株式会社シマンテック
紹介サイト URL	https://www.symantec.com/ja/jp/products/email-security-cloud

■製品サービスの特長

Symantec ™ Email Security.cloud

データシート：メッセージセキュリティ

Symantec™ Email Security.cloud は、不要なメッセージをフィルタリングし、標的型攻撃からユーザーを保護します。
自己学習機能とシマンテックインテリジェンスが搭載され、効果の高い、正確な電子メールセキュリティを実現します。
機密データの管理に役立つ暗号化機能と情報漏えい防止機能も備えています。Microsoft Office 365、Google Apps、
オンプレミスまたはホスト型の Microsoft Exchange、その他のメールボックスサービスをサポートし、送受信メッセージの
常時セキュリティを実現します。サービスレベル契約に規定されているとおり、Symantec™ Email Security.cloud は既知および
未知の電子メールウイルスから 100%保護し、99%のスパムを捕捉するように設計されています。 Email Security.cloud を
使用することで、電子メールを媒介としたウイルス、マルウェア、スパム、フィッシング、標的型の攻撃、バルクメールから保護し、
複雑な管理を軽減させるのに役立ちます。



Email Security.cloud の機能

クラウド型セキュリティプラットフォーム

- Webベースの管理ポータル／役割ベースのアクセス制御／監視ダッシュボード／カスタマイズ可能なレポート／SLA サポート対象について100% のサービス可用性／標準で TLSを使用した時機を得たメッセージ配信／人、処理、技術をカバーする ISO/IEC 27001 認定／ISO27001とSSAE 16 の認定を受けたデータセンター

メールのウイルス対策と、メールのスパム対策

- SMTP トラフィックのヒューリスティックと帯域制限
- マルウェア攻撃、URL 攻撃、スパム攻撃、フィッシング攻撃、標的型攻撃に対する保護をサポートするシマンテックインテリジェンス
- 多層マルウェア分析
- Skeptic ヒューリスティック
- URL リンク追跡
- 非迷惑メール（ニュースレターなど）受信のための迷惑メール制御
- 99% のスパム対策の有効性、SLA サポート対象について 0.0003% の誤検知率
- 検疫管理を行えるようにするため、エンドユーザーへのメール通知
- メール本文のハイパーリンクからのブラウジングで脅威を分離（Email Isolation）

製品・サービス名称	Symantec Email Security.cloud (ESS)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ

■一般事項

契約実績	法人数（3 万 5 千社以上）：利用企業名（非公開） 大学数（1 千校以上）：利用大学名（非公開）
費用	・初期登録手数料 ・年間利用料（利用ユーザ数及び利用サービスに応じた課金体系） ※トライアル用ライセンス有 ※バンドルライセンス、複数年契約による割引有
利用条件	1 ユーザ 1 年以上から利用可能
支払方法	年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、円（支払通過）　※応相談
販売代理店	無、有（代理店名：ソフトバンクコマース&サービス、各販売代理店） ※シマンテックパートナー　https://mysymantec.force.com/partnerlocator/s/

■契約

申込み方法	注文書・その他（代理店に依る　　）	利用開始までの期間	当日～数週間
約款の有無	有・無（代理店に依る　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（代理店に依る）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：30 ※代理店による
コンタクト方法	電話・メール・Web	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	事前通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	なし

問合先	企業名：株式会社シマンテック 部署名：公共営業本部 担当者：堀部、村上、湯浅	電話番号：03-5114-4360 FAX 番号：03-5114-4030 Web: http://www.symantec.com/ja/jp/contact-us

製品・サービス名称	FortiCloud
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.co.jp/doc/FortiCloud_DS.pdf

■製品サービスの特長

FortiCloud クラウド管理型セキュリティソリューション

・ネットワークセキュリティ管理

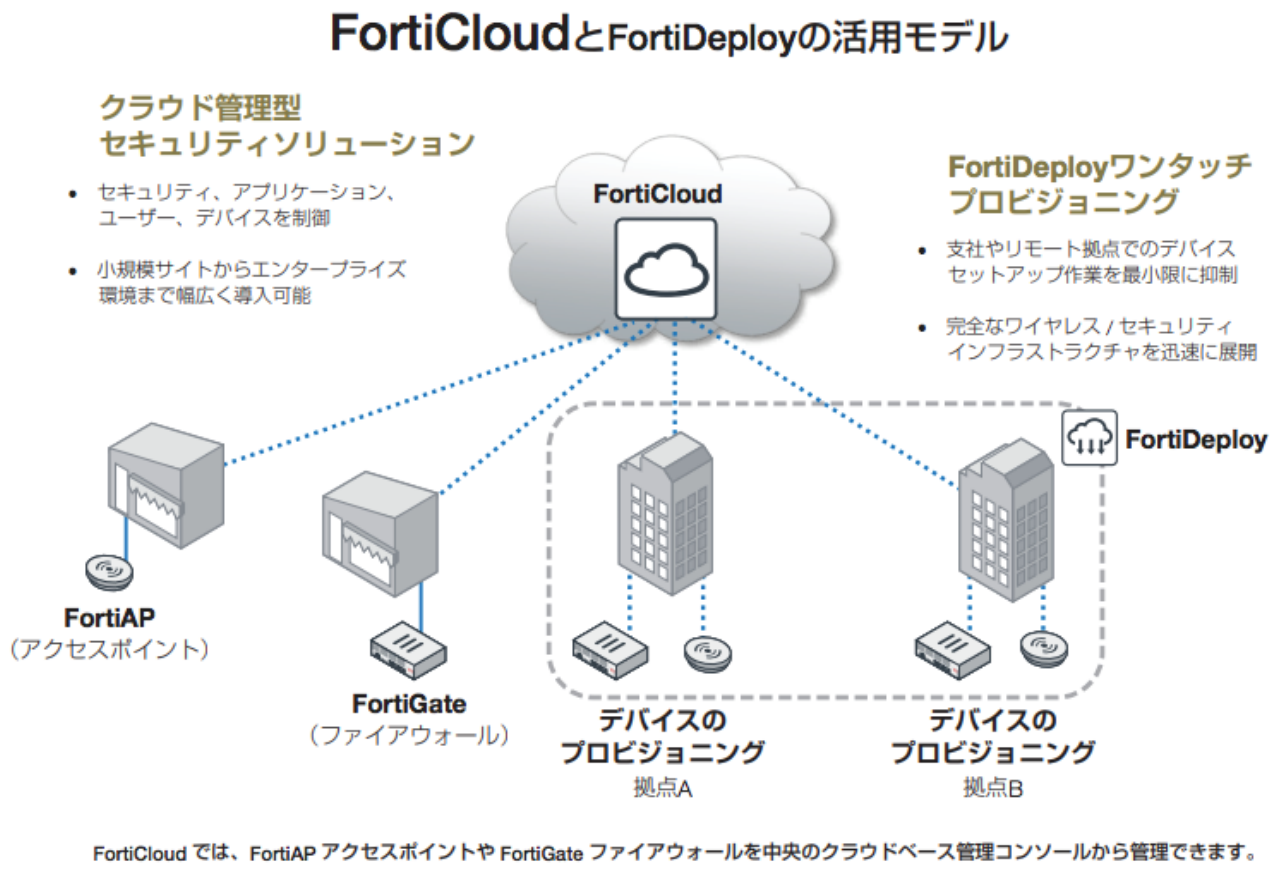
FortiGate/FortiWiFi/FortiAP の集中管理

・クラウド型ログストレージ

FortiGate/FortiWiFi/FortiAP のログ保存

・クラウド型サンドボックス（FortiSandbox Cloud）

FortiGate/FortiWiFi/FortiMail で疑わしいファイルをクラウド型サンドボックスで実行



製品・サービス名称	FortiCloud

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	世界で 40 万社を超えるお客様が、FortiCloud で FortiGate/FortiWiFi/FortiAP を管理されています。（2018 年 9 月末時点）
費用	FortiGate/FortiWiFi/FortiAP のいずれかをお持ちで FortiCloud にアカウントを開設いただくことでトライアル利用が可能です。基本的にはハードウェア（FortiGate/FortiWiFi/FortiAP）と機能に応じた利用ライセンス（1/3/5 年）をご購入いただく必要があります。詳細は弊社・販売代理店までお問い合わせください。
利用条件	弊社クラウドサーバーとの接続によりファイアウォールの設定を変更していただく必要がある場合があります。
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（https://www.fortinet.co.jp/partners.html　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（販売代理店に発注　　）	利用開始までの期間	登録日から即日利用可能
約款の有無	弊社までお問い合わせください	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	有・無・その他（ 99.99%　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	弊社までお問い合わせください	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社までお問い合わせください	QA 対応時間帯	弊社までお問い合わせください
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	弊社までお問い合わせください
計画停止の頻度	弊社までお問い合わせください	サービス停止の通知	弊社までお問い合わせください
ログの開示	弊社までお問い合わせください	第三者認証取得状況	ISO 9001:2008, NIST 800-53, SSAE16 & CSAE3416, SOC1

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：公共ビジネス本部 担当者・叡物秀一郎	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp_east@fortinet.com

製品・サービス名称	Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.co.jp/products/public-cloud-security/aws.html

■製品サービスの特長

Amazon Web Service 向けフォーティネットソリューション

・FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール

・FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール

・FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ

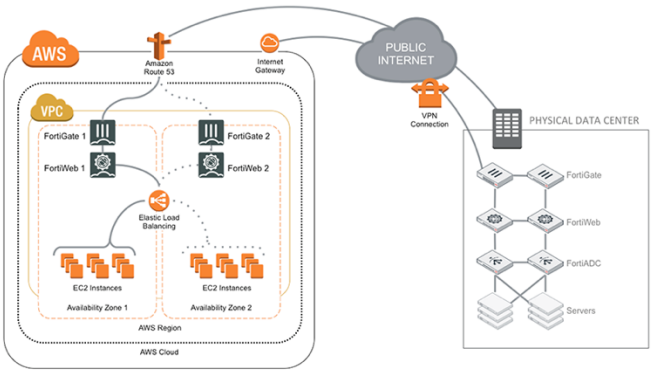
・FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート

・FortiManager 集中セキュリティ管理

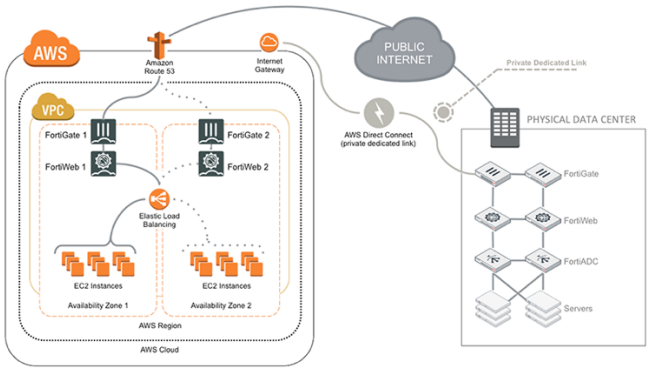
・FortiSandbox サンドボックス

・FortiSIEM セキュリティイベント管理

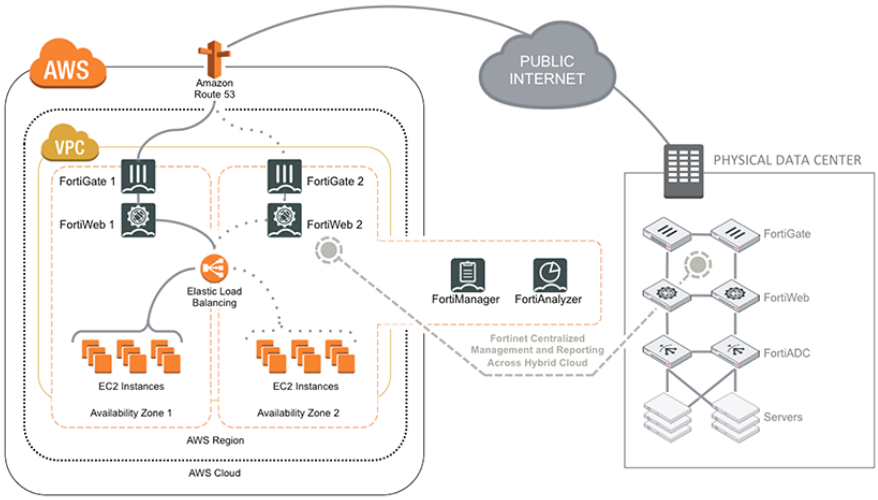
＜FortiGate による拠点間 VPN＞



＜FortiGate を使った Direct Connect＞



＜FortiAnalyzer/FortiManager によるアセットの一元管理＞



製品・サービス名称	Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（　　） 大学数（未公表　）校：利用大学名（　　）
費用	製品によってトライアルあり。FortiGate Next-Generation Firewall の場合、15 日間は無償利用ができ、それを超えると時間単位の課金体系に自動切り替わり。
利用条件	条件なし
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://www.fortinet.co.jp/partners.html　　）

■契約

申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	AWS 仕様に準じる
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	AWS 仕様に準じる		
実績稼働率	AWS 仕様に準じる	目標稼働率	AWS 仕様に準じる
ストレージ	AWS 仕様に準じる	バックアップ	AWS 仕様に準じる
データ暗号化	AWS 仕様に準じる	暗号化通信	AWS 仕様に準じる

■機能

SINET 接続	AWS 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	AWS 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	AWS 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	AWS 仕様に準じる	QA 対応時間帯	AWS 仕様に準じる
コンタクト方法	AWS 仕様に準じる	対応インシデント数	AWS 仕様に準じる
計画停止の頻度	AWS 仕様に準じる	サービス停止の通知	AWS 仕様に準じる
ログの開示	AWS 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：公共ビジネス本部 担当者・釼物秀一郎	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp_east@fortinet.com

製品・サービス名称	MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.co.jp/products/public-cloud-security/azure.html

■製品サービスの特長

Microsoft Azure 向けフォーティネットソリューション

・FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール

・FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール

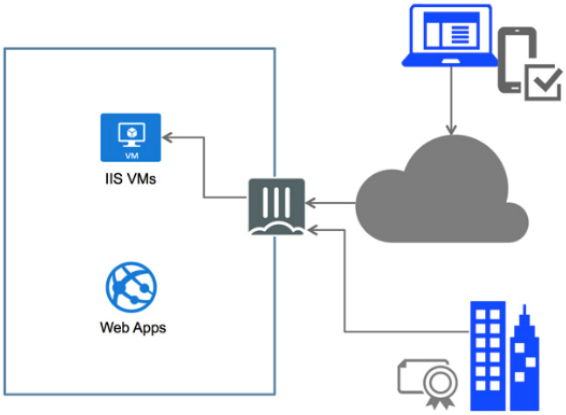
・FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ

・FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート

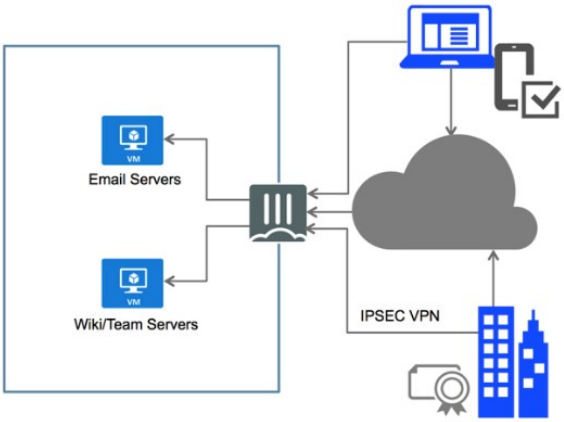
・FortiManager 集中セキュリティ管理

・FortiSandbox サンドボックス（2018 年内に提供開始予定）

＜FortiGate による DMZ 構築＞



＜FortiGate によるプライベートネットワーク構築＞



＜FortiMail による Office365（Exchange Online）セキュリティ＞

製品・サービス名称	MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（　　） 大学数（未公表　）校：利用大学名（　　）
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等
利用条件	条件なし
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://www.fortinet.co.jp/partners.html　　）

■契約

申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（東・西日本　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	Microsoft Azure 仕様に準じる		
実績稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる	目標稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる
ストレージ	Microsoft Azure 仕様に準じる	バックアップ	Microsoft Azure 仕様に準じる
データ暗号化	Microsoft Azure 仕様に準じる	暗号化通信	Microsoft Azure 仕様に準じる

■機能

SINET 接続	Microsoft Azure 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Microsoft Azure 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	Microsoft Azure 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる	QA 対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる
コンタクト方法	Microsoft Azure 仕様に準じる	対応インシデント数	Microsoft Azure 仕様に準じる
計画停止の頻度	Microsoft Azure 仕様に準じる	サービス停止の通知	Microsoft Azure 仕様に準じる
ログの開示	Microsoft Azure 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：公共ビジネス本部 担当者・釼物秀一郎	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp_east@fortinet.com

製品・サービス名称	**多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth on CLOUD」**
提供企業名	ファルコンシステムコンサルティング株式会社
紹介サイト URL	WisePoint Shibboleth（Shibboleth IdP v3 対応） ｜ WisePoint

■製品サービスの特長

学内外の Web システム、クラウドサービス、ネットワークにアクセスする際のセキュリティ強化と利用者の利便性を兼ね備えた、多要素認証＆シングルサインオン統合製品です。

学内の認証基盤を利用して SAML2.0 対応のクラウドサービスや学内の Web システムへ一度の認証でアクセスすることができ、認証方式も学内からは固定 ID、PW、学外からのアクセスは多要素認証を利用するなど、IP アドレスでの制御や、SP 単位での制御が可能です。

【製品機能】

・学認対応

・IdP 機能（Shibboleth IdP v3.3 対応）

・SP 機能（リバースプロキシ機能）

・ワンタイムパスワード認証機能（イメージングマトリクス、マトリックスコード、J パスワード、ソフトウェアトークン）

・SAML2.0、リバースプロキシ対応のシングルサインオン

・SP 単位でのアクセスコントロール機能

・LDAP、ActiveDirectory 連携

・ポータル機能

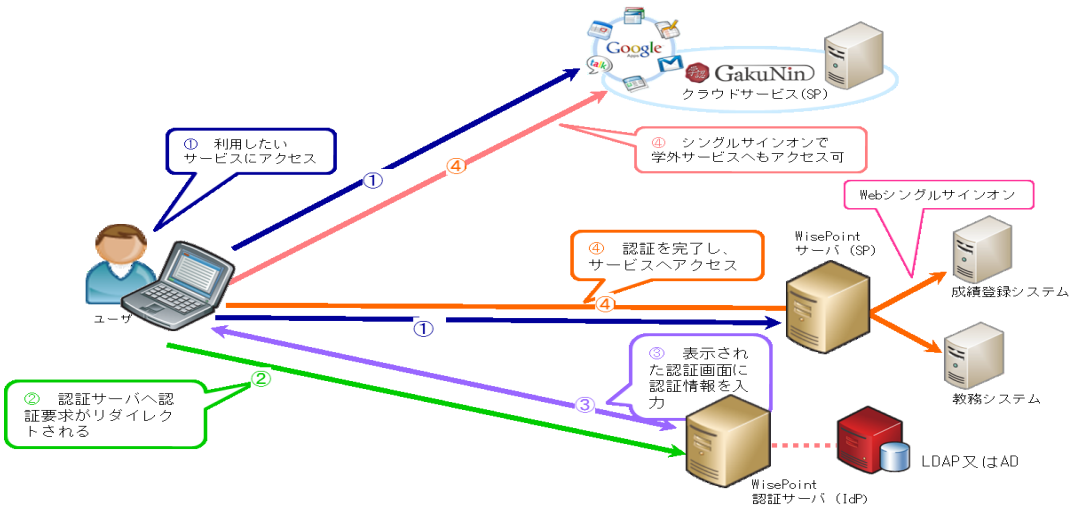
・管理者機能（WebGUI）

・PC、スマートデバイス対応

・各種ブラウザ対応（IE、Safari、Chrome）

・２０１９年より新たな機能追加予定（リスクベース認証、google Authenticator 対応）

【認証方式と認証フロー】



製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth on CLOUD」

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（３５０）社：利用企業名（全日空、近畿日本鉄道、東急電鉄、ファーストリテイリング、YKK-AP） 大学数（４０）校：利用大学名（九州大学、東北大学、鳥取大学、愛知教育大学、桃山学院大学、広島修道大学）
費用	・評価版ライセンスを無償にて提供 ・ライセンス費用は登録ユーザー数分を初回買取り。毎年サポート費用（20%）。設計、構築費用
利用条件	・ライセンスは登録ユーザー数に応じたボリュームディスカウント（初回買取） ・保守（初年度から発生）
支払方法	導入前ご購入、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：　http://wisepoint.jp/sales/#sub01　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	１週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日 9:30-17:30	QA 対応時間帯	平日 9：30-17：30
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

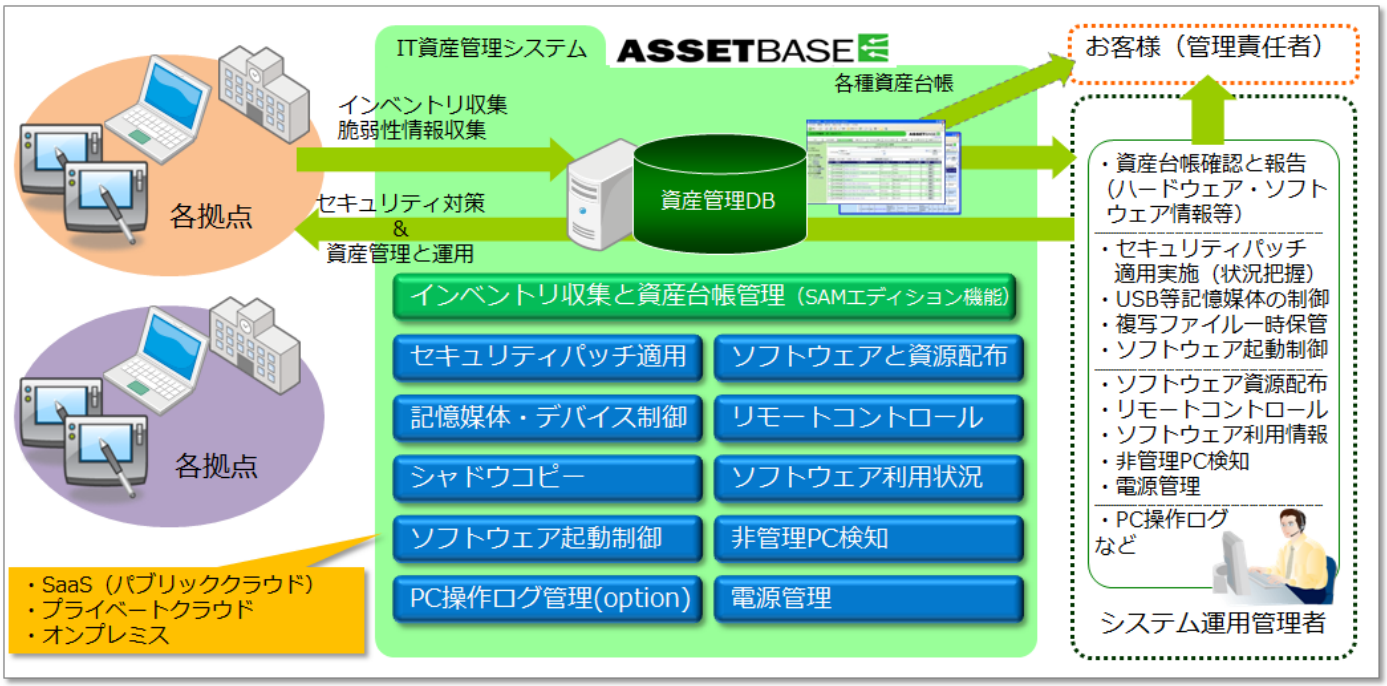
問合先	企業名：ファルコンシステムコンサルティング株式会社 部署名：営業本部 担当者・山下克美	電話番号：044-814-2512 FAX 番号：044-814-2514 Mail：yamashita2@falconsc.com

５．その他

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理　ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ASSETBASE の概要と実績

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面から、IT 資産の管理の重要性がますます高まっており、組織のリスクマネジメントとして必須のものとして認知されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいており、ASPIC（特定非営利活動法人　ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理

2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等

3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備

4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実

5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理　ASSETBASE

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	**・パブリック・プライベート** ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS **・SaaS**	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ **・その他（IT 資産管理）**

■一般事項

契約実績	大学実績（　約 70　）校：利用大学名（国立高専機構、京都大学、信州大学、慶應義塾、関西大学、　等） 民間実績（　約 50　）社：利用企業名（非公開）　他、自治体、教育委員会（小中高等学校）、私立学校等
費用	・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス＋サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料　　※トライアル（評価版）ご利用可能
利用条件	・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能　　・最低利用期間：1 年間（年間利用料制）
支払方法	請求サイクル：年次　支払方法：原則として前払、原則として振込支払（応相談）
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行各販売代理店　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	5 営業日（SaaS 型の場合）
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（ご利用約款に基づく）		
実績稼働率	有・無・その他（2017 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%　　） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

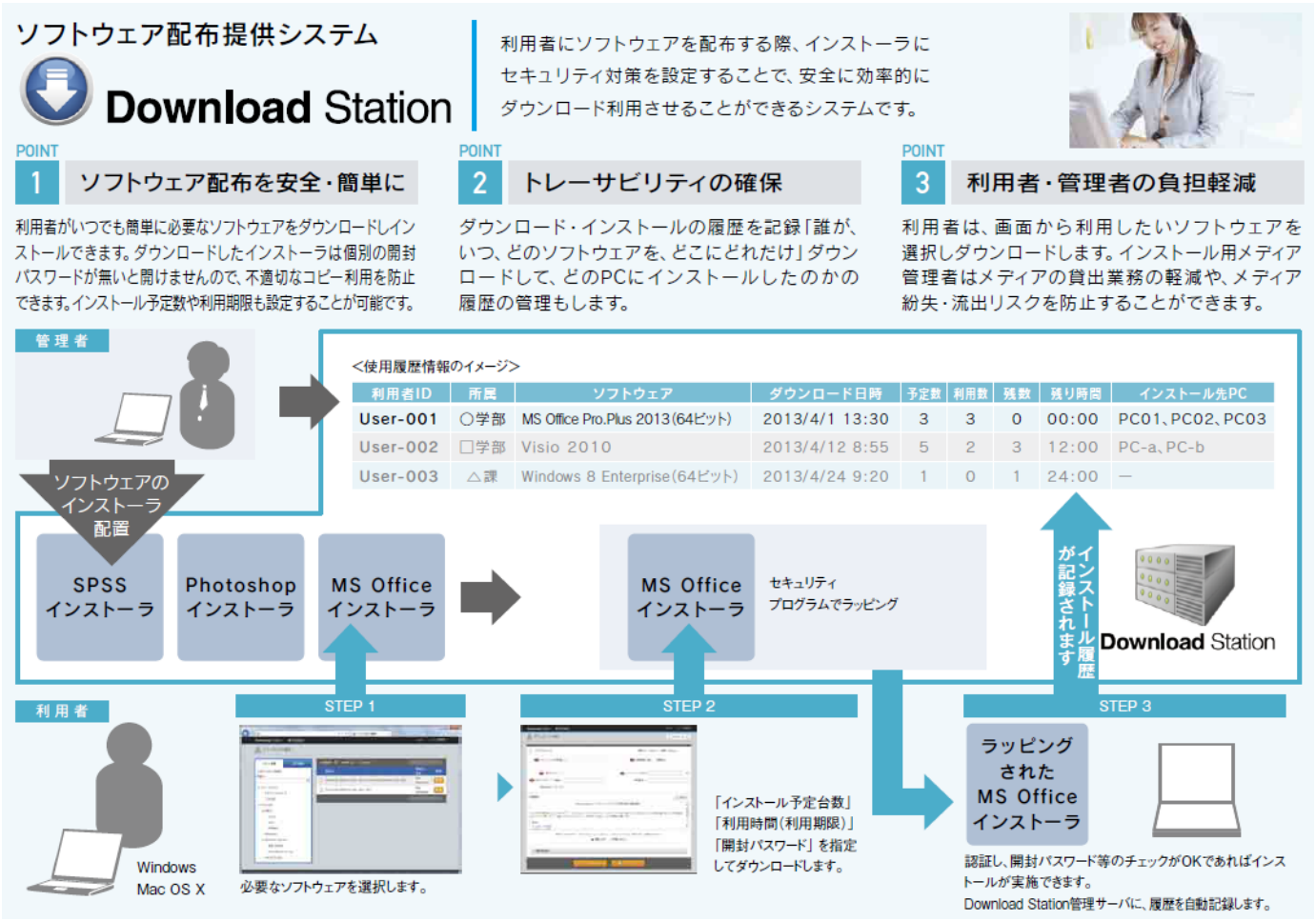
障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 2 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：abinfo@uchida.co.jp

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム　Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全･効率的な学内配布を支援！



■Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員･学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

【こんな課題を解決　1】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
【こんな課題を解決　2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担が大きい
【こんな課題を解決　3】 キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間が大きい
【こんな課題を解決　4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
【こんな課題を解決　5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。
「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム　Download Station

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　**・製品** ・その他（　　）	・パブリック　**・プライベート** ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ **・その他（ソフトウェア配布管理）**

■一般事項

契約実績	民間実績（　非公開　）社：利用企業名（非公開） 大学実績（　非公開　）校：利用大学名（筑波大学、香川大学、法政大学、中央大学、立命館大学、近畿大学　等）
費用	・初期費用：導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用：年間保守費用
利用条件	・ライセンス形態：システム単位（買取）　　・保守条件等：保守契約に基づく
支払方法	請求サイクル：年次　支払方法：原則として振込支払（応相談）
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行各販売代理店　　）

■契約

申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日（標準システム構築期間）　※別途環境構築が必要
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定

■信頼性

SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく （事例：99.9%以上　計画停止を除く）	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：ml-DSinfo@uchida.co.jp

製品・サービス名称	ウチダの学割　Microsoft Office 学生向け特別プラン　U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.uchida.co.jp/education/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス　Microsoft Office 学生向け学割特別プラン

■Microsoft Office 学生向け特別プラン U365 の概要

授業やゼミでのレポート作成、就職活動、資格試験対策、サークル活動まで、さまざまなシーンで Microsoft Office は学生にとって必須のソフトウェアですが、特別プライスで購入できる学割特別プランをご用意しました。

1. フルスペックのOfficeが、断然オトクに購入できます。卒業時に譲渡、卒業後も利用可能

2. 在学中のバージョンアップやPC買い替え時の再インストールなど無償でできます。

3. 大学の費用負担無し！　ECサイトとダウンロードサイトをクラウドで無償提供します。

製品・サービス名称	ウチダの学割　Microsoft Office 学生向け特別プラン　U365

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 **・その他（ソフトウェア販売）**	**・パブリック**・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS **・SaaS**	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ **・その他（学生サービス）**

■一般事項

契約実績	大学実績（　約 160　）校：利用大学名（筑波大学、大阪教育大学、学習院大学、駒澤大学　等多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名　　他、専門学校等
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ　　・最低利用期間：1 年間
支払方法	請求サイクル：無し　（学生が個人負担で Office を購入）
販売代理店	無、有（　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2017 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%　　） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：usisupport@u365.jp

製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System（UCS） Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/servers-unified-computing/index.html

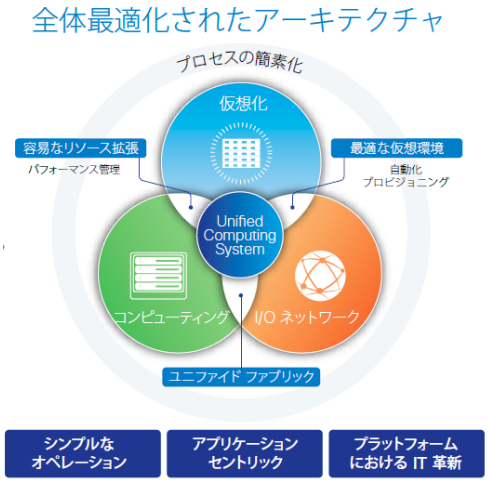
■製品サービスの特長

■Cisco Unified Computing System（UCS）

ストレージ接続およびネットワーク接続の統合をはじめ、あらゆるシステムリソースの仮想化を前提に設計された新世代コンピューティングシステムです。運用はよりシンプルに、TCO はより小さく、拡張性はより高く、クラウド時代に適合した新たなデータセンターを実現します。

UCS の特長

- シンプル:管理ポイントが少なく運用管理が容易
- 仮想環境最適化：ネットワークとサーバの融合による仮想環境への最適化
- 迅速性：サービスプロファイル機能による HW 設定の迅速化

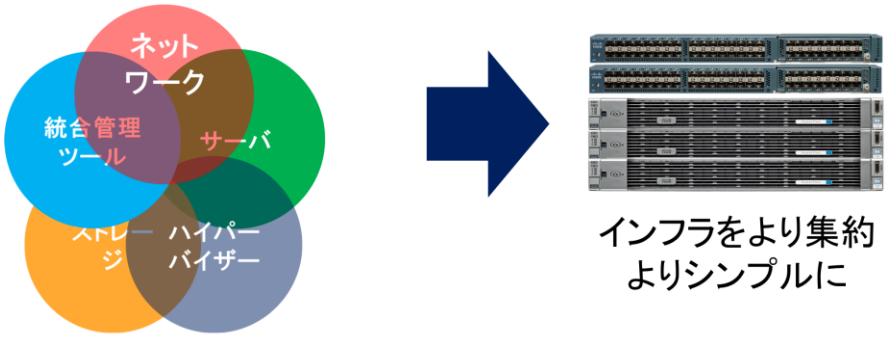


■Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ

UCS で培ってきたテクノロジーを最大限に生かしながら、コンピューティング、ストレージ、およびネットワークの各コンポーネントを一体化した次世代のハイパーコンバージドインフラソリューションです。迅速なデプロイメントを可能にし、かつ効率的なデータセンタープラットフォームを構築することができます。

HyperFlex の特長

- コンピューティング、ストレージだけでなく、ネットワークも統合
- 分散ファイルシステムで高いスループットを実現
- インライン重複排除、データ圧縮などの機能による効率的なストレージ利用
- vCenter による一元管理



製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System(UCS)/Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（官公庁、製造業、金融業、流通・サービス業、商社） 大学数（多数）校：利用大学名（東洋大学、埼玉大学、東京農工大学、近畿大学、立教大、日本女子体育大学など）
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。
利用条件	弊社までお問い合わせください。
支払方法	弊社までお問い合わせください。
販売代理店	無、有（代理店名：シスコパートナー）

■契約

申込み方法	注文書・その他（パートナーへの発注）	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無（パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/D
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	※（例：１ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：シスコシステムズ報道会社 部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部 インダストリー事業推進部　文教担当 担当者：見松利恵	電話番号：03-6434-2618 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

６．比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.6 から P.133 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの１部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表１

カタログ掲載情報	掲載区分	1．教育支援系				
	項番	1．(1)	1．(2)	1．(3)	1．(4)	1．(5)
	掲載ページ	6	8	10	12	14
製品・サービス名		Microsoft 365 Education	クラウド コンテンツ マネジメント「Box」	クラウド型パソコン教室サービス	デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』	Cisco WebEx, Cisco TelePresence
提供企業名		日本マイクロソフト	Box Japan	ユニアデックス	富士通	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	－	－	○
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	－	－	－	－
	ＰａａＳ	－	－	－	－	－
	ＳａａＳ	○	○	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	○	－	○	○
	研究支援	－	○	－	－	○
	事務支援	－	○	－	－	○
	情報インフラ	○	○	○	－	○
	その他	－	－	－	－	－
契約実績	民間	多数	多数	－	1	4000社
	大学	多数	多数	1	3	多数
契約	申込方法	代理店経由手続き	営業経由手続き	契約書	営業経由手続き	営業経由手続き
	利用開始までの期間	契約完了後	代理店に準ずる	個別対応	2週間～1ケ月間	2週間
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	×	×	○	未定	○
	データ保存場所	国内	国内・海外	国内	国内	国内・海外
	データ削除規定	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(99.9%)	○	○(相談)	×	×
	実績稼働率	○(99.98%)	非公開	×	未測定	○(99.99%)
	目標稼働率	○	○	×	×	○(100%)
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	×	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	○	×	×
	VPN接続	○	○	個別対応	×	×
	学認対応	△(一部対応)	○	×	△(対応予定)	×
	LDAP連携	○	×(AD可)	○	×	契約による
	管理ツール	○	○	×	○	○
	API公開	○(一部公開)	○	×	△(対応予定)	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D電話対応	代理店サービスに準ずる	24H×365D	平日営業時間	24H×365D
	QA対応時間帯	24H×365D	代理店サービスに準ずる	平日営業時間	平日営業時間	24H×365D
	コンタクト方法	電話・メール	代理店サービスに準ずる	電話・メール	メール	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	代理店サービスに準ずる	別途相談	無制限	無制限
	計画停止の頻度	○	原則なし	別途相談	○(月1回)	適宜
	サービス停止の通知	事前通告	原則なし	○	ホームページ通知	有
	ログの開示	ログの種類により違い	○	×	検討中	○(要問合)
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表２

カタログ掲載情報	掲載区分	1．教育支援系				
	項番	1．(6)	1．(7)	1．(8)	1．(9)	1．(10)
	掲載ページ	16	18	20	22	24
製品・サービス名		Cisco Webex Teams, Cisco Webex Board	Amazon WorkSpaces	Amazon Chime	echo360	Prime Learning 大学向けのeポートフォリオ　プラットフォーム
提供企業名		シスコシステムズ	Amazon Web Services	Amazon Web Services	SCSK	SCSK
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	○	－	－	○	○
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	○
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	－	－	－	－
	ＰａａＳ	－	○	－	－	－
	ＳａａＳ	○	－	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	－	－
	事務支援	○	○	○	－	－
	情報インフラ	○	○	○	－	－
	その他	－	○	○	－	－
契約実績	民間	数百社	多数	多数	－	－
	大学	数十校	多数	多数	実績有り	実績有り
契約	申込方法	代理店経由手続き	オンライン	オンライン	契約締結	契約締結
	利用開始までの期間	2週間	15分程度	15分程度	3ヶ月～	6ヶ月～
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	○	その他	その他	別途相談	別途相談
	データ保存場所	海外(北米)	国内・海外	国内・海外	海外	国内
	データ削除規定	○	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	別途相談	別途相談
	準拠法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内・海外	国内・海外	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	○(別途相談)	○(別途相談)
	実績稼働率	○(99.99%)	その他	その他	○	○
	目標稼働率	○(100%)	○	○	○	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	×	△(その他)	△(その他)
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	○	×	△(対応予定)	△(対応予定)
	VPN接続	×	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	△(Shibboleth対応)	△(Shibboleth対応)
	LDAP連携	契約による	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	プランにより異なる	プランにより異なる	24h×365D可能	24h×365D可能
	QA対応時間帯	24H×365D	プランにより異なる	プランにより異なる	別途相談	別途相談
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	別途相談	別途相談
	計画停止の頻度	適宜	計画停止無	計画停止無	有	有
	サービス停止の通知	有	規定無し	規定無し	別途相談	別途相談
	ログの開示	○(要問合)	○	○	○(保守条件による)	○(保守条件による)
	第三者認証取得状況	×	○	○	○	○

比較表３

カタログ掲載情報	掲載区分	2. 研究支援系				
	項番	2.（1）	2.（2）	2.（3）	2.（4）	2.（5）
	掲載ページ	28	30	32	34	36
製品・サービス名		VW4C	XTREME DNA HPC Cloud	Amazon Machine Learning	Amazon SageMaker	AWS IoT Core
提供企業名		エイチ・シー・ネットワークス	エイチ・シー・ネットワークス	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	－	－	－	－
	ＰａａＳ	－	－	○	－	○
	ＳａａＳ	○	○	－	○	－
利用用途分類	教育支援	－	－	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	－	－	○	○	○
	情報インフラ	－	－	○	○	○
	その他	－	－	○	○	○
契約実績	民間	非公開	－	多数	多数	多数
	大学	非公開	－	多数	多数	多数
契約	申込方法	営業経由手続き	営業経由手続き	オンライン	オンライン	オンライン
	利用開始までの期間	1週間	1週間	15分程度	15分程度	15分程度
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	○	○	その他	その他	その他
	データ保存場所	利用クラウドに依存	利用クラウドに依存	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規定	○	○	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	×	×	×
	実績稼働率	－	－	その他	その他	その他
	目標稼働率	非公開	非公開	○	○	○
	ストレージ	利用クラウドに依存	利用クラウドに依存	○	○	○
	バックアップ	利用クラウドに依存	利用クラウドに依存	×	×	×
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	－	○	○	○
	VPN接続	×	－	○	○	○
	学認対応	×	－	×	×	×
	LDAP連携	×	－	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	－	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・その他	電話・メール	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	有	計画停止無	計画停止無	計画停止無	計画停止無
	サービス停止の通知	有	－	規定無し	規定無し	規定無し
	ログの開示	×	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表４

カタログ掲載情報	掲載区分	2．研究支援系		3．事務支援系		
	項番	2．(6)	2．(7)	3．(1)	3．(2)	3．(3)
	掲載ページ	38	40	44	46	48
製品・サービス名		さくらのレンタルサーバ リセールサービス	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity研究者業績サービス	音声データ利活用ソリューション	TWX-21 MRO 集中購買サービス	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん
提供企業名		さくらインターネット	富士通	日立製作所	日立製作所	リコー
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	ー	ー	○	ー	ー
	その他	ー	ー	ー		ー
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	ー	ー	ー	ー	ー
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	ー	ー	ー	ー	ー
	ＰａａＳ	ー	ー	-	-	ー
	ＳａａＳ	○	○	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	ー	ー	ー	ー
	研究支援	○	○	ー	ー	ー
	事務支援	○	ー	○	○	○
	情報インフラ	○	ー	ー	ー	ー
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
契約実績	民間	非公開	ー	非公開	700	非公開
	大学	非公開	9	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書 オンライン	注文書・契約書	営業経由手続き	営業経由手続き	注文書・申込書
	利用開始までの期間	5営業日	別途相談	別途相談	2ヶ月～	約1週間
	約款の有無	○	○	別途相談	○	○
	約款修正の可能性	○	○	別途相談	×	×
	データ保存場所	国内	国内	国内	国内	海外
	データ削除規定	○	○	別途相談	×	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	ー	別途相談	×	×
	実績稼働率	○（99.99%以上）	×	別途相談	○（99.5%以上）	×
	目標稼働率	非公開	×	別途相談	非公開	×
	ストレージ	○	×	別途相談	○	ー
	バックアップ	○	○	別途相談	○	○
	データ暗号化	×	×	別途相談	×	○
	暗号通信化	○	○	別途相談	○	○
機能	SINET接続	×	対象外	×	×	×
	VPN接続	×	対象外	×	×	×
	学認対応	×	○	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	×	○	○
	API公開	×	×	別途相談	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間
	コンタクト方法	電話・メール	Webサイト	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	別途相談	個別見積	無制限
	計画停止の頻度	必要の応じ実施	月2回夜間	別途相談	月1回	特定月の第1日曜
	サービス停止の通知	1週間前	3ケ月前	別途相談	事前通知	ー
	ログの開示	△（1部）	×	○	○（コンテンツ）	×
	第三者認証取得状況	○	○	別途相談	○	ー

比較表５

カタログ掲載情報	掲載区分	３．事務支援系			４．情報インフラ系	
	項番	３．（４）	３．（５）	３．（６）	４．（１）	４．（２）
	掲載ページ	50	52	54	58	60
製品・サービス名		RICOH カンタンストレージ活用 for Box / Dropbox / OneDrive for Business / （Google Drive）	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス	DreamCampus（ドリームキャンパス）for Cloud	USiZE（ユーサイズ）	NECクラウドサービス（SINET接続）
提供企業名		リコー	リコー	SCSK	SCSK	日本電気
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	○	－	－
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	－	○	○	○
	プライベート	－	－	○	○	－
	その他	－	○	－	－	○
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	－	○	○	○
	ＰａａＳ	－	－	－	○	○
	ＳａａＳ	○	○	○	○	－
利用用途分類	教育支援	－	○	－	－	－
	研究支援	－	○	－	－	－
	事務支援	○	○	○	－	－
	情報インフラ	－	○	－	○	○
	その他	－	○	－	－	－
契約実績	民間	非公開	－	－	約400	非公開
	大学	非公開	200以上	63	10	8
契約	申込方法	注文書・申込書	注文書	契約書	契約書締結	注文書
	利用開始までの期間	約１週間	別途相談	別途相談	即日～10営業日	最短15分
	約款の有無	○	契約書による	○	○	○
	約款修正の可能性	×	契約書による	○	○	○
	データ保存場所	海外	国内	国内	国内・海外	国内
	データ削除規定	○	×	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内・海外	国内
信頼性	SLA	×	×	別途相談	○（99.99%）	○
	実績稼働率	×	－	○	○（99.993%）	非公開
	目標稼働率	×	－	○	○（99.993%）	○
	ストレージ	－	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	△（その他）	△（その他）	○
	データ暗号化	○	×	個別構築可能	個別構築可能	×
	暗号通信化	○	○	個別構築可能	個別構築可能	○
機能	SINET接続	×	○	個別構築可能	×	○
	VPN接続	×	○	○	○	○
	学認対応	×	○	個別構築可能	×	×
	LDAP連携	×	○	個別構築可能	個別構築可能	×
	管理ツール	○	○	モデル毎に異る	モデルにより異なる	○
	API公開	×	×	モデル毎に異る	モデルにより異なる	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間帯	別途相談	24H×365D	24H×365D
	QA対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間帯	別途相談	24H×365D（メール）	24H×365D 可能
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	Web、メール・電話
	対応インシデント数	無制限	無制限	別途相談	無	無制限
	計画停止の頻度	特定月の第１日曜	計画停止無	－	不定期	計画停止無
	サービス停止の通知	－	1ヶ月前	別途相談	有	1ヶ月前
	ログの開示	×	×	○（保守条件による）	○（モデルで異なる）	○（FW、LB）
	第三者認証取得状況	－	○	○	○	○

比較表 6

カタログ掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4.（3）	4.（4）	4.（5）	4.（6）	4.（7）
	掲載ページ	62	64	66	68	70
製品・サービス名		Microsoft Azure	エンタープライズクラウドサービス	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）	出前クラウドサービス	Cisco AMP for Endpoints
提供企業名		日本マイクロソフト	日立製作所	日立製作所	日立製作所	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	―	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	―
クラウド区分	パブリック	○	○	―	―	―
	プライベート	―	―	―	○	○
	その他	―	―	○	―	―
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	○	○	―	○	―
	ＰａａＳ	○	―	○	―	―
	ＳａａＳ	―	―	―	―	○
利用用途分類	教育支援	―	○	○	○	―
	研究支援	○	○	○	○	―
	事務支援	―	○	○	○	―
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	―	○	○	○	―
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	多数
	大学	多数	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	代理店 オンライン	営業経由手続き	営業経由手続き	営業経由手続き	パートナーへの発注
	利用開始までの期間	即日	5営業日～	最短3～5営業日	3ヶ月～	数営業日
	約款の有無	―	×	×	×	パートナ契約に依存
	約款修正の可能性	―	別途相談	その他	契約書による	○
	データ保存場所	国内	国内	国内	国内	国内・海外
	データ削除規定	○	○	×	―	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	-
信頼性	SLA	○（99.95/99.9%）	別途相談	対象外	×	×
	実績稼働率	非公開	○（99.999%）	対象外	対象外	―
	目標稼働率	○（99.95/99.9%）	○（99.99%）	○（99.9%）	対象外	―
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	対象外	対象外	○
	データ暗号化	○	×	×	○	×
	暗号通信化	○	×	○	対象外	○
機能	SINET接続	○	×	×	×	×
	VPN接続	○	○	○	○	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	アプリに依存	×	×	別途相談	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○（1部）	×	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間帯
	QA対応時間帯	24H×365D	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・Web経由	電話・メール	電話・メール	メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限（Web経由）	無制限	個別見積	年間5件まで	無制限
	計画停止の頻度	○（不定期）	最大1回/月	1回/月	原則無停止	不定期
	サービス停止の通知	1週間前	1ヶ月前	1ヶ月前	個別調整	緊急時は数日前
	ログの開示	○	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 7

カタログ掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4.（8）	4.（9）	4.（10）	4.（11）	4.（12）
	掲載ページ	72	74	76	78	80
製品・サービス名		Cisco CloudCenter	Cisco Cloudlock	Cisco Container Platform	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション	Cisco Umbrella
提供企業名		シスコシステムズ	シスコシステムズ	シスコシステムズ	シスコシステムズ	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	ー	○	ー	ー	○
	製品	○	ー	○	○	ー
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
クラウド区分	パブリック	-	ー	ー	○	ー
	プライベート	-	○	-	ー	○
	その他	○	ー	○	ー	ー
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	ー	ー	ー	ー	ー
	ＰａａＳ	ー	ー	ー	ー	ー
	ＳａａＳ	ー	○	ー	○	○
利用用途分類	教育支援	○	ー	○	ー	ー
	研究支援	○	ー	○	ー	ー
	事務支援	○	ー	○	ー	ー
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	ー	○	ー	ー
契約実績	民間	150	多数	ー	多数	多数
	大学	12	未公表	ー	多数	未公表
契約	申込方法	パートナへの発注	パートナーへ発注	パートナーへの発注	営業問合せ	パートナーへ発注
	利用開始までの期間	ー	数営業日	ー	営業問合せ	数営業日
	約款の有無	パートナの契約に依存	パートナー契約に依存	パートナ契約に依存	営業問合せ	パートナー契約に依存
	約款修正の可能性	○	○	○	営業問合せ	○
	データ保存場所	ー	海外	ー	国内・海外	国内
	データ削除規定	ー	○	ー	○	ー
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	ー	国内	ー	ー
信頼性	SLA	ー	ー	ー	○（99.99%）	×
	実績稼働率	ー	○（100%）	ー	非公開	○（100%）
	目標稼働率	ー	○（99.999%）	ー	○（99.99%）	○（99.999%）
	ストレージ	ー	○	ー	○	○
	バックアップ	ー	○	ー	○	○
	データ暗号化	ー	×	ー	○	×
	暗号通信化	ー	○	ー	○	○
機能	SINET接続	ー	×	ー	営業問合せ	×
	VPN接続	ー	×	ー	○	×
	学認対応	ー	×	ー	営業問合せ	×
	LDAP連携	△（対応予定）	×	ー	○	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D、8H×5D	平日営業時間帯	24H×365D、8H×5D	24H×365D	平日営業時間帯
	QA対応時間帯	24H×365D、8H×5D	平日営業時間帯	24H×365D、8H×5D	24H×365D	平日営業時間帯
	コンタクト方法	ー	メール	ー	電話・メール・管理ツール	メール
	対応インシデント数	ー	無制限	ー	無制限	無制限
	計画停止の頻度	ー	不定	ー	計画停止無	不定
	サービス停止の通知	ー	緊急の場合は数日前	ー	停止予定無	緊急の場合は数日前
	ログの開示	ー	○	ー	営業問合せ	○
	第三者認証取得状況	ー	○	ー	○	○

比較表 8

カタログ掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4.（13）	4.（14）	4.（15）	4.（16）	4.（17）
	掲載ページ	82	84	86	88	90
製品・サービス名		アマゾン ウェブ サービス（AWS）	Amazon Elastic Compute Cloud（Amazon EC2）	Amazon Simple Storage Service（Amazon S3）	Amazon Relational Database Service（Amazon RDS）	Amazon Redshift
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	○	○	○	－	－
	ＰａａＳ	○	－	－	○	○
	ＳａａＳ	○	－	－	－	－
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	多数	多数	多数	多数	多数
	大学	多数	多数	多数	多数	多数
契約	申込方法	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
	利用開始までの期間	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	その他	その他	その他	その他	その他
	データ保存場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規定	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	○	○	○	○	×
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	取得可能	取得可能	取得可能	○	×
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	QA対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	計画停止無	計画停止無	計画停止無	計画停止無	計画停止無
	サービス停止の通知	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表９

カタログ掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4.（18）	4.（19）	4.（20）	4.（21）	4.（22）
	掲載ページ	92	94	96	98	100
製品・サービス名		Amazon EMR	Amazon Elasticsearch Service	AWS Lambda	Amazon DynamoDB	Amazon Kinesis
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	－	－	－	－
	ＰａａＳ	○	○	○	○	○
	ＳａａＳ	－	－	－	－	－
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	多数	多数	多数	多数	多数
	大学	多数	多数	多数	多数	多数
契約	申込方法	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
	利用開始までの期間	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度	15分程度
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	その他	その他	その他	その他	その他
	データ保存場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規定	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ	ホワイトペーパ
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	×	○	×
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	×	×	×	○	×
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号通信化	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	QA対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	計画停止無	計画停止無	計画停止無	計画停止無	計画停止無
	サービス停止の通知	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し	規定無し
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表１０

カタログ掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4.（23）	4.（24）	4.（25）	4.（26）	4.（27）
	掲載ページ	102	104	106	108	110
製品・サービス名		Amazon Route 53	さくらのクラウド	さくらの専用サーバ	さくらのVPS	Symantec CloudSOC
提供企業名		Amazon Web Services	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	シマンテック
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	－	○	○	○	－
	ＰａａＳ	○	－	－	－	○
	ＳａａＳ	－	－	－	－	－
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	－
	研究支援	○	○	○	○	－
	事務支援	○	○	○	○	－
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	－	－	－	－
契約実績	民間	多数	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	多数	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	オンライン	注文書 オンライン	注文書 オンライン	注文書 オンライン	代理店経由手続き
	利用開始までの期間	15分程度	即時	即時～数営業日	即時	当日～数週間
	約款の有無	○	○	○	○	○
	約款修正の可能性	－	○	○	○	×
	データ保存場所	国内・海外	国内	国内	国内	国内・海外
	データ削除規定	ホワイトペーパ	○	○	○	○
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(100%)	○(99.95%)	○(99.95%)	×	○
	実績稼働率	その他	非公開	非公開	非公開	○
	目標稼働率	○	非公開	非公開	非公開	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	×	○	×	○	×
	データ暗号化	×	×	×	×	○
	暗号通信化	×	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	○	○	○	×
	VPN接続	×	○	○	×	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	QA対応時間帯	プランにより異なる	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール・Web
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	計画停止無	適宜	適宜	適宜	適宜
	サービス停止の通知	規定無し	1週間前	1週間前	1週間前	事前通知
	ログの開示	○	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	×

比較表１１

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系				
	項番	4．(28)	4．(29)	4．(30)	4．(31)	4．(32)
	掲載ページ	112	114	116	118	120
製品・サービス名		Symantec Web Security Service (WSS)	Symantec Email Security.cloud (ESS)	FortiCloud	Amazon Web Service向けパブリッククラウドセキュリティ	MS Azure向けパブリッククラウドセキュリティ
提供企業名		シマンテック	シマンテック	Fortinet Inc.	Fortinet Inc.	Fortinet Inc.
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	―	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	―
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	―	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	―
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	―	―	―	○	○
	ＰａａＳ	○	―	―	○	○
	ＳａａＳ	―	○	○	―	―
利用用途分類	教育支援	―	―	―	―	―
	研究支援	―	―	―	○	○
	事務支援	―	―	―	―	―
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	―	―	―	―	―
契約実績	民間	非公開	35000社以上	―	多数	多数
	大学	非公開	1000校以上	―	未公開	未公開
契約	申込方法	代理店経由手続き	代理店経由手続き	代理店	代理店・オンライン	代理店・オンライン
	利用開始までの期間	当日～数週間	当日～数週間	即日利用可能	即日利用可能	即日利用可能
	約款の有無	○	○	ご相談	―	―
	約款修正の可能性	○(代理店による)	○(代理店による)	ご相談	―	―
	データ保存場所	国内	海外	海外	国内・海外	国内
	データ削除規定	×	×	―	AWS仕様に準じる	―
	準拠法	日本国法	日本国法	海外法規	海外法規	海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	海外	海外	海外
信頼性	SLA	○	○	×	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	実績稼働率	○	○	非公開	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	目標稼働率	○	○	○(99.99%)	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	ストレージ	○	○	○	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	バックアップ	×	○	○	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	データ暗号化	○	×	○	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	暗号通信化	○	○	○	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
機能	SINET接続	×	×	×	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	VPN接続	○	×	×	○	○
	学認対応	×	×	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	LDAP連携	○	○	×	アプリに依存	アプリに依存
	管理ツール	○	○	○	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	API公開	○	○	○	―	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	QA対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	コンタクト方法	電話・メール・Web	電話・メール・Web	メール	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	対応インシデント数	無制限	無制限	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	計画停止の頻度	適宜	適宜	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	サービス停止の通知	事前通知	事前通知	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	ログの開示	○	○	別途相談	AWS仕様に準じる	Azure仕様に準じる
	第三者認証取得状況	×	×	○	―	―

比較表１２

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系	5．その他			
	項番	4．(33)	5．(1)	5．(2)	5．(3)	5．(4)
	掲載ページ	122	126	128	130	132
製品・サービス名		多要素認証シングルサインオン製品「WisePoint Shibboleth on CLOUD」	IT資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア配布提供システム Download Station	Microsoft Office 学割特別プラン U365	Cisco Unified Computing System(UCS)
提供企業名		ファルコンシステムコンサルティング	内田洋行	内田洋行	内田洋行	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	－	－	－
	製品	○	－	○	－	○
	その他	－	－	－	○	－
クラウド区分	パブリック	○	○	－	○	－
	プライベート	○	○	○	－	○
	その他	－	－	－	－	－
パブリッククラウド区分	ＩａａＳ	○	－	－	－	－
	ＰａａＳ	－	－	－	－	－
	ＳａａＳ	－	○	－	○	－
利用用途分類	教育支援	－	－	－	－	－
	研究支援	－	－	－	－	－
	事務支援	－	－	－	－	－
	情報インフラ	○	－	－	－	○
	その他	－	○	○	○	－
契約実績	民間	350	約50	非公開	対象外	多数
	大学	40	約70	非公開	約160	多数
契約	申込方法	注文書	営業経由利用申込み	営業経由利用申込み	営業経由利用申込み	パートナーへの発注
	利用開始までの期間	1週間	5営業日(SaaS)	5営業日	10営業日程度	－
	約款の有無	－	○	○	×	パートナ契約に依存
	約款修正の可能性	－	○	○	×	○
	データ保存場所	－	国内	クラウドに依存	国内	－
	データ削除規定	－	○	相談	○	－
	準拠法	－	日本国法	クラウドに依存	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内を想定	国内	国内
信頼性	SLA	－	○(約款による)	クラウドに依存	○(24H365D)	－
	実績稼働率	－	○(99.99%以上)	クラウドに依存	○(99.99%以上)	－
	目標稼働率	－	○(99.9%)	クラウドに依存	○(99.9%)	－
	ストレージ	－	○	クラウドに依存	○	－
	バックアップ	－	○	○	○	－
	データ暗号化	－	×	×	○	－
	暗号通信化	－	○	○	○	－
機能	SINET接続	－	相談	相談	×	－
	VPN接続	－	○	○	×	－
	学認対応	○	相談	相談	×	－
	LDAP連携	○	○	○	×	○
	管理ツール	○	○	○	×	○
	API公開	×	×	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	10:00－16:00	24H×365D、8H×5D
	QA対応時間帯	平日営業時間	平日営業時間	平日営業時間	10:00－16:00	24H×365D、8H×5D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール	電話・メール・その他
	対応インシデント数	－	無制限	無制限	無制限	－
	計画停止の頻度	－	○(年2回)	導入環境に依存	○(年1回)	－
	サービス停止の通知	－	2週間前	顧客規程に依存	2週間前	－
	ログの開示	○	○	○	×	－
	第三者認証取得状況	－	○	○	○	－

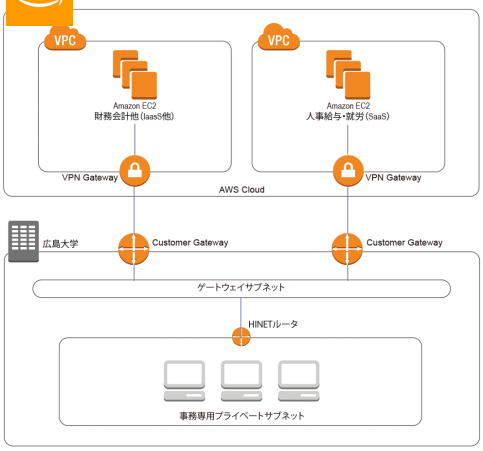
特集「大学におけるクラウド導入事例」

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいると思われる。そこで各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載することにした。

アマゾン ウェブ サービス　大学導入事例

アマゾン ウェブ サービス(AWS)のクラウドプラットフォームは、日本でも数多くのお客様にご利用いただいています。大学における学務、人事・会計のような基幹システムから、教育での利用、研究室での利用といった規模の大小にかかわらず、幅広い用途で採用されています。こちらではお客様事例の一例をご紹介します。

会計・人事システム



広島大学

・クラウド利用についてのガイドラインを制定。
・運用の自動化 により利用効果を最大化
　- 運用タイムチャートに合わせたインスタンス数・タイプでの利用
　- 運用ルールの明確化とそのコード化
・ Web公開にAmazon S3のWeb配信機能を利用して大幅なコスト削減

IT 活用面での課題

従来はオンプレミスで基幹業務のシステム運用を行っていましたが、物理システムおよびデータの将来的な災害・障害対策をどのように行うかを検討していました。また、システムを拡張するための環境構築も必要であったことに加え、既存のオンプレミスのインフラも経年劣化していたため、刷新する必要がありました。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「検討にあたっては、クラウドサービス各社と、オンプレミスでの更新での比較を行いました。具体的には他社の導入事例や、プロバイダー側からのサポート情報といったものに加え、以下のような点を重視しました。」

- 業務に応じたサービスの充実度やスペックの拡張性
- 地震などの大規模災害など、BCP（事業継続計画）観点での対策
- データベースや SAP を使った業務システムとの親和性
- サーバーおよび周辺機器の設置場所における空きスペースの確保

「こうした比較検討の結果、拡張性や信頼性の面で AWS が最も使いやすいことがわかりました。また、AWS がSAP ERPを本番環境上で実装可能であるという認証を取得したこともあり、AWS の採用を決定しました。AWSを利用することにより、インフラ構築を迅速に行うことができるため、導入決定から本番環境の稼働まで、SAP 環境で 10 ヶ月ほどでリリースすることができました。」

「また、人事・給与システムや就労管理に、基幹業務システムである「COMPANY」を利用していますが、こちらも移行決定から、3 ヵ月ほどでリリースすることができました。」

https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/hiroshima-university/

中央大学

研究でのAWSの活用

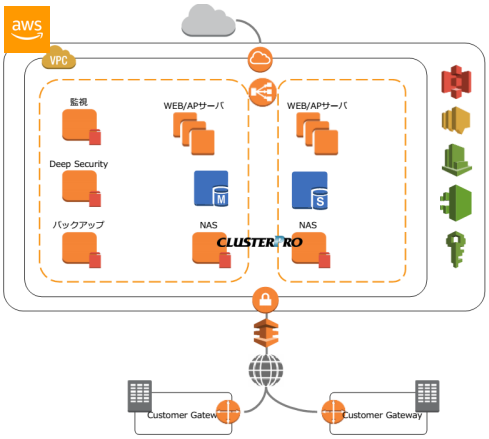
国内外の津波の被災調査やシミュレーション環境、街づくりの研究に必要なHPCの分野においてAWSクラウドを採用。クラウドを活用することで、スーパーコンピュータを用いて行うような高精細で高精度な計算を安全かつ気軽な環境で実現しています。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「津波の研究において、津波による破壊・避難にかかる計算を行おうとすると、高精細かつ、高精度な計算が必要とされます。他社との比較検討の中で、決め手になったのは、世界中どこでも使えそうだというところに加えて、非常にセキュリティーがしっかりしているというところでの安心感というところです。他方で、コストとしては計算機を購入することと比較すると若干割高なものの、自分たちが使いたいときにその場で使えるというところは非常に大きなメリットを感じています。特に今、大学で働いていますと学生さんたちがたくさんいます。その学生さんたちが自分で決めて計算するというようなことを、すぐに環境をつくっていけるというところは非常に大きなメリットだと考えています。」

「世界中で起きている津波や洪水の災害のために、計算を必要とされている方が実は世界中にいらっしゃってその方々に広くこちらで作った手法が普及するといいなというふうに思っています。その点から、計算機を気軽に使えて、サポートも充実しているというようなところで、そういうような仕組みをつくっていくということを行っていきたいと考えております。」

https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/chuo-university/



早稲田大学
WASEDA University

全学向けポータルサイト「MyWaseda」

・２つのAZにWeb/APサーバ,DB(RDS),NAS用途サーバをそれぞれ配置
・Web/APサーバについてはELBによりバランシング
・スレーブ側のRDSが存在するAZ上のWeb/APサーバは基本的に待機させておき、スレーブが稼動した際に運用で稼動させる
・RDSについては、Zabbixによりフェイルオーバーするよう構築。
・NAS用途サーバについては、ClusterProで冗長化
・インターネット接続とは別に、学内とのデータ連携等の接続にVPN, Direct Connectを活用してセキュアな通信を可能とした

IT 活用面での課題

MyWasedaは、早稲田大学が提供する各種サービスの入り口となるポータルサイトのことで、PCだけでなくスマートフォンでの表示にも最適化されており、MyWasedaにログインすることで、利用者の資格・属性に応じて「大学からのお知らせの確認」、「メールの利用」、「授業支援システムの利用」、「履修申請・成績確認・研究支援等、各種システムの利用」、「各種資料の閲覧」が可能となる。2011年3月に発生した東日本大震災が転機となった。有事の際に大学内に設置したシステムが被災すれば、大学活動は停止せざるを得なくなる。また、このときは輪番停電が実施され、停電に対する備えが必要であることも痛感したという。だが逆に、システムが遠隔地のデータセンター上にあって被災しなければ、各種サービスはシステム上でも継続できるとの判断から、早稲田大学情報企画部では、「MyWaseda」をAWS化することを決断した。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「新ポータルサイトをクラウド上で動かしたいというのは、性能要件の変更が柔軟だからです。非常に大規模になることが自明であったため、一番最初に決めたサイジングに縛られてそこから増やせなくなるリスクを回避したいと考えました。国内ベンダーは日本企業だから漠然とした安心感がありますが、そこで実現されているサービスはAWSにも全部ありましたし、何より異なるデータセンター間でマルチサイトクラスタ構成を標準で構築できる点を高く評価しました。東京でいつ大地震が起きるかわかりません。経営からも“システムを止めないように”という指示もあり、事業継続性を担保する意味でAWSを選択しました。」

その他多くの導入事例がございます

システム名	機関名	概　要	主な利用サービス
クラウド型教育要計算機システム	九州大学	柔軟かつ利便性の高い教育用計算機を必要としており、そこで次世代の教育用計算機の整備の際に、ハイブリッド型クラウド環境を提供することを決めました。2017年からは教育向けシステムもAWSで稼働しております。	Amazon EC2
対外向けWeb 学生向けE-learning	信州大学	“有事の際においても大学機能の継続性を担保すること”を主目的とし、そのはじめとして対外向けのWeb, E-learningサービスをAWSで運用。ゆくゆくは全学の機能を移行して行く予定です。	Amazon EC2 Amazon RDS
Webサイト ストリーミング	電気通信大学	卒業式・入学式の際のライブストリーミング配信においてAmazon CloudFrontを採用。想定外の大量アクセスにも問題なく対応が可能となっています。	Amazon EC2 Amazon CloudFront Amazon S3
研究プロジェクト	東京大学	数十万人規模の動線データに関するデータセットを作成するにあたり，大規模なデータ処理環境が一時的に必要となるため，データ処理の発生に応じて，必要数分のインスタンスをEC2に作成して利用しています。	Amazon EC2 Amazon S3
業務系システム	近畿大学	大量のサーバ群をオンプレミスで管理することの疑問、資産管理、物理的対応を考えた結果、はじめに2014年9月に教育系基幹システムをAWSに移行し、2015年3月からは本格的にすべての業務用システムの移行を開始しました。	Amazon EC Amazon RDS Amazon S3 Amazon Route 53
クラウド利活用実証実験	国立情報学研究所・他 複数大学	計算リソースを単価契約にて複数のクラウド事業者から調達。実証実験では、主としてAWSを利用した研究グループが多く、ピーク、オフピークの差が大きく、クラウドのメリットが生かされた効率的な調達ができた。	Amazon EC2

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は、2006 年に商用クラウドサービスの提供を開始しました。以後、AWSはお客様の声をもとに常に新たな機能の追加を行っています。現在サービス数は100を越え、全世界で数百万のお客様にご利用いただくサービスに成長を続けています。日本国内にある東京リージョンは複数のアベイラビリティゾーン(AZ)で構成され、このAZは地理的・電源的・ネットワーク的に分離された１つ以上の物理的なデータセンターによって構成され、高い耐障害性があります。アカデミック向けには、AWS Educate、AWS Cloud Credit for Research、Global Data Egress Waiver等の各プログラムが提供されています。また、SINET5とAWS間は専用線にて接続をしており、2014年にSINET4と接続してから、既に60を超える機関/プロジェクトで利用されています。大学や研究機関内のネットワークとAWS内のVPC(Virtual Private Cloud)等を閉じた環境で接続することが可能であり、基幹系システム、セキュアにデータを取扱う必要のある解析実行環境や研究者間の共同利用で活用されています。物理回線は既に接続済みのため、申請いただいてから利用開始までの時間を短くすることが可能です。

問い合わせ先
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社　パブリックセクター
https://aws.amazon.com/jp/government-education/
email: aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

Case Study　**学校法人関西学院 関西学院大学 様**

アカデミッククラウド上に共通基盤を構築し運用負荷軽減やBCP／DRの強化を目指す

パブリッククラウドとハウジングを併用した柔軟な構成でリソースの最適配置を実現

導入ソリューション
●FUJITSU 文教ソリューション Unified-One アカデミッククラウド　●FUJITSU Server PRIMERGY RX2530 M2
●FUJITSU Server PRIMERGY RX2520 M1　●FUJITSU Storage ETERNUS DX60 S3

関西学院大学では、オンプレミスで個別に構築してきた各システムをクラウド上に集約し、運用負荷軽減やコスト削減、さらには事業継続性計画（BCP）／ディザスタリカバリ（DR）の強化を目指しています。2017年夏より富士通の「Unified-One アカデミッククラウド（以下、アカデミッククラウド）」上で運用を開始した財務システムは、最終的なゴールに向けた大きな一歩となっています。

DATA

学校法人関西学院 関西学院大学

http://www.kwansei.ac.jp/

所在地：〒662-8501 兵庫県西宮市上ケ原一番町 1-155
教員数：634名（※専任教員数　2017年5月1日現在）
学生数：24,180名（2017年5月1日現在）
概　要：125年を超える歴史を持つ関西学院大学は、キリスト教主義による教育を理念として生まれました。兵庫県を中心に大阪府、東京に7つのキャンパスを展開し、幼稚園から続く総合学院を形成しています。

導入の背景

システムを集約しスペックの無駄を削減したい

関西学院大学は、スクールモットーである“Mastery for Service（奉仕のための練達）”を体現する「世界市民」の育成を使命として掲げ、これに基づいた各種計画を実行しています。その1つ「ダブルチャレンジ制度」では、「ホームチャレンジ」（各学部・専攻での学び）に加え「異なるもの」との出会いの場である「アウェイチャレンジ」を推進しており、インターナショナルな交流や副専攻の学習、そしてキャンパスを出て実社会で学ぶハンズオン・ラーニングを支援しています。

そんな関西学院大学では、教育の場でのICT活用を積極的に推進してきており、学生はBYODで自身のPCやスマートデバイスから全学的に配備されているWi-Fiネットワークにアクセスできる環境を整えてきました。一方で、導入するシステムごとに個別にオンプレミスでサーバやネットワーク機器などを設置してきたことから、過剰スペックによる投資コストの無駄や、多くの機器を抱えることによる電力やスペースの無駄が発生していました。

そこで同学では、セキュリティやBCP、運用負荷、構築期間の短縮、拡張性、サーバ設置スペース削減などのメリットとコストを勘案した結果、各システムの共通基盤をパブリッククラウド上に構築することとしました。情報環境機構事務部の北島大助氏は、「クラウドであれば、ニーズに応じた柔軟なリソースの増減や、冗長化を容易に図れると期待しました」と話します。

導入前の課題

- 個別に構築してきた各種事務システムを共通基盤上に集約したい
- システムの運用コスト低減に加え、BCP／DRを強化したい

導入後の効果

- 将来的な事務系システム集約の基盤を構築
- 運用負荷の軽減と将来的なコスト低減効果も期待
- クラウドとハウジング、学内DRサーバの組み合わせで、BCP／DRを強化

導入のポイント

ハウジングを併用した柔軟な対応がポイントに

クラウド移行にあたり、各社のIaaSを検討した結果、関西学院大学が選定した

“クラウド活用に限らず、
教育へのICT活用全般についても
富士通の知見を提供してくれる
ことに期待しています”

関西学院大学
情報環境機構事務部
北島 大助 氏

のが、富士通のアカデミッククラウドでした。その理由について北島氏はこう語ります。「いくつかありますが、まずはコストパフォーマンスが高かったことが魅力でした。Oracle Database専用のハウジング環境をクラウドと同じデータセンターに構築でき、かつそれぞれが一体として動作できる点も大きなポイントでした。また、SINETへの高速な接続環境が用意されていることも評価しました」

アカデミッククラウドの導入が決定した2017年3月末に導入プロジェクトがスタートし、8月中旬には事務系の財務システムが本番運用を開始しています。現在のシステム構成は、クラウド上の負荷分散装置とその下に位置するWebサーバが数台あり、さらにその下にOracle DBサーバが位置しています。

Oracleのデータベースを、パブリッククラウドでなくハウジング環境に構築したことで、データベースのライセンスコストを低く抑えることができました。また、DRの対策としては、アカデミッククラウド上にあるデータのバックアップを学内サーバで行っています。

「IT部門は人員が少なく、しかも構築期間も短かったので一から説明している余裕はありませんでしたが、富士通さんは以前よりお付き合いしており本学の事情をよくわかっていたのでスムーズにプロジェクトを進めることができました。我々が考えている以上に細かいところまで柔軟に対応してもらえたのでとても助かりました。他のベンダーではこのような対応を期待することはなかなか難しいでしょう」と北島氏は話します。

導入の効果と今後の展望

最小限のシステムだけを学内に残すことが理想

アカデミッククラウド上で財務システムが稼働してからこれまで、特に大きな問題もなく安定したサービスを提供できているようです。「学内にあったサーバをはじめ各種インフラ製品を我々の手で管理しなくてもよくなったのは、運用負荷の軽減の面で大きなメリットだと思っています。また、電力コストの低減にもつながることでしょう」と北島氏は話します。

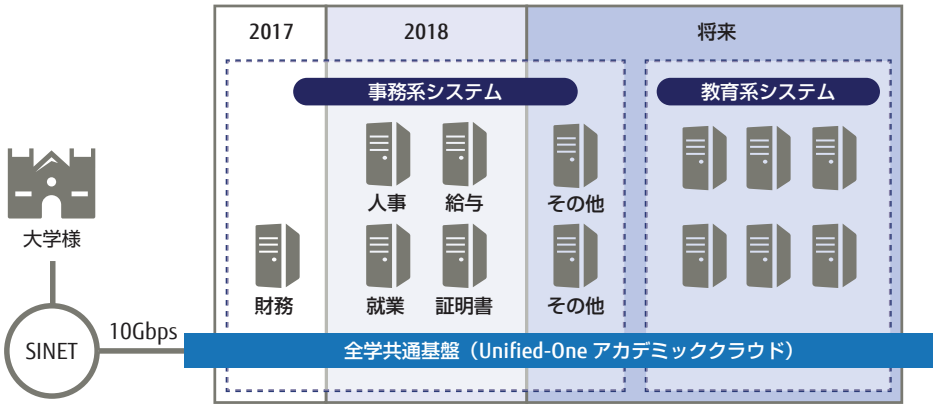
関西学院大学では、今後も事務系の各システムをアカデミッククラウドへと移行していきたいとしており、多くのシステムのリプレースが集中する2018年の夏頃には本格的な共通基盤とする考えです。

「その時にクラウドの利点を最大限に生かせるような環境とすることが当面の目標です。さらに教育系システムに関しても、我々が求めるレベルのリソースの柔軟性があると判断できれば、将来的にアカデミッククラウド上への集約も考えたいですね。最終的には、ネットワーク機器など最小限のシステムだけを学内に残すというのが理想です。それに向けて、全国の大学や企業などでのクラウド活用に関するノウハウを持つ富士通さんからのフィードバックと、アカデミッククラウドの進化を大いに期待しています」と、北島氏は力強く語ります。

創立150周年に向けた次なる戦略を構想中という関西学院大学は、ICTの柔軟な活用の後押しを受けて、さらなる飛躍を遂げることは間違いないようです。

（2017年12月取材）

関西学院大学様　学内ICTクラウド化構想



ソリューションを支える富士通のサーバ：FUJITSU Server PRIMERGY RX 2520

多様性と拡張性に焦点を合わせた
ラック型(2U) 2WAYサーバ
インテル® Xeon® プロセッサー搭載

学校法人 新静岡学園

- 複数キャンパスを全て同環境で構築し、ネットワーク管理にかかるマンパワーを最小限にするため、運用の自動化を実現
- Cisco Merakiアクセスポイント、スイッチ、セキュリティアプライアンス とSystems Manager EMM (MDM) を導入
- ダッシュボードからトラフィックデータを可視化。授業の時間割とトラフィック使用量の相関関係の分析、スケジューリング機能を使ったネットワーク管理にも活用

学校法人新静岡学園は、静岡県藤枝市と磐田市に静岡産業大学（総合研究所を含む）２キャンパスを擁し、静岡市の静岡学園中学校・高等学校と合わせて計３キャンパスから成る総合教育機関です。2011年に新静岡学園として掲げられた理念には「『東海に静岡産業大学あり』と言われる、小粒だがキラリと光る個性ある存在になる。新しい大学を創造し、大学の新しいモデルとなる」とあり、先端的な水準の教育を行うべく2学部5学科17コースの多彩なカリキュラムを提供しています。

2012年に中学校・高等学校が移転した際、まず、中高一貫教育の静岡学園では教員全員にiPadを配布。出欠管理、情報共有など教務手帳をデジタル化することからスタートしました。ところが、ロードバランスやローミングに関連したトラブルが多く、まずは無線環境を安定させることが重要課題となりました。

一方、大学でも、教員にPCやタブレットを用いた教育アプリ等を利用するための無線ネットワーク環境を提供する必要が生まれ、1998年から大学が4年制へと移行し、情報学部では入学時から学生にノートPCを必携と定めたため、学生間で「大学に行けばインターネットにつながる」と意識させたことも、環境整備の問題がつきまとうことになりました。

「負担が増えると、どうしても本業が疎かになってしまう。３キャンパスをすべて同環境にし同タイミングでネットワークを更改することで、運用管理の負担を軽減し、教育に供する時間をさらに増やしていこうと考えました。」

- 静岡産業大学 情報学部 教授
ＩＣＴ研究機構長　総合研究所 副所長 博士（工学）
佐野典秀氏

県内に３キャンパスを抱える新静岡学園は、各キャンパスのネットワーク管理者がそれぞれ 設定・管理・トラブルに個別に対応をしていましたが、その業務に無駄が多いと感じていました。例えば、授業中であるにも関わらず、ネットワークがダウンしたと管理者室に駆け込んでくる教員の対応や解析等のため、時には復旧までに数時間待たなければならず、授業を休講にせざるを得ない状況に陥ったこともありました。

「現場にいなければ対応できないトラブルが多い上に、キャンパス間の運用管理者間での情報共有も少ないことから、ネットワーク管理にかかるマンパワーを最小限にするための運用の自動化を推し進める更改計画を打ち出し、運用管理を兼任でサポートする教員に、本来業務の教育に専念いただく時間が増えることを期待していました。」

「ネットワーク環境に何かあったときに遠隔からでも状況がわかる、手が打てる、というソリューションを求めていた時にCisco Merakiを知り、これは使える、マンパワーの省力化が実現できるかもしれないと期待が高まりました」（佐野氏）

「今では、従来のような管理者の経験と直感に頼った運用施策ではなく、明確なエビデンスを基にユーザも納得する形で運用管理の適切な方策が打てるようになって来ていると強く感じています。」（佐野氏）

新静岡学園では、中高大の３つのキャンパスにCisco Meraki （以下、Meraki）のMR アクセスポイント（以下、AP）を237台、MS スイッチを72台、MX セキュリティアプライアンスを3台、端末管理用にSystems Manager EMM（MDM）を導入しました。

選定にあたり、Merakiを始め、多数の他社製品もキャンパス内で実地検証しました。「中でもCisco製品の電波の安定性は抜群でした。」（佐野氏）
① Ciscoブランドの信頼と実績
② 無線においては、現在はトップシェアとなっている
③ ネットワーク全体にある全製品全端末を同一ダッシュボード画面上で可視化し一元管理できることや、トラブル発生時の対応のしやすさ、といったMerakiの魅力を感じることができたことが決め手となりました。

また、スイッチの選定についても「APをMerakiと決定した段階で、スイッチもMerakiを選択しました。有線無線問わず、トータルで全工程が可視化できるというMerakiの利点を活かした選定ですから、スイッチだけ他社製品を入れるという考えはありませんでした。」（佐野氏）

従前の環境では、「ネットワークに繋がらない」「教室間でローミングがうまくできない」といった問題点があったため、新環境のAP配置のデザインについては、各教室の利用用途や、どれだけのデバイスを持っている学生が集う授業なのか、等も考慮し最適化を図りました。
「工事についても、文部科学省の補助金申請・認可との兼ね合いもあり、２ヶ月という短期間での実装となりましたが、パートナーさんにご尽力いただき、晴れて３キャンパスすべてで、同じタイミングで同構成のネットワーク環境を整えることができました。現在、Merakiを導入して、一貫して可視化ができていること、そして通信量や利用アプリを即座に確認できることは、日々の業務に大変役に立っています。」（法人事務局 システム改革担当課長（情報セキュリティスペシャリスト）増井寿一 氏）

「管理すべきものはすべてSystems Managerを利用したいと考えています。実際にソフトウエアやアプリケーションがどのように使われているのかを把握できるのはとても魅力的です」（増井氏）

現在、APは教室、図書館、食堂など、全キャンパスの屋内外に設置されています。
高校のグラウンドには、Meraki の屋外専用AP（MR72）を設置し、主にサッカー、陸上、野球などの課外活動の顧問がiPadを用いて動画や資料などを見せながら指導しています。

また、現状のトラフィックや通信量が可視化されたことやヒートマップでの分析・解析により、今後の学内のネットワーク環境をより良くしていくための基礎情報が収集できるようになったことは、「将来の予測や方向性を分析できることも大きな利点だと思っています」と増井氏は語ります。

ダッシュボードからトラフィックデータを把握することで、「ネットワークの帯域を使いすぎない様、制御をすることもできるようになりました。例えば、学生が学内で個人の端末を接続する際の 利用申請時に登録されたMACアドレスにより、個別の利用状況が簡単に把握できるようになったため、通信量が多い人には制限をかけたり、警告が出るように設定しています。」（ 増井氏）同データを用いて、授業の時間割とトラフィック使用量の相関関係を割り出すことや周期性の分析を行うことで、スケジューリング機能を使ったネットワーク管理も実施されています。

2012年に中学・高等学校で教務手帳をデジタル化した際、教員がiPad端末キッティング及び管理を兼任していたため、授業の準備等、本来の業務でも多忙な中で想定以上の手間と時間がかかってしまいました。その経験から、大学でも、前々からクライアントの設定・管理ができる端末ツール（MDM）を導入していましたが、他ベンダー提供のMDMでは活用できる機能が限られていたため、今回のネットワーク更改に合わせて MerakiのSystems Manager を採用することになりました。

「Systems Managerで最も活用しているのは、アプリケーションの利用端末やデータの量を可視化する機能です。今後も、資産管理等も含め、管理すべきものはすべてSystems　Managerを利用したいと考えています。従来は、ソフトウエアやアプリケーションのライセンス保持情報は分かっていましたが、実際どのように使われているのかを把握できるのはとても魅力的です。」（佐野氏）

新静岡学園の３キャンパスのネットワークが統合され、無線環境やデバイス管理の管理負担が軽減されはじめたことから、次のシステム利活用方法の検討が進んでいます。

「Systems Manager やBLE（Bluetooth Low Energy）を活用した出欠管理を検討しています。現在の出欠管理方法は、授業ごとにパスワードを設定して、学生にパスワードの入力をしてもらうという仕組みですが、この方法だと、出席している生徒がLINE等で全員にパスワードを送付することができ、実際に本人が教室にいるかどうかが確認できません。Systems Managerを導入すれば、学生の端末を特定することができるので、出欠管理がより正確、そして簡単に行うことができると考えています。」（増井氏）

「教員・職員・学生に対する、ポリシーの設定も行わなければならないと思っています。現在は、どの立場の人がどのような使い方をしているのかを観察し、分析を続けています。」（増井氏）

「また、ポリシーも、管理者の一存で勝手に変更することはできませんので、"トラフィックが混雑してきたので制限します" とアナウンスを出すような仕組みを作れるよう、学内で提案を出しながら、教職員賛同の上で、新たなポリシー設定や通知条件を整えている最中です。新たな視点としては、時間割と教室割にも、Merakiの分析値を活かすことができるのではないかとの議論があります。」（佐野氏）

「従来は、新学期前に履修人数や授業の内容から、主に経験値を元に時間割と教室割りを行っていました。ですが、来年以降はMerakiのトラフィック利用量の分析結果もカリキュラムの検討項目に組み込んでみようと思っています。また、トラフィック利用が多い時間帯にはより帯域を開放する、逆に制御する、というような設定もしてみたいですね。」（増井氏）

屋外に取り付けられたAPを活用し、大学祭での利活用も視野に入っています。今後イベント開催時に、中庭にあるステージ上の様子をリアルタイムで中継するというような、ユニークな使い方を考えられています。

新静岡学園は、Meraki の導入により運用・管理負担を削減することができ、教育面でより充実したICTの学習環境を提供できるようになりました。

Cisco Merakiはこれからも、教育者にとって使いやすい、よりシンプルなITソリューションを幅広く提供しながら、先進的にご活用いただける製品の開発を目指してまいります。

Cisco Webex で入試改革と働き方改革

～東洋大学　導入事例～

課題

・遠方の学生や海外からの留学生が、東京まで出向かなくても入学試験を受けられる環境の整備をしたい

導入製品＆サービス

・Cisco Webex
・Cisco TelePresence

ソリューション

・Cisco Webex を用いて、インターネットがつながる環境があれば在宅でも入学試験を受けられる環境を実現
・受験生側はインターネット経由でアクセスし、教員側はビデオ会議専用端末を用いて、双方を Cisco Webex で接続

さらなる活用

・志願者向けの遠隔相談窓口の開設
・Cisco Webex 及び Cisco TelePresence を教職員の働き方改革においてさらに有効活用

東洋大学は、入学志望者に対する情報提供や出願手続きなどをすべてオンライン化した「TOYO Web Style」をはじめ、全国の大学の中でも先駆的な取り組みを行っていることで知られています。

2017 年度から新設した情報連携学部では、オンラインのコミュニケーション手段を生かしたアクティブラーニングの手法を全面的に取り入れ、これまでの大学で一般的だった座学や大教室といった授業のスタイルを大きく変えることになるといいます。

課題

首都圏の受験生とそのほかの地域の受験生とでは、実際に大学を訪れる機会が限られることや経済面の負担、情報の格差は大きなものがあります。そうした地域間の格差をできるだけ減らすことを目的に、東洋大学では入学前に大学の学びを知ることができる動画コンテンツとして「Web 体験授業」を制作、公開しています。そして、入試そのものもオンラインで実施できないかと考えました。

“デモを見て手軽に使える自由度の高いツールだと実感したことに加えて、シスコのサポートの安心感が選定の大きなポイントになりました。”

ー学校法人東洋大学　理事　入試部長　加藤建二　氏

学校法人東洋大学理事入試部長の加藤建二氏は次のように話します。

「大学まで来られない高校生に授業内容を伝えたいと考えて『Web 体験授業』の公開を 2015 年から始めています。動画は 1 本 20 分ほどで、カット割りなどもきちんと編集して、教員だけでなく受講している学生の表情も織り込んで魅力ある内容に仕立てています。

大学案内など冊子の印刷と配布にかかっていた多額のコストを Web 化によって削減できたので、その予算を充てているかたちです。入学試験においても、受験生に Web 体験授業を視聴してもらい、そこで提示された課題の解決方法を考察してプレゼンテーションをまとめてもらった後、試験当日はプレゼンテーションおよび質疑応答を行うという入試方法を新たに行います。それを地方の学生がこちらに出向かなくてもできるように、Web 会議を利用するというアイデアが出ていました。これは海外からの留学生にも当てはまります。」

“新しいことに率先して挑戦しながら教育環境の底上げを牽引していきたいと思っています。”

誰でもすぐ利用できる自由度の高いツールが良いと考えていくつかの候補を検討し、東洋大学は Cisco Webex を採
用しました。その理由を加藤氏は次のように話します。

「実際に利用する仕組みが良いと感じたことのほかに、シ

スコからサポートしていただけるという安心感が決め手になりました。接続先が国内だけとは限らないので、シスコが世界的な企業であり、Cisco Webex がグローバルに利用されている点も理由の 1 つです。」

ソリューション

2017 年度の入試から Cisco Webex を使った入試を選択可能に

Cisco Webex は、インターネットに接続できる環境と Web ブラウザがあれば端末を問わずに利用できるクラウド型のビデオ会議サービスです。安定した通信を維持するグローバルなサービス基盤を有し、高品質な映像と音声を使ったコミュニケーション、画面や資料の共有を簡単に行えます。
通信の安全性も非常に高く、SAS-70 Type II 認定などエンタープライズクラスのセキュリティを保っていることも強みの 1 つです。
東洋大学では、インターネットで学外からアクセスする受験生と、教員が用いるビデオ会議専用端末を Cisco Webex で相互接続する構成としました。シスコの支援を受けながら事前の接続テストなどを行って、確実にコミュニケーションできる環境を整えたと加藤氏は話します。

「これまでにない試みでしたので、入試要項への記載方法など試行錯誤を繰り返しましたが、シスコが採用活動で学生とのやりとりに使っているということで、その案内に記されている文面などを参考にしながらまとめました。インフラだけでなく、こうした実務的な面でもサポートいただけるのはとても助かっています。
機能面では、一度回線が切れてしまってもコールバックできる仕組みがあるので、アクセスしてくる受験生の負担を抑えることができるところを評価しました。実際にやってみなければわからないこともありますし、何か起きたときにどう対応すればよいか迷うこともありますが、シスコは自社でも活用していてノウハウが豊富なので、助言をいただけるのは頼りになりますね。」
「オンラインで出願するときに試験会場を大学にするか、自宅など大学以外にするかを選択できます。ただ、自宅で試験が受けられるといってもまだ不安要素もあるので、直接大学へ行くほうがよいと考える人が多いでしょう。今回は実施初年度で実績がなく、どうするか判断を迷ったのではないでしょうか。こうしたことは 2 年目以降から動きがあるものだと思っています。」

さらなる活用

志願者向けの相談窓口・教職員の働き方改革にも活用を開始

2017年から、志願者向けの相談窓口にCisco Webex を活用する「TOYOWebサポート」も開始しました。これにより、遠方（海外を含む）の志願者の情報格差を解消し、経済的な負担の軽減を図るとともに、自宅や高校からWeb会議システムを通じて対面での個別相談が可能となりました。
さらに、教職員の働き方改革としても活用を開始しました。この激動の時代に、各人の労働時間を増やさずに大学改革を続けるには、時間の創出が必須ということで、まずはキャンパス間の教職員の移動時間を削減し、会議のペーパーレス化や資料作成のための作業時間削減を目指しました。そのために全教職員で Cisco Webex 会議主催可能なアカデミック向けサイトライセンスを契約し、各キャンパスの主要な会議室へ専用端末 Cisco TelePresence を導入しました。全学委員会や事務局部長会などでは、メンバーが一か所に集まるのではなく、Cisco Webex の仮想会議室に集まり会議を行う取り組みを始めました。今後は、教職員ひとりひとりが Cisco Webex を使いこなし、新しい働き方を生み出し、時代の要請に応えられる大学に変革させていくことを目指していくとのことです。

【問い合わせ先】
社名：シスコシステムズ合同会社
担当部署名：デジタルトランスフォーメーション事業部
TEL: 03-6434-2618（担当：インダストリー事業推進部　見松）
お問合せ用 E-mail: cisco-edu-j@cisco.com
www.cisco.com/jp/go/edu
www.cisco.com/c/ja_jp/products/conferencing/index.html

慶應義塾
Keio University

Boxのすゝめ～オンプレからクラウドへ セキュリティの明治維新

江戸末期から明治維新にかけ、福澤諭吉は海外に出向き、積極的に文化を取り入れた。国内の国際語の主流が蘭語であった当時に、英語の可能性をいち早く予測し、自らが創始してわずか5年の蘭学塾を思い切って英学塾に転向するなど、際立った先見性と行動力を持っていた。その福澤諭吉が立ち上げた慶應義塾には、いまでもその精神を継承し、新しいことを積極的に取り入れる文化が根付いている。その動きの1つがクラウドベースのコンテンツ・マネジメント・プラットフォーム、Boxの導入である。

セキュアな共有設定と優れたプレビューが採用の決め手

2016年の春、慶應義塾は、全教員約3000人、全職員約3000人、そして大学、大学院の学生約33,500名を対象にBoxを全塾導入した。「Boxのような新しいサービスは、教職員よりもむしろ学生の方が早く使いこなしますよね」と語るのは、Box導入で音頭をとる慶應義塾インフォメーションテクノロジーセンター(ITC)本部で最年少の坂東佑一氏。福澤諭吉がそうであったように、慶應義塾の学生は新しいものに対して全く物怖じせず、むしろ積極的に取り入れるようだ。

「慶應義塾でBoxの検討を始めたのは2015年の冬でした。そのころ慶應義塾ではすでにGoogle Apps(現G Suite)の Googleドライブを導入しており、”どうしてさらにBox?” という声が塾内からあがりましたが、そこにはBoxでしか解決できない問題がありました」と、坂東氏は3つの理由を語る。

まず1つめに共有設定の柔軟さ。Boxではフォルダにコラボレーターとして人を招待するやり方と、ファイルやフォルダの共有リンクを送る、という2つの方法でファイルやフォルダを共有する。「これがとても使いやすい。UIが優れていることと、そしてアクセスが7段階で設定できるので、とても便利です」

「そして2つめに動画の扱いがあります。ご想像できると思いますが、学校では様々な場面で動画を使うことが多いです。その動画をアップロードしてストリーミングのように再生できるBoxのプレビュー機能は極めて重宝しています。他の動画共有サイトだと登録が面倒だったり、広告が出てきたりと、教育機関としては好ましくないのです」。

そして3つ目にプレビュー機能。100を超えるファイルタイプをサポートするプレビュー機能により、ファイルをダウンロードする必要がないことは、特に学生にはウケが良い。「今の学生はパソコンはあまり使わず、スマホで全てを済ます傾向が強くなってきました。Boxのスマホ用アプリは抜群に使いやすく、学生も積極的に使用してくれると考えています。そこも選んだ理由の一つですね。Boxのプレビューがあれば、スマホで大体のことは事足ります」と坂東氏は語る。

オンプレサーバーからBoxへ、大学セキュリティの明治維新

一見順調に進んでいるBoxの導入であるが、また塾内ではクラウドそのものに対するある種アレルギー的な声もあがったという。坂東氏は語る、

「いわゆる塾内サーバーの安全神話ですね。クラウドよりオンプレの方が安全だと思い込んでいる人が多い。でも、塾内に勝手に建てられたサーバーの中には、管理者が誰かわからない、なんてものもあります。こうしたサーバーをクラウドに移行できれば、セキュリティを管理するコストや工

数も削減できます。もちろん学生の個人情報など、どうしてもクラウドに移せないものもありますが、そうしたデータ以外はクラウドに移す方がむしろ安全です」。

特に大学といった高等研究機関は研究データがその資産になるので、流出事故などはあってはならない。「そういった意味では、ファイルやフォルダのアクセスに対するログが取れたり、トラッキングができたりするのはBoxの利点の一つですね」

「さらに、学外で共同研究を行う場合、未だにUSBメモリやフロッピーディスクでデータのやり取りをしているケースもありますが、これもセキュアとは言い難いです。しかし、Box導入後に各フォルダのコラボレーター数や共有リンクの発行数を調べてみると、非常に多くの利用があることがわかり、Boxの浸透度が高まってきたのかと思います。直近のチャレンジとしては、現在セキュリティガイドラインを策定していることですね」と語る。

そして、この動きは慶應義塾だけでなく、日本の大学全体に広がっている。「Boxユーザーの大学で構成されている『Box大学ユーザー会』というものがあり、そこから各大学がどのようにBoxを使っているのかノウハウを吸収できるのもいいですね。横のつながりは我々ユーザーにとって非常に貴重です。大学でのBox採用は広がっているので、他者から知識を共有できます」。

目標はファイル添付とオンプレサーバーの削減

「ITCの直近の目標としては、ファイルのメール添付文化があるのでそれを無くしたいですね。最近は標的型攻撃メールが多く、ウイルスか添付ファイルかの区別がつきにくくなっています。文部科学省のなりすましメールなど、本物と偽物の区別がほとんどつかないくらい精巧に作られていたケースもあります。メール添付文化が無くなれば、こうしたウイルスを開いてしまうという事故も削減できると思います」

「Boxにお願いしたいことは、まずExcelのプレビューを改善してほしい。そしてChromeだけでなく、IEのサポートにももう少し力を入れて欲しいですね。また、速度面に関して、大きいサイズのファイルをアップロードする場合はもう少し速いと嬉しいです」。

そして最後に坂東氏が強調したのが、アフターサービスの素晴らしさだ。「Boxは導入後、カスタマーサクセスという部署の担当者をアサインしてくれます。カスタマーサクセスの方々は、文字通り我々がBoxを使用して成功することにフォーカスして、サポート含め様々なサービスを提供してくれます。これもBoxの魅力の一つですね」。

Profile

慶應義塾

URL：https://www.keio.ac.jp

1858年に開塾。世界の学界をリードし、「国内外から優秀な学生、研究者が集まる学塾へ」をビジョンに、創立者福澤諭吉の「実学」の精神に基づき、学際的・国際的な教育・研究を行い、広く世界に貢献することを目標とする。平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」事業に、世界レベルの教育研究を行うトップ大学（タイプA）として採択される。これを受け、これまで以上に社会に貢献し国際評価を高め、世界に冠たる研究大学としての地位を確立することを目指している。

購入前のお問合せ:japan-marketing@box.com
※ 購入後のサポートに関するお問合せには返信できかねますので予めご了承下さい

世界中の教育機関で使われるコンテンツマネジメント・プラットフォームBoxを導入し研究開発を支援

「世界の理科大」を目標に掲げ、世界で認められる教育力・研究力を持ったグローバルな大学の実現を目指している東京理科大学は、国際的に通用する研究環境を提供するために「VRE (Virtual Research Environment)」を開発した。その中で、重要な学術資産を管理するためのコンテンツ・マネジメント・プラットフォームとして採用したのがBoxである。

チャレンジ：世界の理科大を実現するために、研究者を支援する環境を国際化する必要があった

東京理科大学は7学部31学科、学生数2万人、教職員数は1千人を超える、日本有数の理工系の大学である。同大学はキャンパスが神楽坂をはじめ葛飾、野田、そして北海道の長万部と、日本全国に4キャンパスあり、物理的に場所が離れている。従ってインターネットによるコミュニケーションを早くから取り入れ、かつクラウド上でファイルを共有することが必須の環境である。

従来まではそれ程国際化ということを重視していなかった同大学だが、数年前から取り組む「世界の理科大」に向けた施作の一環として「イノベーションを促進する研究コラボレーション環境」を実現するため、新システム「VRE (Virtual Research Environment)」の構築に取り組んだ。理科大はVREにより、(1) 研究業績の集約、(2) 研究費の予実把握、(3) 部門を超えたコミュニケーション、(4) クラウド型のファイル共有、を実現しようとしている。

「簡単に言うと、VREは研究者の様々な雑務を取り除くための支援ツールです」と語るのは、東京理科大学学術情報システム部情報システム課課長の松田大氏である。「VREにより国内外の研究者が連携し、協働できる環境を実現し、研究活動業務の効率向上を目指す。BoxはこのVREで中心的な役割を果たします。BoxとSNSを使うことで、研究に関する様々な情報を一元管理、大学としては情報を蓄積することで資産化し、将来的な競争の根源として管理します。またVREは企業、OB・OG、他大学の研究者と連携できるよう構築しているところもポイントです」

ツールの選択にあたっては、グローバルな環境で使えること高度なセキュリティ、そして使い易さを重視

VRE構築にあたって重視した点の一つにグローバルで通用するツールを使う、ということがあった。そこで導入したのがMicrosoft、Salesforce、そしてBoxである。世界に出て行くにあたり、国内でしか通用しないツールを使っていては、海外の研究者とはコラボレーションできない、ということだ。そしてもう一つの大きなポイントが、堅牢なセキュリティを持っていることであった。

「研究者の間では、DropboxやGoogle Driveといったツールを使っている人が多かった。ところがそれを大学のような研究機関が正式に採用するとなると、機密保持やセキュリティ機能の部分で不足があった。それらのツールはあくまでもコンシューマー向けツールであり、大学の最も重要な資産である学術文書、機密情報を管理するには不安がありました。ただ、一方、これらのツールのユーザーインターフェースは使いやすく、研究者も慣れていたので、いくら高機能なエンタープライズ向けツールであっても使い勝手が悪いと不満が出て、いずれ使われなくなります。そこで、コンシューマー用ツールのユーザーインターフェースがもつ使い勝手を持ち、大学が求めるセキュリティに耐えうるツールを調査機関であるGartnerの資料や事例を検討材料としてBoxの採用を決めました」と松田氏は語る。

また他の理由として、SSO（シングルサインオン）に対応していたところがあげられる。Azure ADを使ったOffice 365の認証が可能だったこと、そして開発APIが全て公開されているため、アプリを開発しやすいところもBox選択の理由の一つであった。「Office 365、Salesforce、Boxの間は、SAML2.0によるSSOができるよ

うになっています。また、私たち大学ではMoodleなどのオープンソースソフトウェアを採用することが多いので、開発APIが公開されていて、他システムとの連動性が良いことが重要です」と松田氏は続ける。

簡単かつ安全にファイルを共有、コラボレーション

現在の東京理科大学ではBoxのアカウントを専任の教職員全員に配付している。大学全体のデータの容量は3.1TB程である（2016年5月時点）。Boxにアップロードされたファイルの種類としては、.jpgや.docxが多い。.jpgが多い理由は昨年リリースされたBoxのiOSアプリ、Box　Captureが理由の一つと考えらる。iPhoneやiPadで写真や動画を撮影して、そのままBoxにアップロードできるので、研究の様子を気軽に記録することができる。一方ダウンロードされるファイルは、pdf、docx、xlsx、pptxなどOffice関連のドキュメントが殆どだ。大学らしいところでは、「.tex」といった学術論文作成に使うソフトウェアのファイルや、「.log」といったシミュレーションの計算結果のファイルなどもよくダウンロードされている。

「Boxのログをみると、共有リンクも多く使われています。簡単な操作で安全にファイル共有を実現できることが重宝されています。このようにログを追ってどのような使い方をしているのか把握できるのも、Boxの良さの一つですね」と松田氏は語る。「また私たちは先生方にBoxを使った新しいワークスタイルを提案しています。例えば、現状ではメールにファイル文書を添付することで共有していますが、それだとどれが最新文書か、また編集履歴が判らなくなります。今後はBoxのクラウドにある文書をオンライン上で直接編集・保存することで、このような問題を解決し、『クラウド上で安全にコラボ』するスタイルを提案しています」

今後のBoxに期待すること

学内でBoxに対するアンケートを取ったところ、「業務の幅が広がる」、「時間短縮になった」、「容量制限が無いのがいい」、「複数人で加筆修正できるのが便利」、「学外ネットッワークからも安全にアクセスできる」、「大容量ファイルの送受信が不要になった」など、非常に役に立っていることが分かっている。

一方改善点も無いわけではない。「唯一改善してほしいところは、他ストレージからの移行。また導入にあたっては、クラウドに対して安心感を持ってもらうことが1つのチャレンジになっています。『安全』と『安心』の違いですね。クラウドは安全なのですが、心理的に安心できない人がいまだに多いことも事実です。『手元にある』ことは安心かもしれませんが、安全ではありませんよね」。松田氏は続ける、「アンケート結果を見ると、Boxはちょっと使っただけで、9割の方が『今後の業務に役立つ』と答えてもらえるツールです。私たちも理科大として、より便利に安心して使いこなせるようにしたいと考えています」

■Profile

東京理科大学

所在地：東京都新宿区神楽坂1-3（神楽坂校舎）
URL：http://www.tus.ac.jp/

明治14(1881)年に東京大学を卒業間もない若き21名の理学士らにより「東京物理学講習所」として創立され、2年後に東京物理学校と改称された。昭和に入り応用理化学部が設置され、昭和24(1949)年に新制大学の発足とともに東京理科大学に改組、理学部に続いて薬学部、工学部、理工学部、基礎工学部、経営学部が次々に設置された。今日では7学部31学科、11研究科31専攻を擁するわが国私学随一の理工系総合大学である。教育研究理念として「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」を掲げ、理学と工学の両分野をもつ理工系総合大学として、自然および生命現象の本質と原理を解明し人類の叡智の進展をめざす「理学の知」と、様々な物・技術・システムを構築して人類の活動の充実と高度化に貢献する「工学の知」を協働させ、「自然と人間の調和的かつ永続的な繁栄への貢献」をめざす教育と研究を行っている。

国立遺伝学研究所

オンプレミス仮想基盤での障害をきっかけにSINET5に接続可能なクラウドサービスに移行

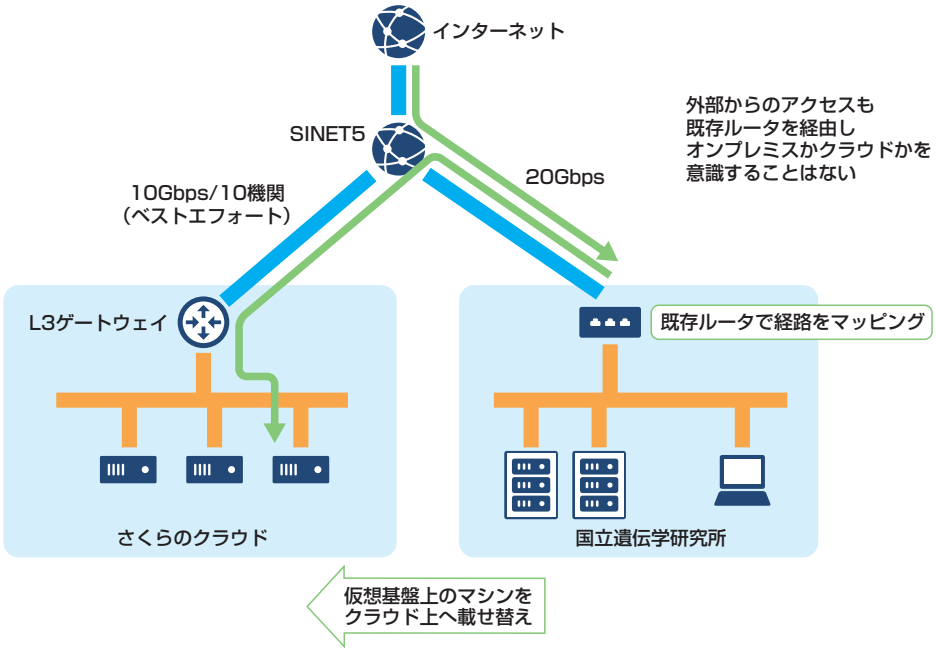
国立遺伝学研究所では、2012年から所内に構築した仮想基盤で各研究室のWebサイトなどを運用していましたが、2016年にディスク障害が立続けに発生し、一部は復旧不可能な状態にまで至ってしまいました。そこで従来の仮想基盤環境と同等以上の帯域やハードウェアリソースを確保可能なクラウドサービスとして、「さくらのクラウド」を選択し、オンプレミスの仮想基盤からの移行を実施しました。

オンプレミスの仮想基盤でデータ消失を伴う障害が発生

国立遺伝学研究所（以下、遺伝研）では、2012年に遺伝研内のサーバー室において仮想基盤を構築しました。2ラック分のハードウェアを用意し、ストレージはRAID5で冗長化、仮想システムにはVMwareを使いました。遺伝研の各研究室はこの仮想基盤が利用でき、無料のホスティングサービスのように機能していました。この仮想基盤上では各研究室のWebサイトなどが10数台稼働していましたが、老朽化に伴い2016年に同時多発的にハードディスクが故障する障害が発生し、一部はデータ消失にまで陥りました。

この障害をきっかけに遺伝研では本格的にシステムリプレイスの検討を始めます。「最初はハードウェアリプレイスを検討しましたが、初期投資が大きいことが問題となりました」（遺伝研 有田氏）。

加えて、遺伝研の場所は伊豆半島の付け根、三島市の東海道新幹線のトンネル出口に近いところです。この場所は落雷が多く2017年5月には落雷による大規模停電も発生しています。「遺伝研内にはスーパーコンピューターもありますのでもちろんUPSを設置して使ってはいるのですが、雷が落ちると瞬電が発生します。停電や瞬電によるリスクは避けたいところです。外部のクラウドサービスを利用すれば、停電のたびにシャットダウンする必要はなくなりますし、電源断が発生するような環境だと、きちんと運用していても一定数のディスクは壊れていくものです」（有田氏）。



導入前の課題

- ●老朽化に伴う仮想基盤全体の更新
- ●SINET5との接続環境整備
- ●IPアドレスやドメインの継続性
- ●費用・運用コストの低減

導入後の効果

- ●メンテナンスが楽になった
- ●停電対策が不要になった
- ●コスト削減
- ●今後柔軟に規模を変えていける

SINET5に接続できる国内データセンターを検討

遺伝研ではシステムリプレイスにあたり、クラウドサービス各社の比較・検討を行いました。必要要件はデータセンターが学術情報ネットワーク「SINET5」に接続できることに加え、遺伝研とデータセンター間で1Gbps以上の帯域を確保できることです。遺伝研はSINET5に20Gbpsの帯域で接続しており、SINET5ネットワーク網を介して世界のインターネットに接続しています。「日本の研究を支えるという観点から、国内の事業者であることと、国内のデータセンターのサービスを優先して選択しました。SINET5に接続可能な業者の中でも、さくらインターネットさんが一番良かったです」（有田氏）。

さくらインターネットでは協力会社による構築サービスも提供しています。本案件ではこのサービスを利用し、さくらインターネットへの発注範囲において、ビットスター株式会社（https://bitstar.jp/）がさくらのクラウド上での環境整備などを担当しました。「今回の移行では、既存の仮想基盤で動いていた仕様そのままに、提供していたすべてのサービスをさくらのクラウドへ移行しました」（遺伝研 奈倉氏）。

外部サーバーの利用でも自らのIPアドレスゾーンで運用

本案件の一番の特徴は、遺伝研が所有するIPアドレスゾーンでクラウドサービスを利用できている点です。「遺伝研は共同利用機関ですので、遺伝研としてサービスを行いたいです。IPアドレスが遺伝研のものでないと『ほかの場所で我々のサービスが行われているのですか？』と問い合わせがくることも考えられます。利用者には遺伝研のサービスであるというところをはっきりさせておきたいです」（有田氏）。

ネットワーク構成は、さくらのクラウド上のセグメントと遺伝研内のセグメントを高速なSINET5のネットワーク網を介してL3ゲートウェイで接続しています。

ご担当者の声

国立遺伝学研究所
https://www.nig.ac.jp/

住所　静岡県三島市谷田1111
活動内容　遺伝学に関わる研究、研究基盤整備、教育・人材育成

生命情報研究センター
生命ネットワーク研究室
教授
有田 正規 氏

技術課
情報基盤支援チーム
奈倉 雅彦 氏

研究室単位では以前からさくらのクラウドを利用していまして、もともとサービスの内容はよく知っていました。さくらインターネットさんは、サーバーサービスの費用も高くないですし、JPドメイン名の維持コストも他社に比べると良心的な設定です。管理者の変更手続きなども非常にわかりやすく、他社さんに比べると非常に信頼できます。ですので、今回移行に際して印象が変わったということはなく想定通りでした。とくにトラブルもなく、スムーズにやっていただけ、むしろこちらから出すものが遅れてしまったときにフォローしていただいたりして助かりました。

さくらのクラウド上の仮想マシンは、遺伝研内部にある既存のハードウェアルータにおいてIPアドレスマッピングがなされており、IPアドレスの見かけ上は遺伝研へのアクセスとなる仕組みです。

運用コストの削減をセキュリティ対策業務へ

今回のクラウドサービスへの移行によって費用面でも運用面でもコストは下がりました。「一番のメリットはハードウェアの老朽化を心配する必要がなくなることです。死活監視も簡単になります。これまでハードディスクは自分たちで交換していましたので、その作業がなくなった分、セキュリティ対策に避ける時間が増えます」（奈倉氏）。「昔と比べるとセキュリティ対策にかける時間が圧倒的に増えています。仕事は増えているのに人手は減らさなければならない。そうするとハードウェア点検の時間をセキュリティ対策に当てていかないと対応できません。これからサーバー構築の案件があった際は、できるだけさくらインターネットさんのサービスを使うなど、研究所のデータセンター内のハードウェアの量をできるだけ減らしていくというのが重要だと考えています」（有田氏）。

さくらのクラウド上で運用を開始した「ゲノムデータ解析支援センター」（https://genome-info.nig.ac.jp/）のサイト。IPアドレスのゾーンは従来から研究所が所有する133.39.0.0/16のままとなっている

ご紹介したサービス
- ▶さくらのクラウド
- ▶SINET接続サービス

お問い合わせ、資料請求　本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社
大阪本社　〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA 35F
東京支社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F
▶E-MAIL eigyo@sakura.ad.jp
▶0120-977808
【受付時間】平日10:00～18:00（土日・祝祭日を除く）

※本取材内容は2018年1月時点の情報です

企業別索引（五十音順）

〈A〉

Amazon Web Services Inc.

Amazon WorkSpaces　18
Amazon Chime　20
Amazon Machine Learning　32
Amazon SageMaker　34
AWS IoT Core　36
アマゾン ウェブ サービス(AWS)　82
Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)　84
Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)　86
Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)　88
Amazon Redshift　90
Amazon EMR　92
Amazon Elasticsearch Service　94
AWS Lambda　96
Amazon DynamoDB　98
Amazon Kinesis　100
Amazon Route 53　102
[事例]アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例　150

〈B〉

株式会社 Box Japan

クラウド コンテンツ マネジメント「Box」　08
[事例]慶應義塾　152
[事例]東京理科大学　154

〈F〉

Fortinet Inc.

FortiCloud　116
Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ　118
MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ　120

〈S〉

SCSK 株式会社

echo360　22
Prime Learning　24
DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）　54
USiZE（ユーサイズ）　58

〈ウ〉

内田洋行

IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE　126
ソフトウェア配布提供システム Download Station　128
Microsoft Office 学割特別プラン U365　130

〈エ〉

エイチ・シー・ネットワークス株式会社

VW4C　28
XTREME DNA HPC Cloud　30

〈サ〉

さくらインターネット株式会社

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス　38
さくらのクラウド　104
さくらの専用サーバ　106
さくらの VPS　108
[事例]国立遺伝学研究所　162

〈シ〉

シスコシステムズ合同会社

Cisco WebEx，Cisco TelePresence　14
Cisco Webex Teams，Cisco Webex Board　16
Cisco AMP for Endpoints　70
Cisco CloudCenter　72
Cisco Cloudlock　74
Cisco Container Platform　76
Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション　78
Cisco Umbrella　80
Cisco Unified Computing System(UCS)　132
[事例]学校法人新静岡学園　156
[事例]東洋大学　158

株式会社シマンテック

Symantec CloudSOC　110
Symantec Web Security Service (WSS)　112
Symantec Email Security.cloud (ESS)　114

〈ヒ〉

株式会社日立製作所

音声データ利活用ソリューション　44
TWX-21 MRO 集中購買サービス　46
エンタープライズクラウドサービス　64
フェデレーテッドクラウド　66
出前クラウドサービス　68

〈フ〉

ファルコンシステムコンサルティング株式会社

WisePoint Shibboleth on CLOUD　122

富士通株式会社

デジタルラーニングプラットフォーム『Fisdom』　12

FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス　40

[事例]学校法人関西学院 関西学院大学　160

〈ニ〉

日本電気株式会社

NEC クラウドサービス(SINET 接続)　60

日本マイクロソフト株式会社

Microsoft 365 Education　06

Microsoft Azure　62

〈ユ〉

ユニアデックス株式会社

クラウド型パソコン教室サービス　10

〈リ〉

株式会社リコー

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん　48

RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business　50

図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス　52

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会　の歩み

主　査　西村浩二（広島大学）
副主査　梶田将司（京都大学）
副主査　滝島繁則（さくらインターネット）

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同運用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同運用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（1）」 「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布

■分科会会合の開催

回数	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER（アエル）	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会

以上

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会　ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- 先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- 自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- 共同研究、実証実験などを行うパートナとなる大学を探すことができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。
入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

主査　　西村浩二（広島大学）
副主査　梶田将司（京都大学）
副主査　滝島繁則（さくらインターネット）
ご連絡先：　sig-cloud-core@axies.jp

大学向けクラウドソリューションカタログ２０１８

発行：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会
主査　西村浩二　（連絡先）sig-cloud-core@axies.jp
編集：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会
クラウドカタログ・ワーキンググループ
担当副主査　滝島繁則　（連絡先）sig-cloud-cat@axies.jp
発行日：２０１８年１１月１９日

※本書掲載内容の無断転載は禁止いたします。